

さいたま市総合振興計画策定のための

市民意識調査報告書

平成14年3月

さいたま市

目 次

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査時期	1
(5) 回収結果及び地区区分	1
2. 回答者の属性と調査結果の概要.....	2
(1) 回答者の属性.....	2
(2) 調査結果の概要.....	4
① 豊かな自然環境と住みよい生活環境のさいたま市.....	4
② 転入者が多い割に高い定住意向.....	4
③ 地域や行政との新しい関わり方の模索	4
④ 進む市民生活の情報化	5
⑤ 医療面の充実を基本にした各地区のまちづくり.....	5
⑥ 「生活・環境都市さいたま」に向けて	5
3. 調査結果の分析.....	6
(1) さいたま市のイメージについて.....	6
① 現在のイメージ（問 1）	6
② 将来のイメージ（問 2）	8
③ さいたま市の優れている点（問 3）	9
(2) 暮らしを取り巻く環境について.....	11
① 将来の期待や不安の大きさ（問 4）	11
② 将来の不安の内容（問 5）	13
③ 生活環境の評価（問 6）	15
④ 通勤・通学地（問 7）	19
⑤ 買物や余暇の行き先と交通手段（問 8）	20
⑥ 公共施設の利用状況（問 9）	28
(3) 定住意向について	33
① さいたま市に住む理由（問 10）	33
② 今後の定住意向（問 11）	34
③ 転居したい理由（問 12）	35
(4) 地域活動への参加状況について.....	36
① 隣近所との付き合いの程度（問 13）	36
② 地域活動への参加状況と今後の参加意向（問 14）	37
(5) 市政との関わりについて	43
① 市政への関心（問 15）	43
② 市民参加意向（問 16）	44
③ 市民参加の現状（問 17）	45
④ 市民参加の促進策（問 18）	46

(6) 男女共同参画社会について.....	4 7
① 男女平等の状況（問 19）	4 7
② 男女共同参画社会形成のための取り組み（問 20）	5 0
(7) 保健・医療・福祉について.....	5 1
① 医療・福祉サービスと負担の考え方（問 21）	5 1
② 高齢化対策（問 22）	5 2
③ 子育て支援策（問 23）	5 3
④ 障害のある人への支援策（問 24）	5 4
(8) 情報化・国際化について	5 5
① 情報機器の利用状況と今後の利用意向（問 25）	5 5
② 行政の情報化への期待（問 26）	5 9
③ 国際化推進策（問 27）	6 0
(9) 教育・文化について	6 1
① 生涯学習推進策（問 28）	6 1
② 市民文化の振興策（問 29）	6 2
(10) 産業や都市基盤について	6 3
① 産業振興方策（問 30）	6 3
② 都市基盤整備の重点（問 31）	6 4
③ 交通対策（問 32）	6 6
(11) 環境保全や防災対策について	6 7
① 環境保全対策（問 33）	6 7
② 地震への備え（問 34）	6 9
③ 災害に強いまちづくりの重点（問 35）	7 1
(12) 市民と行政のコミュニケーションや行政運営について	7 3
① 市政情報の入手状況（問 36）	7 3
② 充実を望む情報（問 37）	7 8
③ 有効な情報提供手段（問 38）	8 0
④ 市民意向反映に対する評価（問 39）	8 2
⑤ 窓口対応に対する評価（問 40）	8 4
⑥ 行政運営の改善策（問 41）	8 5
(13) 地区のまちづくりについて	8 7
① 地区のまちづくりの重点（問 42）	8 7
② 地区のまちづくり資源（問 43）	8 9
(14) さいたま市の将来像について	9 0
① 目指すべき将来像（問 44）	9 0
② 将来像実現のための方策（問 45）	9 2
(15) 自由意見の概要.....	9 4

□資料 調査票

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

さいたま市では、合併に際して策定した新市建設計画に代わり、今後の政令指定都市への移行を視野にいたした「さいたま市総合振興計画」を策定することとしました。市政運営の最も基本となるこの計画の策定にあたり、市民の意識を把握し、今後の計画づくりに活用していくため、意識調査を実施したものです。

(2) 調査対象

さいたま市に居住する 20 歳以上の市民約 10,000 人を無作為抽出しました。

(3) 調査方法

郵送による調査票の配布・回収を行いました。

(4) 調査時期

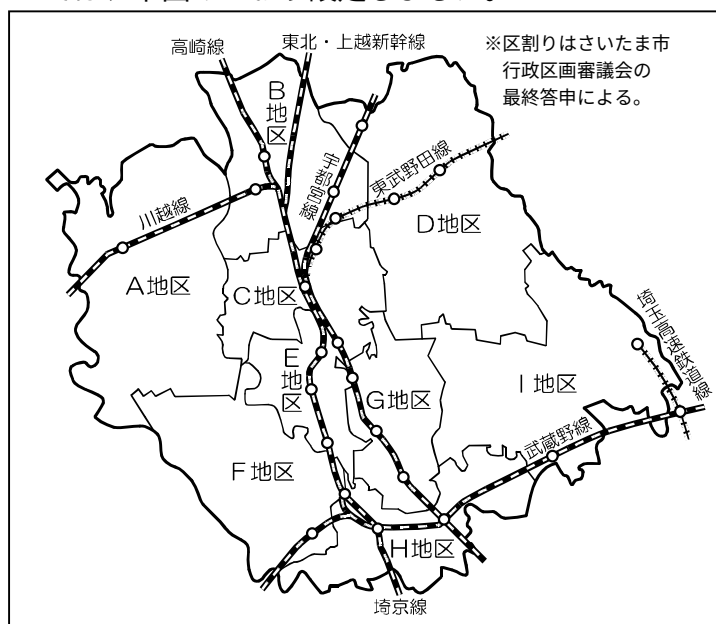
平成 13 年 11 月中旬～下旬にかけて実施しました。

(5) 回収結果及び地区区分

地区	送付数	到着数※	a	回収票数	b	回収率(%)	b/a
A	1,118		1,115	570		51.1	
B	1,113		1,104	525		47.6	
C	1,120		1,113	546		49.1	
D	1,113		1,107	547		49.4	
E	1,110		1,100	510		46.4	
F	1,126		1,118	460		41.1	
G	1,111		1,101	520		47.2	
H	1,117		1,107	530		47.9	
I	1,113		1,108	511		46.1	
合計	10,041		9,973	4,719		47.3	

※到着数：宛所不明で返送されたものを除外した数

調査の地区区分については、下図のとおり設定しました。

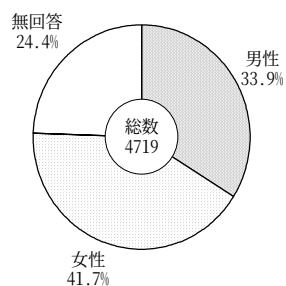


2. 回答者の属性と調査結果の概要

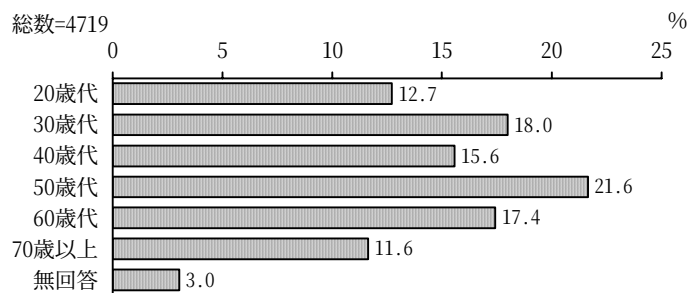
(1) 回答者の属性

アンケートに回答いただいた市民の属性は次のようになります。

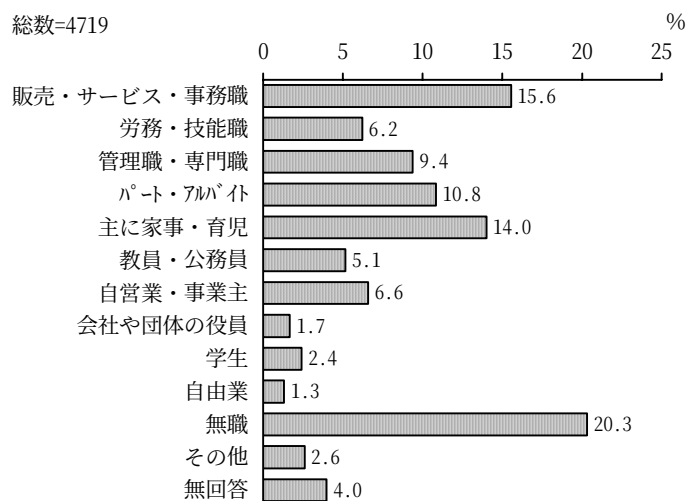
性別



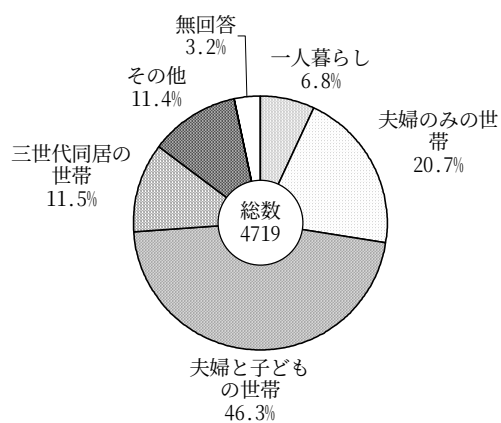
年代



職業

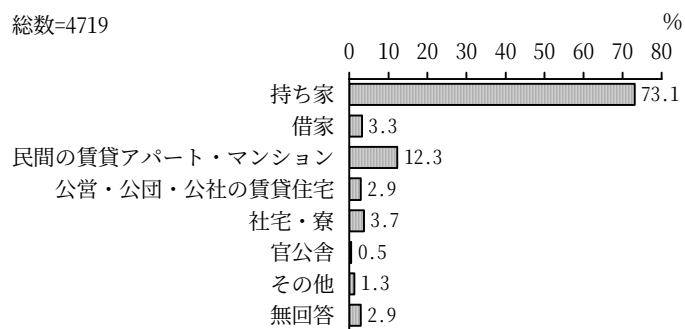


同居家族構成

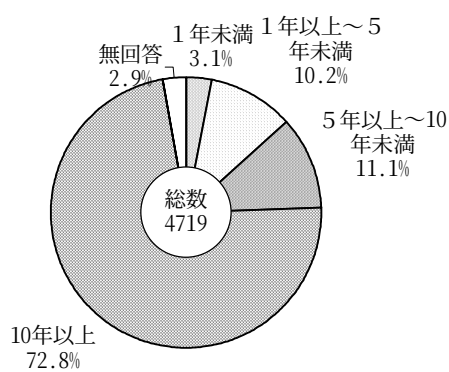


住居形態

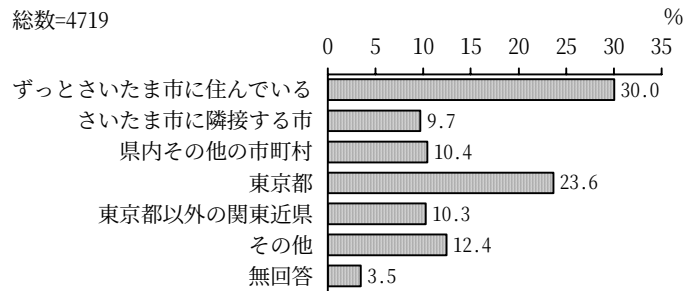
総数=4719



さいたま市での居住歴



転入以前の住所



(2) 調査結果の概要

① 豊かな自然環境と住みよい生活環境のさいたま市

現在のさいたま市に対するイメージについては、「発展的で、自然が豊か」というイメージを持つ人が多く（問1）、今後も快適で、自然の豊かな「優れた環境のイメージ」を望む声が多くなっています（問2）。また、首都圏の政令指定都市と比較しても、自然環境が残され、公害が少ない点を評価する人が多く、買物・通勤等の利便性に優れている点、開発余地が多く発展性が高いことを指摘する人も多くなっています（問3）。

こうした意識は、身の回りの生活環境に対する評価でも現れており、買物の便利さや公共交通機関の使いやすさなどの利便性、日当たりや風通しといった快適性を高く評価しています。反面、川のきれいさについて不満を持つ人も多くなっています。また、都市環境のバリアフリー化の遅れや夜道が暗いこと、障害者や高齢者への配慮が欠けることなど、「人」に対するやさしさに不満を持つ人も多い結果となっています（問6）。

② 転入者が多い割に高い定住意向

回答者の属性を見ると7割は市外からの転入者となっており、結婚や転勤、通勤・通学の都合などから、さいたま市に住むことになった人々が多くなっています（問10）。

こうした市民属性にもかかわらず、定住意向については、8割近い人が住み続けたい、あるいは当分の間住み続けたいとしており、総じて定住意向は高いと言えます。さいたま市を新しい暮らしの場として選択し、住み続けていきたいという意識が伺えます（問11）。

③ 地域や行政との新しい関わり方の模索

日常の隣近所との付き合いについては、あいさつを交わす程度という人も含めて、何らかの関わりを持っている人が9割弱と多くなっていますが（問13）、地域活動への参加状況をみると、町内会・自治会等の活動で3人に1人の割合、スポーツも含めた各種の生涯学習活動で17%程度となっているほか、ボランティア活動、環境保護やまちづくり等の住民活動などはいずれも1割に満たない結果となっています。今後の参加意向については、町内会・自治会等の活動は4人に1人程度と現状よりも低い結果となり、逆にボランティア活動は約3割、環境保護やまちづくり等の住民活動が2割、各種生涯学習活動が4割弱と高くなっています（問14）。地域コミュニティの維持・発展に重要な役割を果たしている従来の地縁型の活動から自分の関心に基づく活動へと指向性が変化している様子がわかります。

また、市政に対しては半数以上、7割弱の人が何らかの関心を持ち、6割弱の人が参加意欲を持っていますが(問15)、どうすれば良いかという情報が不足しているという指摘が多くなっており(問17)、アンケート等の活用により市民の意見をできるだけ多く聞くこと、多様な市民の参加機会を増やすこと、計画等の情報公開を進めることなどが求められており(問18)、行政と市民とのコミュニケーションの充実が求められていると言えます。

④ 進む市民生活の情報化

市民生活への情報機器の普及状況は、携帯電話の利用率がめざましく、6割となっています。パソコンの利用も5割を越えており、インターネットの利用や、電子メールの利用をしている人も4割を超える高い普及率となっています(情報通信白書では平成12年11月現在、パソコン普及率は49.3%、インターネットの世帯普及率は34.0%)。また、今後の利用意向についても、パソコン、インターネット、電子メールなどは現状の普及率を上回る利用希望率となっており、さらに普及が進むものと言えます(問25)。また、市民生活の情報化に伴い、行政の情報化に対するニーズも、自宅で各種の手続きができるシステムを望む声が多くなっています(問26)。行政は、こうした市民生活の情報化に対応しながら、新たな市民とのネットワークを構築していくことが必要と言えます。

⑤ 医療面の充実を基本にした各地区のまちづくり

9地区それぞれのまちづくりの方向については、総じて医療面の充実を望む声が多いなか、A地区では生活基盤の整備、B地区では、住宅環境の向上、C地区では福祉面の充実、D地区では生活基盤の整備や道路・交通の充実、自然環境の保全、E地区では自然環境の保全、F地区では道路・交通の充実、G地区では医療面の充実により特化しつつ安全面の充実や住宅環境の向上を求める声が多くなっています。また、H地区でも医療面の充実により特化し、I地区では生活基盤の整備などを求める声が多くなっています(問42)。各地区のまちづくりは医療機関の充実や利便性の確保、さらに福祉面の充実を重点としながら、生活基盤の整備や住宅環境の向上など「生活」の場としての条件を向上させ、残された自然を保全していくというのが基本と言えます。また、生活利便の確保を図る手段として、道路・交通の充実が求められている様子が伺えます。

⑥ 「生活・環境都市さいたま」に向けて

政令指定都市として目指すべき、さいたま市の将来像については、福祉や環境などの課題に取り組む「質の高い生活都市」、環境保全に力をいれた「環境にやさしいというおいのある都市」、水辺や大規模な公園・樹林地を活かした「みどり豊かな都市」の3つを支持する声が多くなっています(問44)。新たな生活の場としてさいたま市を選択した市民が多いことから、「生活」の質の向上が最大の関心事であるといえ、さらに、首都圏のほかの政令指定都市と比較しても自然環境の豊かさを誇る意識が強い市民にとって、「環境」や「みどり」のイメージは今後もさいたま市が大切にすべき要素として認識していることが伺えます。

将来像実現のために必要な施策についても、快適な住環境の整備や自然環境の保全を支持する人が多く(問45)、「みどり豊かな生活・環境都市さいたま」の建設を市民から求められていると言えます。

3. 調査結果の分析

(1) さいたま市のイメージについて

① 現在のイメージ（問1）

あなたは、さいたま市をどのように感じていますか。次の1～14のそれぞれについて、該当するものを1つ選んで下さい。

問1.さいたま市のイメージ

総数=4719

単位: % (5%未満非表示)

	強く感じる	どちらとも言えない	そうは思わない	無回答
発展的な	34.0	42.6	15.7	7.7
活気のある	19.4	52.7	18.9	8.9
快適な	17.9	52.6	20.1	9.5
自然豊かな	31.9	42.8	17.1	8.2
潤いのある	7.7	58.4	23.9	10.0
落ち着いた	19.2	51.0	20.6	9.2
美しい	8.4	54.7	27.4	9.5
文化的な	22.5	51.1	17.4	9.0
あたたかい	12.2	60.3	18.2	9.3
開放的な	9.9	58.6	21.4	10.2
沈滞した	9.2	44.1	37.2	9.5
雑然とした	22.6	40.4	28.0	9.0
遅れた	17.3	38.0	35.7	8.9
閉鎖的な	9.9	39.2	41.6	9.3

さいたま市のイメージについては、「発展的な」「自然豊かな」といった印象が強く、逆に「閉鎖的な」「沈滞した」「遅れた」という印象については否定的となっています。合併し新たな都市づくりがはじまるという期待感と見沼田圃に代表される豊かな自然環境のイメージが強く示されていると言えます。

地区別にみると、「発展的な」というイメージを持つ人は、さいたま新都心を擁するE地区で最も多く、大宮駅を擁するC地区がこれに続いており、市街地開発が進んでいることによって、このイメージが形成されていることが伺えます。また、「自然豊かな」というイメージは、見沼田圃を擁するI地区で最も多く、同じく見沼田圃を擁するD地区や荒川・秋ヶ瀬を擁するF地区でも比較的多くみられます。このほか、H地区やG地区など旧浦和市の中心部では「文化的な」というイメージを持つ人も多くなっ

ています。

年代別にみると、「発展的な」というイメージは 30 歳代や 20 歳代で比較的多くなっており、若い人ほど肯定的な人が多くなっています。

属性別集計表

単位: %

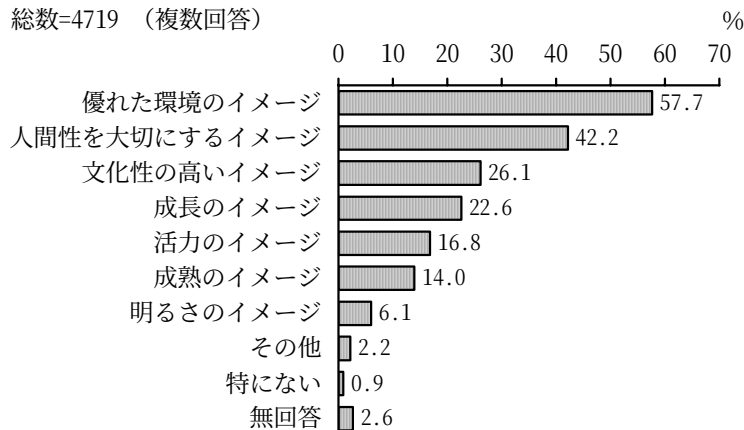
1.発展的な	強く感じる	どちらとも言えない	そうは思わない	無回答
全体	34.0	42.6	15.7	7.7
A地区	35.4	42.1	14.9	7.5
B地区	35.6	45.0	11.8	7.6
C地区	39.7	39.4	12.6	8.2
D地区	34.0	41.3	18.1	6.6
E地区	43.7	38.2	9.0	9.0
F地区	30.4	42.6	18.9	8.0
G地区	27.7	44.6	21.2	6.5
H地区	31.7	43.6	16.8	7.9
I地区	27.2	46.8	18.4	7.6
20歳代	38.8	44.5	15.0	1.7
30歳代	39.1	43.3	15.8	1.8
40歳代	36.5	43.3	17.7	2.6
50歳代	33.2	46.4	16.2	4.2
60歳代	28.3	42.0	16.3	13.4
70歳以上	28.8	34.4	10.0	26.8
4.自然豊かな	強く感じる	どちらとも言えない	そうは思わない	無回答
全体	31.9	42.8	17.1	8.2
A地区	34.2	41.4	16.1	8.2
B地区	26.7	44.6	21.0	7.8
C地区	27.8	44.1	18.9	9.2
D地区	37.1	42.0	13.5	7.3
E地区	23.7	44.1	22.7	9.4
F地区	35.7	39.6	15.0	9.8
G地区	27.9	45.0	19.8	7.3
H地区	29.4	44.3	18.7	7.5
I地区	45.0	39.3	8.4	7.2
20歳代	32.0	43.8	21.8	2.3
30歳代	33.1	45.0	19.6	2.4
40歳代	33.6	45.4	18.6	2.3
50歳代	33.8	45.3	16.3	4.6
60歳代	28.5	42.1	15.3	14.1
70歳以上	29.7	32.8	10.0	27.5
8.文化的な	強く感じる	どちらとも言えない	そうは思わない	無回答
全体	22.5	51.1	17.4	9.0
A地区	14.6	52.6	24.0	8.8
B地区	17.3	54.3	18.7	9.7
C地区	17.6	52.0	20.7	9.7
D地区	13.0	56.3	22.7	8.0
E地区	22.7	51.4	14.3	11.6
F地区	25.4	50.0	15.4	9.1
G地区	31.0	49.0	12.3	7.7
H地区	34.0	44.5	13.0	8.5
I地区	28.4	49.5	14.3	7.8
20歳代	23.2	54.5	20.5	1.8
30歳代	25.8	52.7	19.3	2.2
40歳代	22.9	56.3	18.2	2.6
50歳代	22.3	53.6	18.9	5.2
60歳代	20.8	49.4	14.5	15.3
70歳以上	18.8	39.0	10.4	31.9

② 将来のイメージ（問2）

あなたにとって、今後のさいたま市に高めてほしいイメージはどのようなものですか。次の中から2つまで選んで下さい。

問2.今後高めてほしいイメージ

総数=4719（複数回答）



今後のさいたま市に求めるイメージは、快適、自然豊かな、潤いのあるなど、「優れた環境のイメージ」とする人が圧倒的に多く、あたたかい、親しみのあるなど、「人間性を大切にするイメージ」がこれに続いています。現在の「自然豊か」なイメージを今後も維持し続けるべきという意識が強いことが伺えます。

地区別にみると、I地区やH地区で「優れた環境のイメージ」を求める人がより多くなっています。

男女別にみると、女性に「人間性を大切にするイメージ」を求める人が多く、男性に「活力のイメージ」を求める人が比較的多くなっています。

年代別にみると、20歳代で「活力のイメージ」、30～60歳代で「優れた環境のイメージ」が多く、年代が高くなるほど「人間性を大切にするイメージ」を求める傾向が強くなっています。

属性別集計表

単位: %

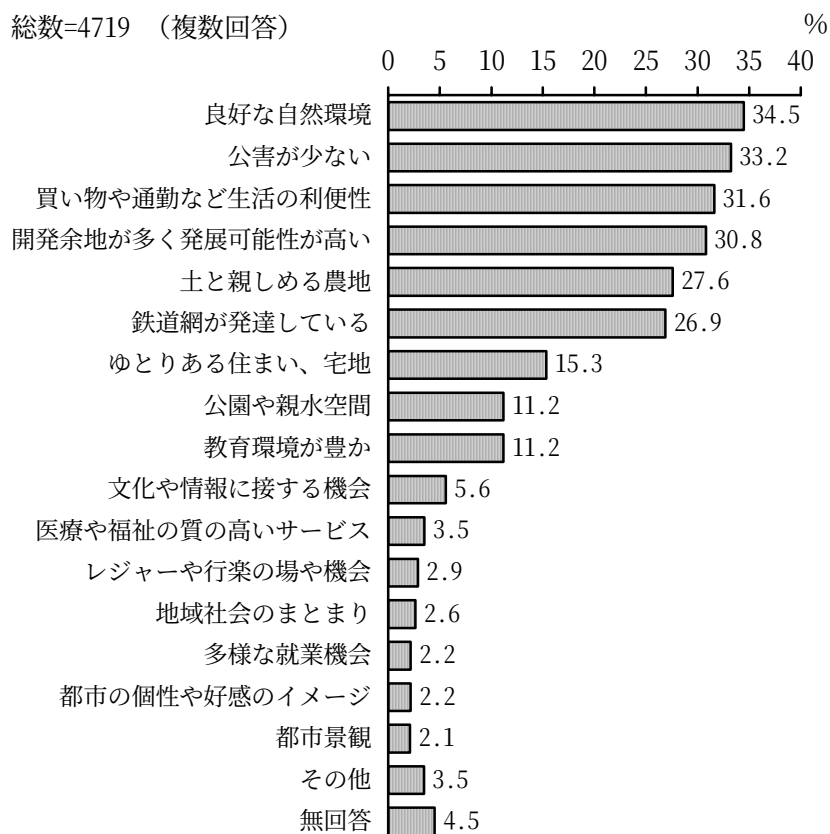
	優れた環境のイメージ	人間性を大切にするイメージ	文化性の高いイメージ	成長のイメージ	活力のイメージ	成熟のイメージ	明るさのイメージ	その他	特にない	無回答
全体	57.7	42.2	26.1	22.6	16.8	14.0	6.1	2.2	0.9	2.6
A地区	58.8	48.1	20.2	22.8	18.1	11.6	5.8	1.9	0.7	3.3
B地区	57.1	44.0	25.3	24.2	17.7	14.1	5.5	1.7	1.0	1.9
C地区	54.8	42.9	24.4	24.2	18.7	14.3	7.1	2.2	0.2	3.3
D地区	59.4	39.1	26.1	22.9	16.5	14.1	4.8	3.7	0.7	2.7
E地区	55.5	45.1	24.3	20.2	18.4	11.6	7.5	2.2	1.6	3.1
F地区	55.9	40.7	23.5	27.0	18.0	15.0	7.0	1.7	0.4	2.2
G地区	57.1	39.6	32.3	18.7	16.3	16.2	7.5	2.3	1.5	1.7
H地区	59.6	40.0	29.4	22.8	14.0	15.8	4.2	1.5	1.3	2.1
I地区	60.5	39.5	29.7	20.9	13.9	13.3	5.5	2.3	1.0	3.3
男性	58.1	40.0	27.3	22.6	18.6	15.1	5.8	2.4	0.8	1.8
女性	59.5	46.0	26.6	21.6	14.5	13.0	6.3	1.5	0.9	2.2
20歳代	50.0	31.5	26.2	28.0	22.2	15.5	13.3	3.0	1.2	0.8
30歳代	60.4	37.6	28.3	25.2	17.7	13.4	8.2	2.9	0.7	0.6
40歳代	61.2	39.9	33.7	18.8	13.7	14.6	6.7	2.3	0.8	1.8
50歳代	60.4	43.9	26.8	21.4	17.9	14.9	3.7	1.1	0.6	2.2
60歳代	60.5	49.4	23.7	21.0	14.4	12.5	2.4	2.4	0.7	3.0
70歳以上	48.8	50.5	15.1	22.8	15.7	14.0	2.9	0.9	1.6	8.6

③ さいたま市の優れている点（問3）

あなたは、首都圏の政令指定都市（横浜市、川崎市、千葉市）と比較して、さいたま市がすぐれているのはどのようなことだと思いますか。次の中から3つまで選んで下さい。

問3.首都圏の政令指定都市よりさいたま市が優れていること

総数=4719（複数回答）



さいたま市の優れた点は、良好な自然環境や公害が少ないことなど、環境面に対する評価が高いほか、買い物や通勤など生活の利便性、開発余地が多く発展可能性が高いといったことなどが続いています。このほか、土と親しめる農地、鉄道網が発達しているといった声も比較的多く、総じて自然の豊かさや交通利便への評価が高いことがわかります。一方、将来のイメージで求める声が多かった「人間性」という面については、医療や福祉の質の高いサービスに対する評価が低く、また、都市の個性や好感のイメージ、都市景観などをあげる人も少ないことから、今後の都市整備の課題となってくることが指摘できます。

地区別には、A 地区で開発余地が多い点や農地が残されている点をあげる人が多く、C 地区で生活の利便性、鉄道網の発達をあげる人が多くなっています。また、G 地区で公害が少ない点や教育環境の豊かさ、H 地区でも教育環境の豊かさをあげる人が多く、I 地区では良好な自然環境、農地が残されている点をあげる人が多くなっています。

男女別には、男性で開発余地が多い点、女性で生活の利便性をあげる人が多い傾向があります。

年代別には、20 歳代でゆとりある住まい・宅地をあげる人が多く、30 歳代で開発余地、40 歳代で農地、50 歳代で良好な自然環境や公害の少なさ、60 歳代で良好な自然環境、70 歳代以上で鉄道網の発達などをそれぞれあげる人が多くなる傾向があります。

属性別集計表 (主要な選択肢のみ)

単位: %

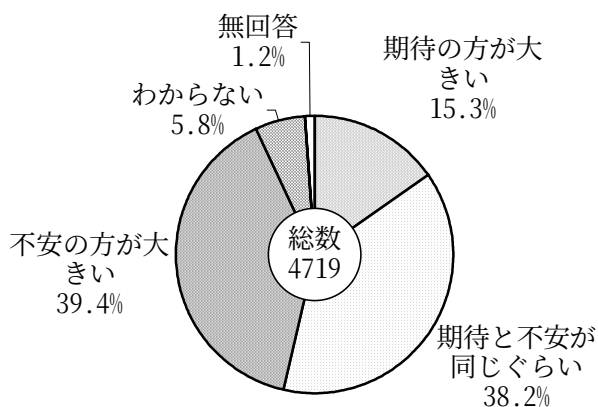
	良好な自然環境	公害が少ない	生活の利便性	買い物や通勤など 展開可能性が高い	土と親しめる農地	鉄道網が発達して いる	ゆとりある住まい 宅地	公園や親水空間	教育環境が豊か	文化や情報に接す る機会	医療や福祉の質の 高いサービス	その他	レジャーや行楽の場 や機会	地域社会のまとも り	多様な就業機会	都市の個性や好感 のイメージ	都市景観
全体	34.5	33.2	31.6	30.8	27.6	26.9	15.3	11.2	11.2	5.6	3.5	3.5	2.9	2.6	2.2	2.2	2.1
A地区	38.4	30.2	24.9	38.8	36.0	29.5	16.3	8.8	4.0	4.6	3.7	4.0	2.5	2.6	2.1	0.9	1.4
B地区	29.3	34.1	35.0	34.7	28.0	36.2	13.3	11.8	5.1	6.3	3.4	3.0	3.4	2.3	3.4	2.1	2.5
C地区	28.6	34.2	41.8	23.4	20.7	50.5	13.6	9.7	4.6	5.3	3.1	2.7	3.5	2.2	2.4	1.5	2.2
D地区	39.5	30.9	28.3	32.2	33.3	28.5	16.8	8.8	3.5	3.3	3.1	3.3	2.0	2.2	2.2	1.3	2.2
E地区	28.0	35.7	37.5	31.4	22.2	25.9	15.1	11.0	6.9	5.5	4.7	3.3	3.3	3.7	1.2	2.7	3.3
F地区	35.9	26.5	25.7	35.7	27.8	18.5	16.5	16.3	14.8	6.5	2.2	3.3	4.1	3.5	3.7	2.4	2.0
G地区	32.7	39.2	31.9	26.5	25.6	15.8	16.0	9.0	27.5	7.1	3.7	3.7	2.3	2.5	2.1	1.7	2.1
H地区	29.1	34.3	37.0	25.1	18.9	22.1	14.2	12.6	20.4	6.2	3.8	4.9	3.0	2.8	2.6	2.8	2.3
I地区	48.9	33.7	21.9	29.7	35.6	12.3	16.4	13.5	15.5	5.9	3.9	2.9	2.0	2.0	0.0	4.5	1.2
男性	37.5	34.9	27.2	34.0	27.4	28.2	15.5	10.6	10.9	4.6	3.6	3.6	2.4	2.8	2.3	2.6	2.1
女性	32.8	32.9	35.2	28.3	27.8	25.2	15.4	12.3	12.2	6.9	3.3	3.0	3.3	2.5	2.0	1.8	2.0
20歳代	26.7	28.3	34.2	31.0	21.5	27.3	24.3	12.3	6.0	3.7	2.2	3.8	4.7	2.3	2.0	3.5	2.3
30歳代	26.3	29.8	29.4	36.3	26.5	20.8	19.2	12.5	9.1	3.7	2.2	3.7	3.2	2.8	2.4	2.7	2.7
40歳代	35.4	33.5	30.1	33.5	32.9	21.9	12.9	10.1	12.5	6.4	1.9	3.1	1.9	2.4	2.0	2.4	1.9
50歳代	41.0	39.2	31.6	30.7	31.4	28.8	13.1	8.9	11.7	7.5	2.5	3.3	2.7	2.0	2.1	1.5	1.7
60歳代	39.9	35.2	35.5	27.7	26.0	31.8	9.4	11.9	15.0	6.0	5.0	2.9	2.8	3.4	2.3	1.6	2.2
70歳以上	35.5	31.5	32.1	23.1	22.6	32.8	16.4	12.4	12.2	5.6	8.7	3.8	2.4	2.7	2.0	2.0	1.5

(2)暮らしを取り巻く環境について

① 将来の期待や不安の大きさ (問 4)

あなたご自身の生活について、これからの 20 年程度を見通したとき、期待と不安のどちらが大きいのですか。次の中からあなたのお気持ちに近いものを 1 つ選んで下さい。

問4.今後20年間の期待と不安の見通し



20 年程度先に対する期待と不安については、不安の方が大きい人が 39.4%で最も多く、期待と不安が同じぐらいという人が 38.2%で続きます。期待の方が大きい人は 15.3%と少なく、総じて不安を感じている人の方が多い結果となっています。

地区別にみても、総じて不安が大きくなっていますが、特に、D・B地区で不安を持つ人が多く、逆にH地区では若干期待が大きい人が多い傾向がみられます。

男女別には、女性の不安がより大きくなっています。

年代別には、20 歳代で期待が大きい人が若干多くなっているほか、70 歳代で不安が大きい人が少なくなる傾向にあります。最も不安が大きい世代は、40～50 歳代であり、家族の扶養や介護、社会的な責任など、現時点での社会的・経済的負担が将来的な不安に結びついていることが推測されます。

属性別集計表

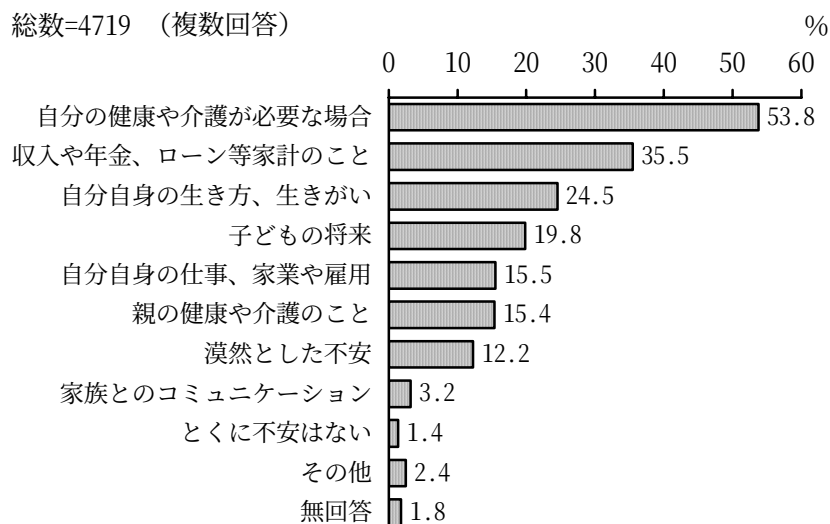
単位：％

	期待の方が大きい	期待と不安が同じぐらい	不安の方が大きい	わからない	無回答
全体	15.3	38.2	39.4	5.8	1.2
A地区	13.5	38.9	41.6	4.6	1.4
B地区	14.1	37.5	42.1	5.7	0.6
C地区	14.3	37.9	40.3	6.0	1.5
D地区	14.3	36.6	42.6	5.3	1.3
E地区	17.1	38.2	35.7	6.9	2.2
F地区	14.8	39.8	37.0	7.0	1.5
G地区	16.0	38.3	39.2	5.8	0.8
H地区	18.5	37.2	36.6	7.0	0.8
I地区	15.9	39.3	39.1	4.5	1.2
男性	19.5	37.1	37.0	5.1	1.2
女性	13.0	37.7	42.4	6.2	0.7
20 歳代	20.3	37.8	33.2	8.3	0.3
30 歳代	15.0	38.5	40.4	6.1	0.0
40 歳代	13.6	37.3	43.9	4.4	0.8
50 歳代	14.5	34.3	47.9	2.5	0.8
60 歳代	15.3	42.0	35.3	6.1	1.3
70 歳以上	15.5	41.3	28.4	10.2	4.6

② 将来の不安の内容（問 5）

あなたにとって、これからの 20 年間における生活の不安とは、どのようなものですか。次の中からあなたのお気持ちに近いものを 2 つまで選んで下さい。

問5.今後20年間の期待と不安の内容



将来的な生活の不安については、自分の健康や介護が必要となった場合のことについて半数以上の人
が上げており、自身の健康問題が最大の関心事であることがわかります。このほか、収入や年金、ロー
ン等家計のことを不安に思う人が多くなっています。こうした「健康と家計」の不安は、特に高齢期に
さしかかった際の不安として意識されており、健康保険・年金・介護保険といった社会保障に対する信
頼感が失われていることが推測できます。

地区別には、A地区で「自分の健康」「子どもの将来」、B地区で「子どもの将来」や「仕事」、D地
区で「家計」「仕事」、E地区で「親の健康・介護」、F地区で「生きがい」「親の健康・介護」、G地区
で「生きがい」、H地区で「家計」「生きがい」などがそれぞれ特化する傾向があります。

男女別には、男性で「生きがい」「仕事」、女性で「家計」「親の健康・介護」により不安を持つ傾向
がみられます。

年代別には、20～40 歳代で「家計」、50～70 歳代以上で「健康」に不安を持つ人がより多くなっ
ているほか、20 歳代で「仕事」、20～30 歳代で「親の健康・介護」、30～40 歳代の子育て世代で「子
どもの将来」などに特化する傾向があり、各世代の置かれている状況を反映する結果となっています。
また、60～70 歳代以上で「漠然とした不安」も目立っています。

属性別集計表

単位：％

	自分の健康や介護が必要な場合	収入や年金、ローン等家計のこと	自分自身の生き方、生きがい	子どもの将来	自分自身の仕事、家業や雇用	親の健康や介護のこと	漠然とした不安	家族とのコミュニケーション	その他	とくに不安はない	無回答
全体	53.8	35.5	24.5	19.8	15.5	15.4	12.2	3.2	2.4	1.4	1.8
A地区	56.5	35.4	23.5	21.6	13.9	12.5	13.5	3.3	2.6	1.1	1.4
B地区	53.5	36.8	22.3	22.9	17.0	13.9	11.4	3.2	2.1	1.5	1.7
C地区	54.4	31.9	23.6	19.0	15.8	14.8	14.8	3.5	2.4	0.9	2.4
D地区	53.6	38.0	24.3	17.7	17.6	15.4	11.2	2.9	2.4	1.3	1.3
E地区	53.7	36.1	23.7	17.6	13.7	17.8	10.6	3.9	2.4	0.8	3.1
F地区	53.5	37.0	26.3	19.1	16.5	17.0	10.4	3.0	1.7	1.5	2.6
G地区	54.0	29.6	26.2	19.2	15.6	16.0	14.6	3.3	3.1	2.1	1.2
H地区	50.9	38.5	26.8	20.4	15.1	15.1	10.8	2.6	2.5	2.5	0.9
I地区	53.8	36.2	24.3	20.7	14.7	16.4	12.5	2.5	2.7	0.6	1.8
男性	53.1	32.6	28.2	18.8	21.0	12.9	11.1	3.0	2.4	1.3	1.7
女性	55.4	38.0	22.8	20.4	12.0	19.2	12.1	2.7	2.4	1.3	1.0
20歳代	16.3	42.0	31.5	10.7	36.0	27.5	10.7	2.3	3.2	2.8	1.0
30歳代	24.3	54.5	19.8	28.9	21.4	27.7	5.4	2.1	2.6	1.2	1.2
40歳代	46.8	47.5	17.6	26.7	18.5	22.9	6.5	2.2	2.0	0.7	0.8
50歳代	71.2	34.4	24.5	16.6	11.9	11.4	12.1	1.7	2.0	1.5	1.6
60歳代	79.9	19.5	28.7	17.9	4.9	2.3	18.9	4.7	2.1	1.0	1.9
70歳以上	79.1	10.2	26.2	16.4	2.9	1.1	22.2	6.7	3.5	1.6	4.0

③ 生活環境の評価（問6）

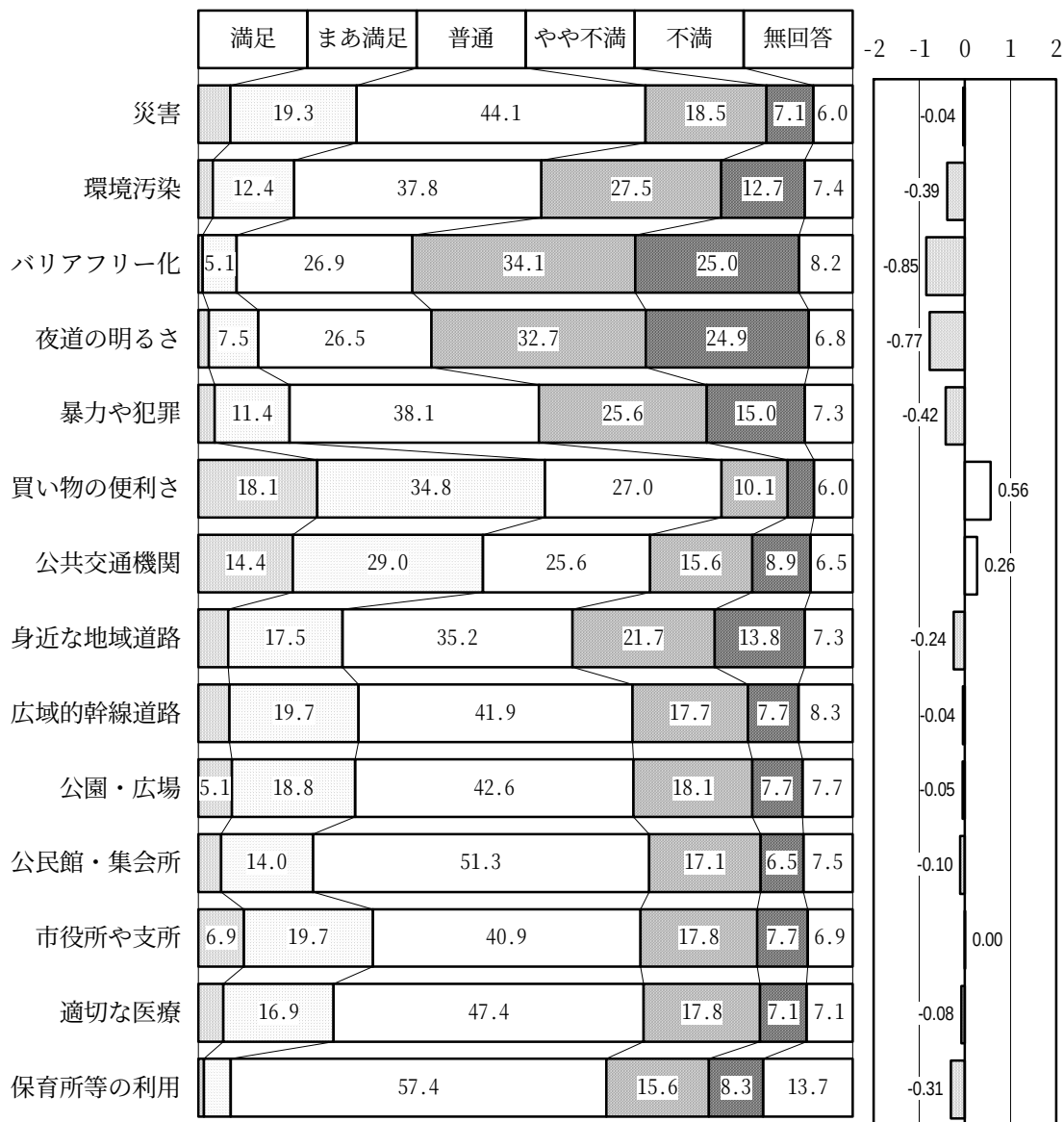
身の回りを考えたとき、あなたはどの程度満足を感じていますか。次の1～32のそれぞれについて、該当するものを1つ選んで下さい。

問6.身の回りの満足度

総数=4719

単位:% (5%未満非表示)

<評価点>



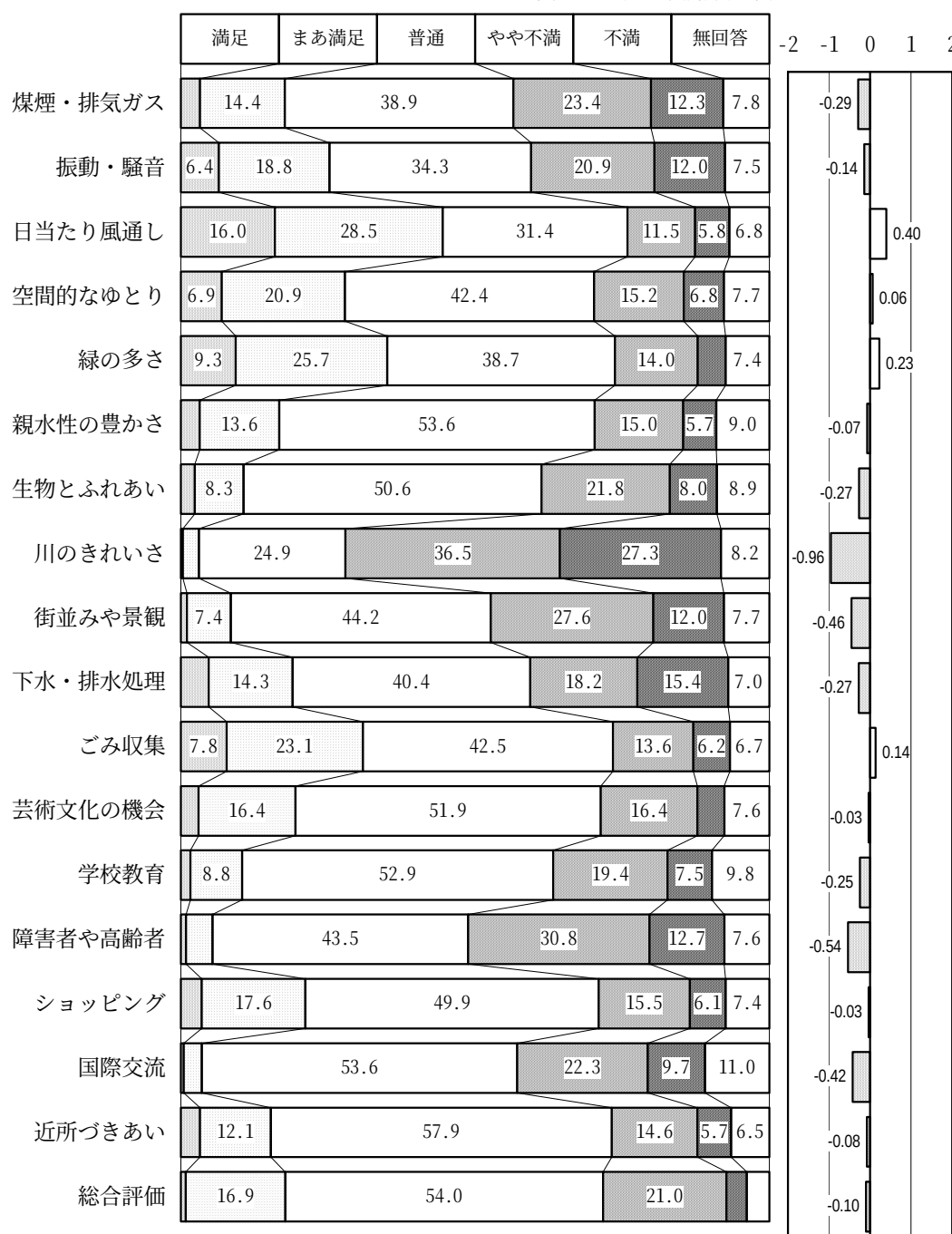
(注) 5%未満数値：災害(4.9)環境汚染(2.2)バリアフリー化(0.7)夜道の明るさ(1.6)暴力や犯罪(2.5)買い物の便利さ(4.0)身近な地域道路(4.6)広域的幹線道路(4.7)公民館・集会所(3.5)適切な医療(3.8)保育所等の利用(0.8 4.1)

問6.身の回りの満足度

総数=4719

単位:% (5%未満非表示)

<評価点>



(注) 5%未満数値: 煤煙・排気ガス(3.3)緑の多さ(4.7)親水性の豊かさ(3.2)生物とふれあい(2.4)川のきれいさ(0.4 2.7)街並みや景観(1.0)下水・排水処理(4.7)芸術文化の機会(3.0 4.6)学校教育(1.6)障害者や高齢者(0.9 4.5)ショッピング(3.5)国際交流(0.5 3.1)近所づきあい(3.2)総合評価(0.8 3.4 3.9)

注) 右側の棒グラフ中の数値(評価点)は、満足を2点、まあ満足を1点、やや不満を-1点、不満を-2点として加算し、サンプル数で除した平均値です。

安全性、利便性、快適性、文化性など身の回りの生活環境に対する評価は、総じて厳しい結果となっています。市全体でプラス評価であった項目は、安全性や文化性といった面では見当たらず、利便性で「日用品・食料品などの買い物の便利さ」「鉄道・バスなど公共交通機関の使いやすさ」、快適性で「日当たりや風通しの良さ」「緑の多さ」「ごみ収集の体制や回数」「公園や広場などの空間的なゆとり」などとなっています。利便性と快適性に良好な評価がみられたことは、問3などの設問と同様の傾向と言えます。

地区別には、A地区では快適性、B地区では利便性、C地区では安全性、利便性、文化性、D地区では快適性、E地区では安全性、利便性、文化性、G地区では安全性、利便性、文化性、H地区では安全性、利便性、文化性、I地区では快適性の各項目で市平均を上回る評価点となっているものが多くなっています。特に、C地区の利便性のなかで、日用品・食料品などの買い物の便利さ、鉄道・バスなど公共交通機関の使いやすさに対する評価は際立っており、また、E地区の利便性、I地区の快適性については、9地区で最も高い評価点となっている項目が多く、それぞれ、さいたま市の便利なまち、快適なまちという特性を代表するかたちとなっています。なお、F地区では総じて厳しい評価となっており、生活環境整備に向けた課題が多いことがわかります。

地区別環境評価 (各地区の網かけは、市平均より高い評価点のもの)

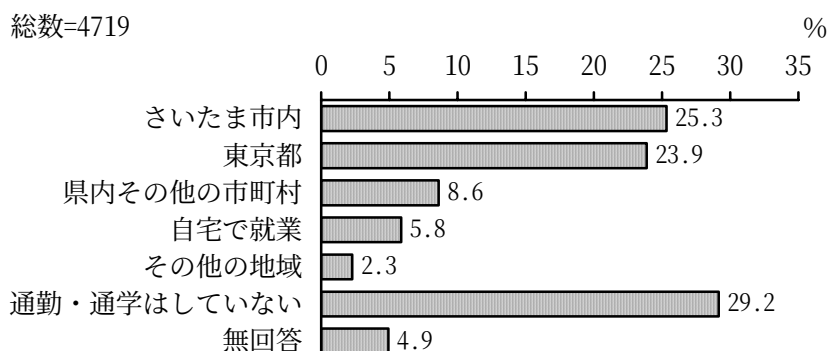
区分	項目	地区	全体	A	B	C	D	E	F	G	H	I
安全性	1. 災害(火災、地震、水害など)からの安全性		-0.04	-0.11	0.01	0.03	0.04	-0.10	-0.22	0.02	-0.09	0.03
	2. 環境汚染(ダイオキシンなど)からの安全性		-0.39	-0.41	-0.44	-0.34	-0.35	-0.43	-0.58	-0.26	-0.36	-0.36
	3. 道路や施設のバリアフリー化の状況		-0.85	-0.95	-0.85	-0.81	-0.91	-0.80	-0.88	-0.83	-0.68	-0.90
	4. 夜道の明るさ		-0.77	-0.90	-0.81	-0.58	-0.98	-0.72	-0.92	-0.55	-0.59	-0.87
	5. 暴力や犯罪がないこと		-0.42	-0.37	-0.45	-0.49	-0.52	-0.37	-0.47	-0.27	-0.43	-0.44
利便性	6. 日用品・食料品などの買い物の便利さ		0.56	0.22	0.67	0.82	0.49	0.78	0.49	0.59	0.65	0.40
	7. 鉄道・バスなど公共交通機関の使いやすさ		0.26	-0.12	0.38	0.82	0.02	0.55	-0.07	0.36	0.45	-0.04
	8. 身近な地域での道路の使いやすさ		-0.24	-0.49	-0.15	-0.10	-0.38	0.07	-0.41	-0.31	-0.06	-0.35
	9. 広域的な幹線道路の使いやすさ		-0.04	-0.08	0.05	0.03	-0.22	0.18	-0.09	-0.16	0.09	-0.18
	10. 公園・広場などの利用のしやすさ		-0.05	-0.25	0.10	0.08	-0.07	0.10	-0.14	-0.17	-0.07	-0.01
	11. 公民館・集会所などの利用のしやすさ		-0.10	-0.18	-0.14	-0.08	-0.22	-0.03	-0.15	-0.01	-0.07	0.01
	12. 市役所や支所の身近さ		0.00	-0.12	-0.20	0.01	-0.03	0.19	0.02	0.13	-0.01	0.08
	13. 適切な医療が受けられること		-0.08	-0.19	-0.14	0.01	-0.12	0.00	-0.16	-0.02	-0.11	0.01
	14. 保育所や保育サービスの利用のしやすさ		-0.31	-0.41	-0.34	-0.24	-0.29	-0.25	-0.27	-0.25	-0.37	-0.32
快適性	15. 煤煙・排気ガスの発生がないこと		-0.29	-0.28	-0.37	-0.38	-0.18	-0.34	-0.51	-0.16	-0.25	-0.21
	16. 振動・騒音(工場・車などの)がないこと		-0.14	-0.02	-0.23	-0.25	-0.06	-0.26	-0.28	-0.03	-0.20	0.00
	17. 日当たりや風通しの良さ		0.40	0.55	0.27	0.30	0.49	0.42	0.35	0.30	0.34	0.55
	18. 公園や広場などの空間的なゆとり		0.06	0.03	0.14	0.07	0.13	0.12	0.00	-0.12	-0.05	0.24
	19. 緑の多さ		0.23	0.41	0.18	0.17	0.44	0.05	0.17	0.01	-0.01	0.57
	20. 親水性の豊かさ		-0.07	-0.03	-0.12	-0.08	-0.01	-0.12	-0.01	-0.23	-0.12	0.07
	21. 生き物とのふれあい		-0.27	-0.13	-0.33	-0.33	-0.16	-0.41	-0.25	-0.44	-0.38	-0.04
	22. 川などを流れる水のきれいさ		-0.96	-1.02	-1.04	-0.98	-1.03	-1.03	-0.91	-0.85	-0.91	-0.82
	23. 街並みや景観の美しさ		-0.46	-0.54	-0.44	-0.42	-0.52	-0.34	-0.53	-0.52	-0.43	-0.36
	24. 下水や排水の処理状況		-0.27	-0.88	-0.14	-0.07	-0.53	0.17	-0.27	-0.02	-0.12	-0.50
	25. ごみ収集の体制や回数		0.14	0.05	0.12	0.24	0.07	0.28	0.09	0.19	0.16	0.01
文化性	26. 芸術・文化に親しむ機会があること		-0.03	-0.24	-0.15	-0.01	-0.22	0.19	-0.03	0.14	0.10	-0.03
	27. 信頼できる学校教育		-0.25	-0.40	-0.32	-0.24	-0.39	-0.23	-0.23	-0.03	-0.15	-0.24
	28. 障害者や高齢者への配慮		-0.54	-0.66	-0.58	-0.50	-0.60	-0.42	-0.51	-0.51	-0.52	-0.55
	29. ショッピングの楽しさやまちの賑わい		-0.03	-0.02	0.10	0.27	-0.04	-0.03	-0.20	-0.14	-0.06	-0.20
	30. 国際交流を楽しめること		-0.42	-0.52	-0.41	-0.36	-0.47	-0.40	-0.46	-0.40	-0.35	-0.42
	31. 近所づきあいのしやすさ		-0.08	0.00	-0.07	-0.06	-0.11	-0.05	-0.09	-0.14	-0.10	-0.11
総合	32. 総合的な満足度		-0.10	-0.19	-0.09	-0.05	-0.17	0.00	-0.16	-0.06	-0.06	-0.07

④ 通勤・通学地（問 7）

あなたの通勤地もしくは通学地はどこですか。1つ選んで下さい。

問7.通勤・通学地

総数=4719



市民の生活行動範囲を把握する設問として、通勤・通学地を訪ねた結果、通勤・通学者では、さいたま市内が最も多く 25.3%となっています。続いて東京都内が 23.9%と多くっており、首都圏のベッドタウンとしての特性が表れています。

地区別には、A・B・C・D・Fの各地区でさいたま市内が最も多く、E・G・Hの各地区で東京都が最も多くなっています。総じて市の北部では市内、南部では東京都への通勤・通学が多くなる傾向がみられます。

男女別には、男性で東京都、女性でさいたま市内への通勤・通学が多くなる傾向があります。

年代別には、20～30 歳代で東京都、40～50 歳代でさいたま市内への通勤・通学が多くなる傾向があります。

属性別集計表

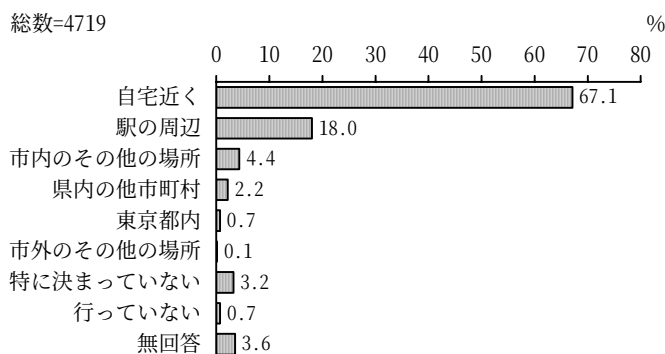
単位: %

	自宅で就業	さいたま市内	県内その他の市町村	東京都	その他の地域	通勤・通学はしていない	無回答
全体	5.8	25.3	8.6	23.9	2.3	29.2	4.9
A地区	7.4	27.4	10.7	19.6	2.1	27.5	5.3
B地区	4.8	27.6	9.3	21.0	1.5	31.6	4.2
C地区	8.4	26.2	6.2	21.6	1.5	28.6	7.5
D地区	5.3	29.6	9.5	22.7	1.6	26.9	4.4
E地区	3.9	25.3	5.9	26.3	1.4	31.4	5.9
F地区	5.9	28.3	6.7	26.3	2.0	24.6	6.3
G地区	5.8	21.3	7.5	23.5	3.8	34.2	3.8
H地区	5.1	19.6	10.8	32.3	2.8	26.2	3.2
I地区	5.9	22.5	10.4	22.5	3.7	31.3	3.7
男性	5.6	23.2	11.5	36.2	3.8	17.0	2.9
女性	6.1	27.8	6.6	14.1	1.0	40.0	4.4
20歳代	2.0	26.8	12.7	40.5	4.5	12.3	1.2
30歳代	2.9	25.9	9.4	31.9	1.6	27.3	0.8
40歳代	5.0	35.1	11.0	27.2	2.6	18.4	0.7
50歳代	7.5	32.8	10.0	23.4	3.0	21.5	1.7
60歳代	9.7	18.1	5.4	14.5	1.1	43.2	8.0
70歳以上	6.4	6.2	1.6	4.9	0.5	59.0	21.3

⑤ 買物や余暇の行き先と交通手段（問 8）

あなたは、買い物や外食、余暇活動などを主にどこでしていますか。次の1～8のそれぞれについて、該当するものを1つ選んで下さい。（「駅の周辺」欄には下表から1～28の番号を記入）

問8.日常生活の活動範囲1.日用品の買い物



日用品の買い物については、自宅の近くが 67.1%と最も多く、次いで大宮駅や浦和駅など駅の周辺が 18.0%となっています。

地区別には、大宮駅や浦和駅と離れたB・F・I地区で自宅近くでの買い物がより多く、逆に両駅に近接するC・G・H地区で駅の周辺が多くなっています。なお、E・F地区では、駅周辺の買い物の場所が分散する傾向にあります。

年代別には、30～40歳代で自宅の近くでの買い物が多くなっています。

1.日用品の買い物（駅周辺の場合の駅名）・地区別（10%以上の駅）

単位：%

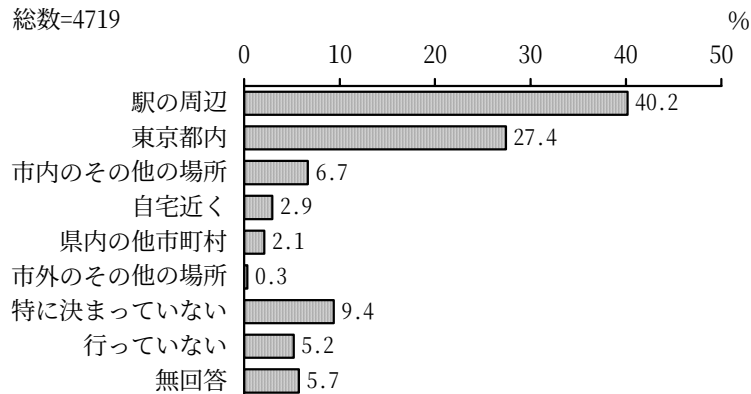
	全体	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区
1位	大宮駅 26.0	大宮駅 51.6	日進駅 27.9	大宮駅 80.1	東大宮駅 45.5	北与野駅 24.5	浦和駅 30.0	浦和駅 57.8	武蔵浦和駅 49.3	浦和駅 57.9
2位	浦和駅 18.4	指扇駅 21.9	大宮駅 26.5	—	大宮駅 22.8	与野本町駅 18.1	西浦和駅 28.0	北浦和駅 23.8	南浦和駅 29.0	東浦和駅 23.7
3位	—	日進駅 17.2	土呂駅 25.0	—	大和田駅 11.9	大宮駅 16.0	南浦和駅 10.0	—	浦和駅 15.2	—
4位	—	—	—	—	—	北浦和駅 10.6	武蔵浦和駅 10.0	—	—	—

1.日用品の買い物・属性別集計表

単位：%

	自宅近く	駅の周辺	市内のその他の場所	県内の他市町村	東京都内	市外のその他の場所	特に決まっていない	行っていない	無回答
全体	67.1	18.0	4.4	2.2	0.7	0.1	3.2	0.7	3.6
A地区	69.6	11.2	7.0	2.8	0.5	0.0	4.2	0.7	3.9
B地区	73.9	13.0	4.2	1.5	1.1	0.0	2.9	0.2	3.2
C地区	58.1	27.7	4.9	0.5	0.5	0.2	2.4	1.1	4.6
D地区	67.5	18.5	3.5	1.6	0.5	0.0	3.3	0.5	4.6
E地区	67.1	18.4	6.1	1.2	0.2	0.0	2.0	0.6	4.5
F地区	76.3	10.9	2.8	2.0	1.1	0.0	4.1	0.9	2.0
G地区	62.5	28.3	2.7	0.2	1.2	0.2	2.1	0.4	2.5
H地区	57.9	26.0	2.1	4.3	0.6	0.4	4.3	0.9	3.4
I地区	72.8	7.4	5.7	5.5	0.4	0.2	3.7	1.2	3.1
20歳代	64.2	21.2	2.3	2.2	2.2	0.0	5.5	0.8	1.7
30歳代	71.8	15.5	5.1	3.2	0.6	0.2	2.7	0.1	0.7
40歳代	72.4	15.4	5.0	1.8	0.3	0.0	3.7	0.4	1.1
50歳代	68.4	17.3	5.2	2.9	0.6	0.0	2.6	0.7	2.3
60歳代	66.1	18.6	3.8	2.1	0.1	0.1	3.0	0.9	5.4
70歳以上	55.9	22.2	4.2	0.2	0.7	0.0	2.2	2.0	12.6

問8.日常生活の活動範囲2.高級品の買い物



高級品などの買い物については、駅の周辺が最も多く 40.2%となり、次いで東京都内まで出かける人が 27.4%となっています。買い物に出かける駅周辺については、やはり大宮駅、浦和駅が多くなっています。

地区別には、大きな差はありませんが、A・C・D・I地区などで駅周辺での買い物が若干多く、逆に、F・G・H地区で東京都内が多くなる傾向がみられます。特に、市の南部に位置するH地区では、東京都内での買い物が駅周辺を上回っています。なお、駅周辺での買い物は、大宮駅、浦和駅に集中する傾向が強くなっています。

年代別には、30～50歳代に駅周辺での買い物が多くなっており、逆に20歳代では東京都内に出かける人が駅周辺という人を上回っており、行動範囲が広いことがわかります。

2.高級品の買い物(駅周辺の場合の駅名)・地区別(10%以上の駅)

単位:%

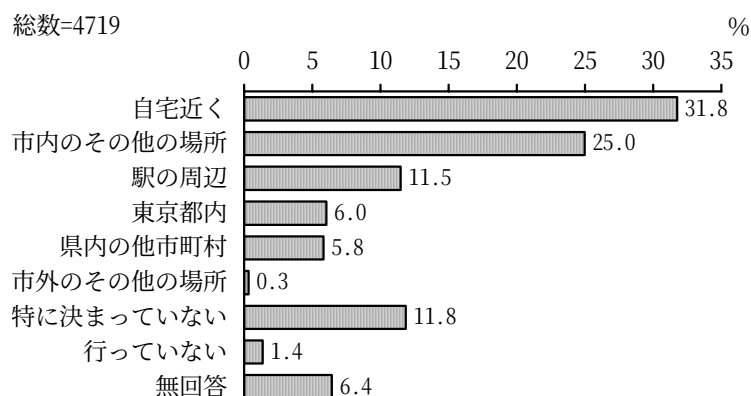
	全体	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区
1位	大宮駅 59.3	大宮駅 94.7	大宮駅 94.8	大宮駅 91.8	大宮駅 92.6	大宮駅 67.7	浦和駅 74.1	浦和駅 75.4	浦和駅 84.2	浦和駅 90.6
2位	浦和駅 36.9	—	—	—	—	浦和駅 28.6	大宮駅 22.4	大宮駅 18.0	—	—

2.高級品の買い物・属性別集計表

単位:%

	自宅近く	駅の周辺	市内のその他の場所	県内の他市町村	東京都内	市外のその他の場所	特に決まっていない	行っていない	無回答
全体	2.9	40.2	6.7	2.1	27.4	0.3	9.4	5.2	5.7
A地区	3.7	42.8	7.7	3.2	19.8	0.2	10.4	6.5	5.8
B地区	3.6	39.8	10.7	1.1	23.6	0.4	11.2	5.5	4.0
C地区	4.2	44.7	5.1	0.4	24.9	0.0	8.2	5.1	7.3
D地区	1.6	47.0	5.5	2.0	23.0	0.5	9.0	6.4	4.9
E地区	3.5	37.1	5.7	4.3	29.8	0.2	8.8	3.3	7.3
F地区	2.2	37.8	7.2	1.7	30.9	0.4	10.2	5.0	4.6
G地区	3.3	35.2	6.5	0.6	33.8	0.2	10.0	4.4	6.0
H地区	3.0	34.7	4.3	2.1	35.3	0.9	7.9	4.7	7.0
I地区	1.2	41.5	7.4	3.7	27.2	0.2	8.8	5.3	4.7
20歳代	1.3	32.2	3.0	1.3	44.8	0.5	8.3	7.2	1.3
30歳代	2.1	46.6	4.8	2.2	31.3	0.1	9.4	2.6	0.7
40歳代	3.1	46.4	5.2	1.2	25.9	0.4	11.4	4.8	1.6
50歳代	2.9	42.7	7.4	2.2	27.8	0.1	9.3	5.3	2.3
60歳代	4.9	37.5	10.5	3.3	20.3	0.4	9.1	4.9	9.2
70歳以上	2.7	29.9	8.2	2.7	15.8	0.2	8.6	8.4	23.5

問8.日常生活の活動範囲3.耐久消費財の買い物



郊外型大型店舗が取り扱うことの多い耐久消費財については、自宅近くでの買い物が最も多く 31.8%となり、市内のその他の場所が 25.0%で続きます。駅周辺は 11.5%で、多いとはいえません。

地区別には、A・I地区で自宅の近くでの買い物がより多くなる傾向にあり、郊外型店舗の立地が進んでいることがわかります。なお、大宮駅、浦和駅を擁するC・G地区で若干駅周辺での買い物が多くなる傾向があります。

年代別には、20歳代に東京都内での買い物が多く、30歳代に駅周辺での買い物が少ない傾向がみられます。

3.耐久消費財の買い物(駅周辺の場合の駅名)・地区別(10%以上の駅)

単位: %

	全体	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区
1位	大宮駅 53.1	大宮駅 77.6	大宮駅 83.3	大宮駅 94.2	大宮駅 68.1	大宮駅 61.4	浦和駅 43.2	浦和駅 65.0	浦和駅 50.0	浦和駅 55.6
2位	浦和駅 22.5	指扇駅 13.8	—	—	東大宮駅 18.8	浦和駅 10.5	大宮駅 27.0	北浦和駅 17.5	武蔵浦和駅 30.6	大宮駅 11.1
3位	—	—	—	—	—	北浦和駅 10.5	北浦和駅 13.5	大宮駅 12.5	南浦和駅 17.7	—

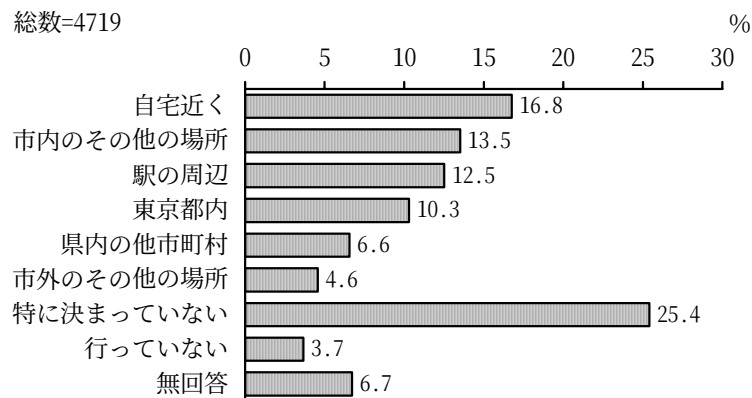
3.耐久消費財の買い物・属性別集計表

単位: %

	自宅近く	駅の周辺	市内のその他の場所	県内の他市町村	東京都内	市外のその他の場所	特に決まっていない	行っていない	無回答
全体	31.8	11.5	25.0	5.8	6.0	0.3	11.8	1.4	6.4
A地区	44.6	10.2	22.3	4.9	2.5	0.2	8.9	1.2	5.3
B地区	30.5	9.1	31.2	6.7	4.6	0.2	10.7	2.1	5.0
C地区	26.0	19.0	28.4	1.6	4.6	0.0	11.7	0.9	7.7
D地区	32.2	12.6	27.4	6.2	4.2	0.4	9.9	1.5	5.7
E地区	22.7	11.2	29.0	6.9	8.0	0.4	12.7	0.6	8.4
F地区	29.8	8.0	23.7	8.7	7.6	0.0	15.0	1.3	5.9
G地区	25.4	15.4	26.7	2.3	7.5	0.4	13.7	2.1	6.5
H地区	27.0	11.7	17.5	9.1	11.3	0.8	14.3	1.3	7.0
I地区	46.8	5.3	18.2	6.7	4.5	0.6	10.4	1.2	6.5
20歳代	32.3	14.0	15.2	6.7	13.0	0.3	14.8	2.5	1.2
30歳代	33.9	7.8	27.6	7.8	8.5	0.2	12.6	0.7	0.9
40歳代	35.9	10.7	30.7	5.3	3.7	0.3	11.7	0.1	1.5
50歳代	32.0	11.8	30.0	5.9	4.2	0.2	12.3	0.9	2.7
60歳代	30.2	12.7	24.2	5.7	4.9	0.7	10.2	1.1	10.3
70歳以上	23.7	13.1	17.1	2.9	3.3	0.0	9.3	4.2	26.4

問8.日常生活の活動範囲4.レクリエーション

総数=4719



休日のレクリエーション（飲食なども含む）については、特に決まっていない人が 25.4%と最も多くなっていますが、そのほかでは自宅近くが 16.8%、市内のその他の場所が 13.5%、駅の周辺が 12.5%などと比較的近隣地域での活動が多くなっています。

地区別には、大きな差はみられませんが、D・F地区で自宅近くが多いほか、大宮駅を擁するC地区で駅周辺が多く、市の南部地域、特にG地区で東京都内が多くなる傾向があります。

年代別には、20歳代で東京都内が多く、40歳代で自宅近くが多くなる傾向があります。

4.レクリエーション(駅周辺の場合の駅名)・地区別(10%以上の駅)

単位:%

	全体	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区
1位	大宮駅 58.0	大宮駅 89.2	大宮駅 91.8	大宮駅 90.4	大宮駅 75.9	大宮駅 49.1	浦和駅 53.1	浦和駅 67.1	浦和駅 48.8	浦和駅 70.2
2位	浦和駅 24.9	—	—	—	東大宮駅 12.0	浦和駅 22.8	大宮駅 24.5	大宮駅 16.4	武蔵浦和駅 18.6	大宮駅 14.9
3位	—	—	—	—	—	さいたま新都心駅 14.0	北浦和駅 14.3	—	大宮駅 11.6	—
4位	—	—	—	—	—	—	—	—	南浦和駅 11.6	—

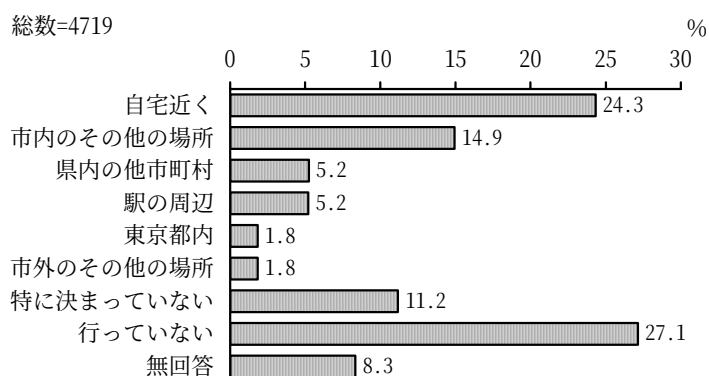
4.レクリエーション・属性別集計表

単位:%

	自宅近く	駅の周辺	市内のその他の場所	県内の他市町村	東京都内	市外のその他の場所	特に決まっていない	行っていない	無回答
全体	16.8	12.5	13.5	6.6	10.3	4.6	25.4	3.7	6.7
A地区	16.7	13.0	14.2	7.4	8.9	4.9	24.9	3.7	6.3
B地区	18.1	9.3	14.9	7.4	8.2	6.5	26.1	5.0	4.6
C地区	11.4	21.1	14.1	4.6	9.0	2.2	25.6	3.7	8.4
D地区	20.1	15.2	11.0	6.9	8.4	4.0	26.3	2.9	5.1
E地区	15.1	11.2	12.4	7.8	8.8	4.5	27.5	3.5	9.2
F地区	20.7	10.7	13.7	6.1	12.0	3.7	24.6	3.3	5.4
G地区	13.5	14.0	13.7	4.8	16.0	4.2	22.7	2.7	8.5
H地区	16.6	8.1	11.1	7.2	13.2	5.8	26.2	4.2	7.5
I地区	19.4	9.2	16.8	6.8	8.6	5.1	24.7	4.1	5.3
20歳代	12.8	13.7	8.0	6.0	26.0	4.5	25.5	2.0	1.5
30歳代	15.8	10.0	14.0	8.5	12.1	4.6	32.7	1.3	0.9
40歳代	21.8	10.7	15.6	7.6	7.9	5.2	27.3	1.8	2.0
50歳代	17.2	14.8	15.3	7.6	7.9	4.3	25.2	4.3	3.3
60歳代	17.3	13.9	15.0	5.5	6.6	4.5	22.6	4.1	10.6
70歳以上	13.5	11.8	10.9	2.7	4.0	3.8	16.4	10.6	26.2

問8.日常生活の活動範囲5.スポーツ

総数=4719



スポーツ活動を行っている人については、自宅の近くが 24.3%と多く、市内のその他の場所が 14.9%で続いています。なお、駅周辺については、大宮駅について、さいたま新都心駅周辺に出かける人が多くなっており、浦和駅周辺を上回っています。

地区別には、各地区とも自宅近くや市内のその他の場所が多く、スポーツ施設については、自宅周辺を含め比較的近い場所に整備されていることが推測されます。

年代別にも、同様の傾向がみられ、自宅近くをはじめ、市内で概ねの活動が行われていることがわかります。

5.スポーツ（駅周辺の場合の駅名）・地区別（10%以上の駅）

単位：%

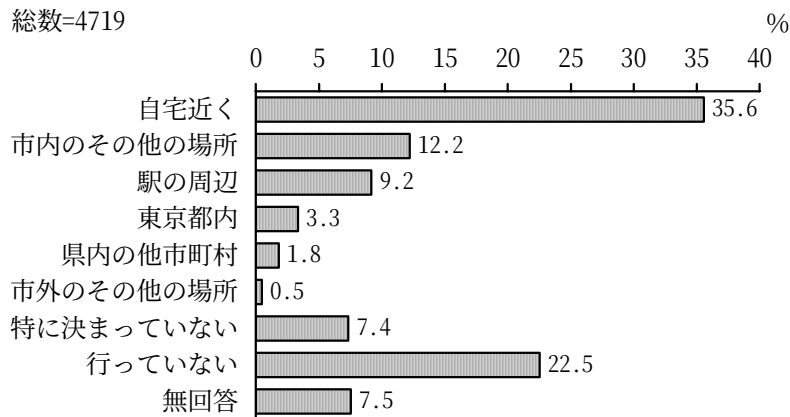
	全体	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区
1位	大宮駅 23.6	大宮駅 60.0	大宮駅 33.3	大宮駅 44.1	大宮駅 28.3	さいたま新都心駅 34.4	浦和駅 22.7	浦和駅 36.0	武蔵浦和駅 33.3	浦和駅 58.3
2位	さいたま新都心駅 15.4	指扇駅 13.3	さいたま新都心駅 19.0	さいたま新都心駅 26.5	東大宮駅 26.1	与野駅 18.8	北浦和駅 22.7	北浦和駅 20.0	浦和駅 29.2	—
3位	浦和駅 13.0	さいたま新都心駅 10.0	東大宮駅 14.3	大宮公園駅 11.8	大和田駅 19.6	与野本町駅 18.8	武蔵浦和駅 18.2	さいたま新都心駅 16.0	南浦和駅 20.8	—
4位	—	—	—	—	—	—	与野本町駅 13.6	—	—	—

5.スポーツ・属性別集計表

単位：%

	自宅近く	駅の周辺	市内のその他の場所	県内の他市町村	東京都内	市外のその他の場所	特に決まっていない	行っていない	無回答
全体	24.3	5.2	14.9	5.2	1.8	1.8	11.2	27.1	8.3
A地区	28.8	5.3	13.2	3.2	1.8	1.6	12.8	25.4	8.1
B地区	20.2	4.0	19.2	8.2	1.7	2.1	9.7	28.4	6.5
C地区	24.2	6.2	19.4	3.5	0.7	1.3	10.1	25.3	9.3
D地区	26.3	8.4	12.6	5.1	0.7	1.6	12.6	24.3	8.2
E地区	24.1	6.3	15.7	3.7	1.8	1.6	10.4	27.5	9.0
F地区	23.0	4.8	13.5	5.4	3.0	1.1	10.2	30.2	8.7
G地区	23.7	4.8	17.1	3.8	2.3	2.1	9.6	27.5	9.0
H地区	21.7	4.5	11.9	7.9	2.8	3.0	13.4	26.4	8.3
I地区	26.4	2.3	11.7	6.5	1.8	2.0	11.4	30.1	7.8
20歳代	24.7	7.2	11.3	7.0	4.2	2.2	15.8	26.3	1.3
30歳代	24.3	5.2	19.2	9.3	3.3	1.8	14.5	21.3	1.2
40歳代	30.6	4.8	20.0	5.3	1.1	2.4	12.7	21.4	1.8
50歳代	25.4	5.3	14.9	4.8	1.1	1.6	10.4	32.1	4.5
60歳代	24.7	4.7	12.4	3.8	1.2	2.2	8.5	27.0	15.5
70歳以上	12.6	3.8	8.7	0.2	0.2	0.7	4.0	39.0	30.8

問8.日常生活の活動範囲6.学ぶ



生涯学習など学ぶ活動については、自宅近くが35.6%で最も多く、続く市内のその他の場所12.2%を大きく引き離しており、生涯学習の場が自宅近くに立地していることが推測されます。なお、駅周辺は9.2%となっており、大宮駅、浦和駅に続いて北浦和駅周辺に出かける人も比較的多くみられます。

地区別には、I地区で自宅近くで活動する人が特に多くなっています。このほか、D・F・G・H地区では駅の周辺に出かける人が若干多くみられます。

年代別には、20歳代で駅周辺、30～40歳代で自宅近くが多くなる傾向が見られます。

6.学ぶ(駅周辺の場合の駅名)・地区別(10%以上の駅)

単位: %

	全体	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区
1位	大宮駅 35.6	大宮駅 71.2	大宮駅 53.8	大宮駅 80.0	大宮駅 72.1	与野本町駅 32.4	浦和駅 53.8	浦和駅 45.5	浦和駅 49.1	浦和駅 65.5
2位	浦和駅 27.0	—	日進駅 15.4	大宮公園駅 10.0	大和田駅 11.8	浦和駅 29.7	北浦和駅 19.2	北浦和駅 36.4	南浦和駅 28.3	南浦和駅 13.8
3位	北浦和駅 11.1	—	宮原駅 11.5	—	—	北浦和駅 16.2	—	—	—	北浦和駅 10.3
4位	—	—	—	—	—	大宮駅 10.8	—	—	—	—

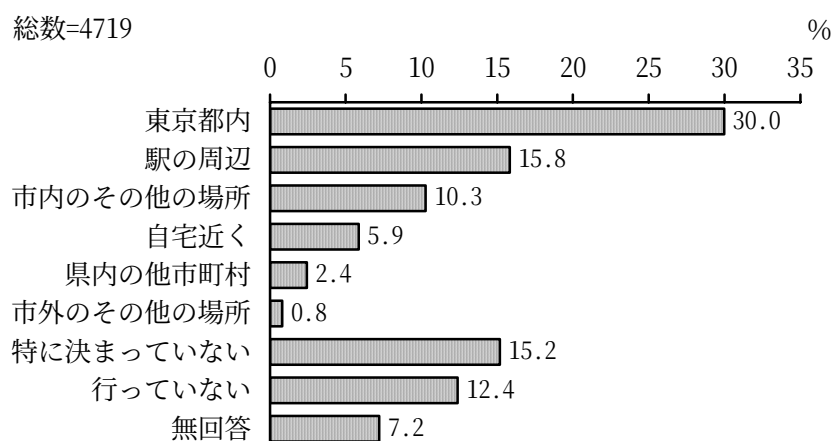
6.学ぶ・属性別集計表

単位: %

	自宅近く	駅の周辺	市内のその他の場所	県内の他市町村	東京都内	市外のその他の場所	特に決まっていない	行っていない	無回答
全体	35.6	9.2	12.2	1.8	3.3	0.5	7.4	22.5	7.5
A地区	30.9	9.1	16.0	1.6	4.0	0.4	8.8	21.9	7.4
B地区	35.4	5.0	14.9	1.5	3.8	0.6	7.6	25.1	6.1
C地区	39.0	9.2	14.1	1.1	2.0	0.2	5.1	20.3	9.0
D地区	33.3	12.4	13.3	1.6	3.1	0.5	6.4	21.6	7.7
E地区	39.2	7.3	12.0	1.4	3.5	0.2	6.7	21.8	8.0
F地区	25.0	11.3	10.9	2.2	3.0	0.4	8.5	30.4	8.3
G地区	39.2	12.7	8.8	1.0	3.3	0.2	7.9	19.0	7.9
H地区	31.5	10.0	8.9	3.8	4.2	1.1	8.9	24.0	7.7
I地区	46.2	5.7	10.4	2.2	3.1	0.6	6.5	19.6	5.9
20歳代	32.5	13.2	8.0	2.2	6.2	1.2	10.3	25.2	1.3
30歳代	42.6	8.7	12.8	2.1	4.1	0.2	7.1	21.2	1.1
40歳代	44.4	8.2	16.6	1.1	2.9	0.5	7.5	16.9	2.0
50歳代	34.5	9.4	12.5	2.2	2.4	0.3	8.0	26.2	4.4
60歳代	33.3	7.9	12.2	1.7	3.6	0.6	5.8	21.2	13.6
70歳以上	22.8	7.8	8.7	1.6	1.3	0.0	4.4	26.0	27.3

問8.日常生活の活動範囲7.鑑賞、観劇

総数=4719



映画、コンサートなどの鑑賞、観劇については、映画館やコンサートホール等の施設立地の状況に大きく影響されることが考えられます。最も多いのは東京都内の 30.0%で、大宮駅や浦和駅など駅の周辺がこれに続きますが 15.8%と大きな差がみられます。

地区別には、B地区で自宅近く、A・D地区で駅周辺が多くなる傾向がみられます。また、市の南部に位置するG・H・I地区では東京都内がより多くなっています。

年代別には、20歳代で東京都内がさらに多くなっています。

7.鑑賞、観劇（駅周辺の場合の駅名）・地区別（10%以上の駅）

単位：%

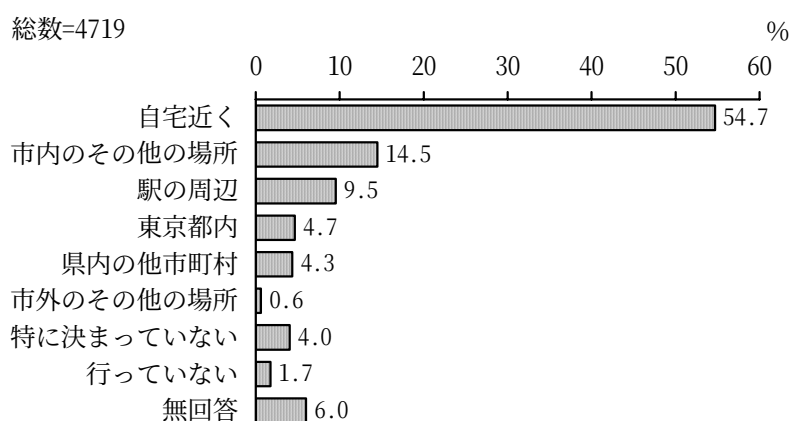
	全体	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区
1位	大宮駅 68.1	大宮駅 89.6	大宮駅 82.7	大宮駅 91.6	大宮駅 93.5	大宮駅 70.8	浦和駅 48.6	浦和駅 45.6	浦和駅 61.3	浦和駅 72.1
2位	浦和駅 20.5	—	—	—	—	浦和駅 13.8	大宮駅 38.9	大宮駅 33.3	大宮駅 27.4	大宮駅 19.7

7.鑑賞、観劇・属性別集計表

単位：%

	自宅近く	駅の周辺	市内のその他の場所	県内の他市町村	東京都内	市外のその他の場所	特に決まっていない	行っていない	無回答
全体	5.9	15.8	10.3	2.4	30.0	0.8	15.2	12.4	7.2
A地区	7.7	20.2	14.9	2.1	22.5	0.9	13.0	12.3	6.5
B地区	14.3	15.4	12.4	1.7	26.1	0.4	10.5	13.3	5.9
C地区	9.5	17.4	9.9	1.6	22.5	0.4	18.3	12.3	8.1
D地区	1.6	25.4	11.3	2.9	27.6	0.5	11.9	12.1	6.6
E地区	6.3	12.7	11.8	2.7	29.0	0.2	18.4	10.2	8.6
F地区	3.3	15.7	10.0	4.3	27.6	0.9	15.7	14.8	7.8
G地区	4.2	11.0	7.9	1.7	40.4	1.2	15.8	10.0	7.9
H地区	3.4	11.7	5.5	2.1	39.4	1.5	15.7	13.0	7.7
I地区	2.0	11.9	8.4	2.9	35.6	1.4	17.8	13.9	6.1
20歳代	6.3	15.8	6.5	2.2	40.7	1.0	15.8	10.3	1.3
30歳代	7.4	17.6	12.8	3.2	31.6	0.5	14.0	11.8	1.2
40歳代	9.5	18.6	11.6	2.4	27.5	1.1	17.6	9.8	1.9
50歳代	5.1	16.7	12.3	2.5	30.7	0.6	16.6	12.0	3.4
60歳代	4.0	13.7	8.9	2.4	29.7	1.0	15.6	12.7	12.0
70歳以上	1.8	10.6	6.7	1.3	19.5	0.7	9.8	20.9	28.6

問8.日常生活の活動範囲8.医療



医療機関の利用については、自宅近くが 54.7%と最も多くなっており、医療サービス利用の便が比較的良好であることが推測されます。

地区別にも同様の傾向がみられますが、E・G・I地区ではさらに自宅近くでの利用が多くなっています。

年代別には、20～30歳代でさらに自宅近くの医療機関を利用する人が多くなっています。

8.医療(駅周辺の場合の駅名)・地区別(10%以上の駅)

単位:%

	全体	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区
1位	大宮駅 29.6	大宮駅 60.9	大宮駅 39.5	大宮駅 76.2	東大宮駅 41.8	北浦和駅 36.4	北浦和駅 44.4	北浦和駅 44.6	北浦和駅 26.5	浦和駅 46.7
2位	北浦和駅 20.5	指扇駅 18.8	土呂駅 14.0	—	大宮駅 32.8	大宮駅 25.0	浦和駅 29.6	浦和駅 32.1	浦和駅 24.5	東浦和駅 33.3
3位	浦和駅 15.4	—	宮原駅 14.0	—	—	浦和駅 13.6	—	—	南浦和駅 18.4	北浦和駅 16.7
4位	—	—	—	—	—	—	—	—	浦和駅 18.4	—

8.医療・属性別集計表

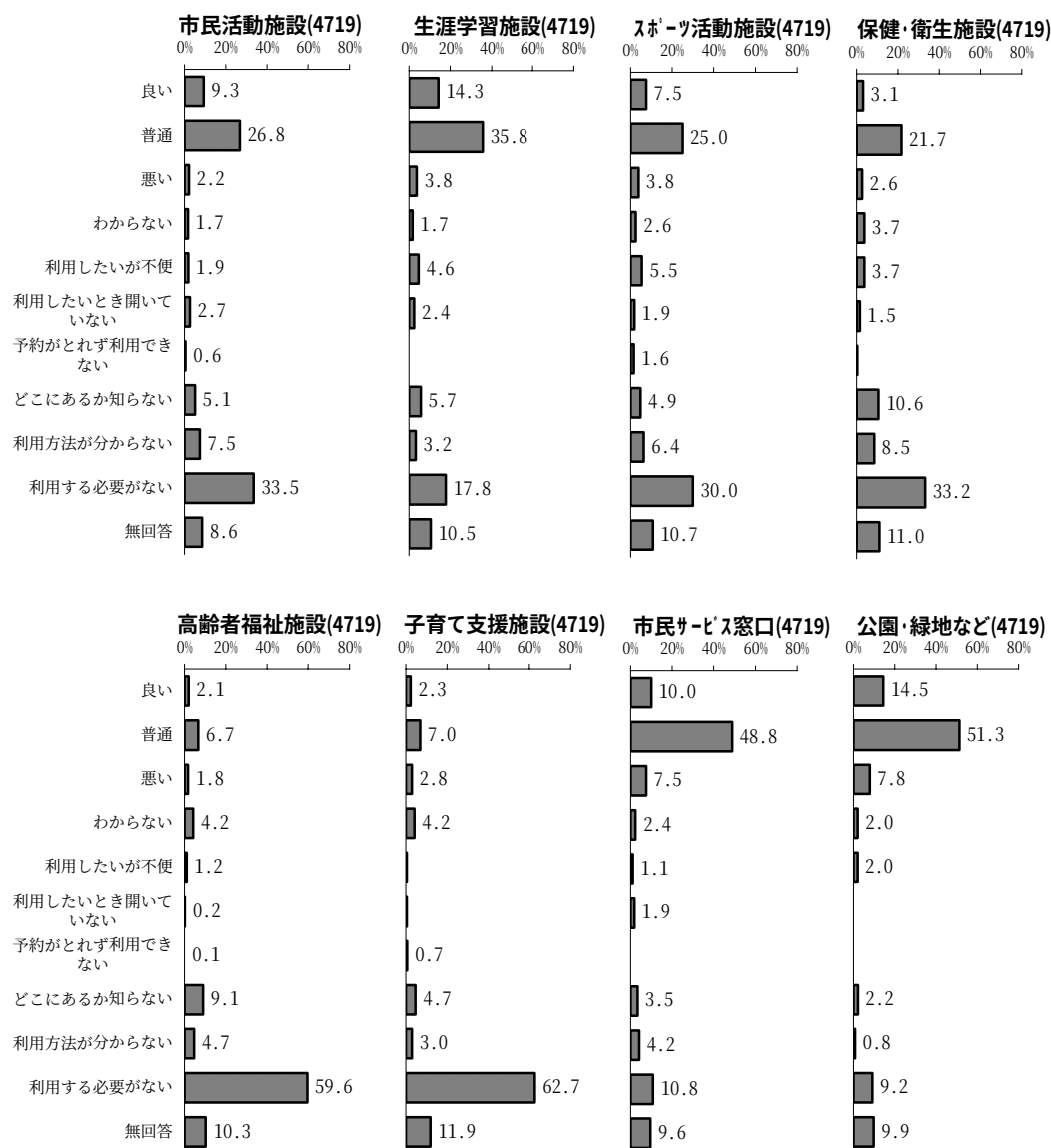
単位:%

	自宅近く	駅の周辺	市内のその他の場所	県内の他市町村	東京都内	市外のその他の場所	特に決まっていない	行っていない	無回答
全体	54.7	9.5	14.5	4.3	4.7	0.6	4.0	1.7	6.0
A地区	50.5	11.2	16.7	4.9	4.9	0.5	4.9	1.1	5.3
B地区	55.2	8.2	17.7	3.6	4.6	0.6	4.4	0.8	5.0
C地区	55.7	7.7	15.6	2.0	5.3	0.4	4.4	2.6	6.4
D地区	54.5	12.2	14.8	4.0	2.6	0.7	3.5	2.7	4.9
E地区	59.2	8.6	12.7	2.5	4.5	0.2	3.7	1.4	7.1
F地区	53.3	11.7	15.4	3.0	5.9	1.1	2.8	1.5	5.2
G地区	57.1	10.8	12.9	1.9	5.8	1.0	2.3	1.3	6.9
H地区	48.5	9.2	11.3	9.8	5.8	0.6	5.7	2.5	6.6
I地区	58.7	5.9	12.7	7.0	2.7	0.6	4.3	1.6	6.5
20歳代	62.0	9.7	9.3	3.2	4.8	0.2	6.8	2.8	1.2
30歳代	62.9	8.0	12.5	4.9	4.7	0.6	4.8	0.8	0.7
40歳代	59.9	9.5	15.0	3.4	3.8	0.7	3.8	2.6	1.4
50歳代	54.4	9.2	16.0	5.1	5.5	0.7	3.8	1.8	3.6
60歳代	46.5	10.0	15.8	5.1	5.8	1.1	3.5	1.6	10.6
70歳以上	41.5	10.4	18.0	3.5	2.2	0.4	1.6	1.1	21.3

⑥ 公共施設の利用状況（問 9）

あなたは、市内の公共施設を利用していますか。次の1～8の施設ごとに、利用した場合はその評価を、利用していない場合はその理由を、該当するものを1つ選んで下さい。

問9.公共施設利用状況及び利用していない理由



市民活動に関する施設については、利用者率は 40.0%（「良い」「普通」「悪い」「わからない」の合計）となっており、利用した評価も比較的良好な結果となっています。

地区別には、H・I地区での評価が良好で、特にI地区については、利用率も 45.8%と高くなっています。

1.市民活動に関する施設・地区別集計表

単位：%

	良い	普通	悪い	わからない	利用率	利用したいが不便	利用したいとき開いていない	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法が分からない	利用する必要がない	無回答
全体	9.3	26.8	2.2	1.7	40.0	1.9	2.7	0.6	5.1	7.5	33.5	8.6
A地区	8.1	27.4	1.4	2.5	39.3	3.3	2.8	0.5	5.8	8.1	32.1	8.1
B地区	8.0	25.9	2.3	2.5	38.7	1.9	3.2	1.0	5.5	9.0	34.7	6.1
C地区	9.3	26.7	2.2	1.3	39.6	1.5	2.2	0.9	5.9	6.8	32.6	10.6
D地区	8.8	25.4	2.7	1.6	38.6	2.4	4.0	0.5	5.3	7.7	32.9	8.6
E地区	8.6	29.2	2.4	0.8	41.0	1.0	2.4	0.2	3.7	6.3	37.6	7.8
F地区	8.3	24.1	1.5	1.1	35.0	2.8	1.1	0.0	5.7	8.3	37.4	9.8
G地区	9.2	29.0	2.9	1.7	42.9	1.9	2.5	0.2	4.8	7.5	29.2	11.0
H地区	10.9	24.2	1.7	2.1	38.9	1.3	3.2	0.6	5.8	6.8	35.8	7.5
I地区	12.5	29.5	2.3	1.4	45.8	1.4	2.5	1.2	3.7	7.6	30.1	7.6

生涯学習活動などに関する施設については、利用者率は 55.6%となっており、やはり比較的良好な評価を得ています。

地区別には、G地区の利用率が高いほか、I地区での評価が高くなっています。

2.生涯学習活動などに関する施設・地区別集計表

単位：%

	良い	普通	悪い	わからない	利用率	利用したいが不便	利用したいとき開いていない	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法が分からない	利用する必要がない	無回答
全体	14.3	35.8	3.8	1.7	55.6	4.6	2.4	0.1	5.7	3.2	17.8	10.5
A地区	10.2	33.2	3.5	2.3	49.1	7.4	3.0	0.2	6.8	2.8	20.2	10.5
B地区	13.7	38.7	2.9	1.9	57.1	3.4	3.4	0.4	4.2	3.0	19.0	9.3
C地区	14.5	40.8	4.0	0.7	60.1	2.9	1.1	0.0	5.9	2.7	15.6	11.7
D地区	12.1	34.9	4.9	2.2	54.1	5.5	3.3	0.2	7.3	4.0	15.5	10.1
E地区	11.0	41.6	4.7	1.4	58.6	1.6	2.7	0.0	4.7	2.7	18.0	11.6
F地区	10.4	29.8	3.9	1.5	45.7	9.1	1.7	0.2	7.4	4.6	21.1	10.2
G地区	14.2	43.3	4.4	1.2	63.1	1.5	2.3	0.0	1.9	2.3	16.9	11.9
H地区	16.6	32.1	3.4	2.5	54.5	6.0	1.7	0.2	7.9	3.4	17.5	8.7
I地区	25.8	27.6	2.3	1.6	57.3	4.3	2.3	0.2	5.1	3.5	16.8	10.4

スポーツ活動に関する施設については、利用者率は 38.9%となっており、評価も良好だと言えます。

地区別には、I 地区の利用率が高く、評価も良好です。逆に、E 地区では利用率は比較的高くなっていますが、厳しい評価がみられます。

3.スポーツ活動に関する施設・地区別集計表

単位: %

	良い	普通	悪い	わからない	利用率	利用したいが不便	利用したいとき開いていない	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法が分からない	利用する必要がない	無回答
全体	7.5	25.0	3.8	2.6	38.9	5.5	1.9	1.6	4.9	6.4	30.0	10.7
A地区	9.3	23.0	3.7	2.3	38.2	6.7	1.4	1.2	4.6	4.6	31.9	11.4
B地区	7.0	23.6	3.2	2.1	36.0	7.0	1.9	2.1	4.6	7.6	30.9	9.9
C地区	8.1	25.1	3.7	1.8	38.6	4.4	2.4	1.8	4.2	6.6	29.5	12.5
D地区	5.5	26.0	3.1	3.7	38.2	7.3	2.7	2.0	4.6	7.7	26.9	10.6
E地区	6.1	24.1	9.0	2.5	41.8	2.5	2.2	0.6	3.9	5.3	32.0	11.8
F地区	7.2	26.5	1.5	1.7	37.0	8.3	1.1	1.3	6.1	7.2	29.3	9.8
G地区	7.5	27.5	3.7	2.3	41.0	3.3	1.3	1.5	4.8	6.9	29.6	11.5
H地区	7.4	23.6	2.8	3.0	36.8	4.5	2.1	2.1	7.7	7.5	30.9	8.3
I地区	9.6	26.0	3.5	3.5	42.7	5.9	2.3	1.4	3.5	4.7	29.4	10.2

保健・衛生に関する施設については、利用者率は 31.2%となっており、比較的良好な評価となっています。利用しない人では、どこにあるか知らないという声が若干多くなっています。

地区別には、E 地区の利用率が高くなっています。また、A・D 地区での評価で、「悪い」が若干多くなる傾向がみられます。

4.保健・衛生に関する施設・地区別集計表

単位: %

	良い	普通	悪い	わからない	利用率	利用したいが不便	利用したいとき開いていない	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法が分からない	利用する必要がない	無回答
全体	3.1	21.7	2.6	3.7	31.2	3.7	1.5	0.2	10.6	8.5	33.2	11.0
A地区	1.4	16.3	3.0	4.2	24.9	6.5	1.1	0.2	11.9	8.8	35.6	11.1
B地区	3.2	23.0	2.3	3.4	32.0	3.0	2.5	0.4	9.3	9.7	33.9	9.1
C地区	2.2	21.4	1.8	3.3	28.8	4.0	0.5	0.2	10.3	11.2	31.7	13.4
D地区	1.5	18.1	2.6	4.8	26.9	4.6	2.4	0.4	11.7	9.1	34.2	10.8
E地区	5.7	32.0	2.5	2.5	42.7	2.0	1.6	0.0	6.3	5.5	30.2	11.8
F地区	3.9	20.0	3.9	3.3	31.1	3.5	2.2	0.2	11.7	7.0	32.2	12.2
G地区	3.7	23.8	1.9	3.8	33.3	1.5	1.0	0.2	8.7	9.0	35.4	11.0
H地区	3.2	21.7	2.6	3.8	31.3	4.0	1.3	0.4	12.1	8.9	33.6	8.5
I地区	3.5	20.0	3.3	4.3	31.1	3.7	1.6	0.0	13.1	7.2	31.7	11.5

高齢者・障害者福祉に関する施設については、利用者率は 14.8%となっており、比較的良好な評価となっています。

地区別には、A・D地区の利用率が高くなっています。また、E・G・H地区での評価で、「悪い」が若干多くなる傾向がみられます。

5.高齢者・障害者福祉に関する施設・地区別集計表

単位：%

	良い	普通	悪い	わからない	利用率	利用したいが不便	利用したいとき開いていない	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法が分からない	利用する必要がある	無回答
全体	2.1	6.7	1.8	4.2	14.8	1.2	0.2	0.1	9.1	4.7	59.6	10.3
A地区	3.3	7.5	2.8	3.9	17.5	1.6	0.4	0.0	9.3	5.6	56.5	9.1
B地区	2.7	6.7	1.3	3.0	13.7	1.3	0.2	0.0	10.3	6.3	60.2	8.0
C地区	2.0	9.2	1.3	3.5	15.9	0.9	0.2	0.0	9.3	4.4	56.6	12.6
D地区	2.6	8.0	2.0	4.4	17.0	1.3	0.7	0.0	9.7	5.1	55.9	10.2
E地区	1.0	6.7	1.2	4.5	13.3	0.8	0.0	0.4	6.5	4.5	62.7	11.8
F地区	2.0	4.8	1.7	3.7	12.2	1.1	0.0	0.2	9.1	4.1	61.7	11.5
G地区	1.9	7.1	2.5	4.6	16.2	1.3	0.0	0.2	5.8	5.0	59.8	11.7
H地区	1.1	4.5	1.7	4.3	11.7	1.3	0.2	0.2	12.5	3.4	63.4	7.4
I地区	2.2	5.5	1.2	6.3	15.1	1.0	0.2	0.2	9.0	3.3	60.5	10.8

子育て支援に関する施設については、利用者率は 16.3%となっており、「悪い」が「良い」をわずかに上回り、若干厳しい評価となっています。

地区別にみても、D・E・G地区を除く各地区で「悪い」が「良い」を上回る評価となっており、今後の充実が求められる施設であると言えます。

6.子育て支援に関する施設・地区別集計表

単位：%

	良い	普通	悪い	わからない	利用率	利用したいが不便	利用したいとき開いていない	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法が分からない	利用する必要がある	無回答
全体	2.3	7.0	2.8	4.2	16.3	0.3	0.4	0.7	4.7	3.0	62.7	11.9
A地区	1.1	6.8	4.2	3.3	15.4	0.7	0.0	0.4	5.6	4.2	62.3	11.4
B地区	3.4	6.5	3.8	3.2	17.0	0.0	1.0	1.5	4.6	2.9	63.2	9.9
C地区	2.6	8.2	2.7	2.7	16.3	0.4	0.2	0.2	4.2	2.9	61.5	14.3
D地区	1.6	6.2	1.3	5.5	14.6	0.4	0.7	1.1	5.9	2.7	62.5	12.1
E地区	2.9	7.6	1.6	6.1	18.2	0.2	0.0	0.4	3.7	3.1	61.8	12.5
F地区	2.2	6.5	3.5	4.3	16.5	0.4	0.0	0.0	3.5	3.9	63.0	12.6
G地区	2.3	8.3	2.1	3.8	16.5	0.0	0.4	0.6	3.5	2.5	63.1	13.5
H地区	3.2	5.7	3.6	4.2	16.6	0.2	0.2	1.7	6.8	2.5	62.8	9.2
I地区	1.6	7.0	2.7	4.3	15.7	0.8	0.8	0.2	3.9	2.5	64.2	11.9

市民サービスに関する総合窓口については、利用者率は68.8%と高くなっており、評価も比較的良好であると言えます。

地区別には、G・H・I地区で高い利用率となっており、F・G・H・I地区では評価もかなり高いと言えます。逆に、B・D地区では「悪い」が「良い」を上回る評価となっています。

7.市民サービスに関する総合窓口・地区別集計表

単位：%

	良い	普通	悪い	わからない	利用率	利用したいが不便	利用したいとき開いていない	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法が分からない	利用する必要がある	無回答
全体	10.0	48.8	7.5	2.4	68.8	1.1	1.9	0.0	3.5	4.2	10.8	9.6
A地区	8.2	46.5	7.9	2.8	65.4	0.9	2.3	0.0	4.0	6.1	12.6	8.6
B地区	8.0	48.2	8.2	4.6	69.0	0.8	1.9	0.0	4.2	5.1	11.0	8.0
C地区	7.1	52.0	6.8	1.8	67.8	0.5	2.0	0.0	4.4	4.2	9.7	11.4
D地区	7.5	48.3	8.6	2.4	66.7	1.5	2.9	0.0	4.2	4.4	10.8	9.5
E地区	9.6	47.3	7.8	1.6	66.3	0.6	1.8	0.0	3.1	3.5	14.3	10.4
F地区	12.2	44.6	7.8	2.2	66.7	1.7	1.7	0.0	3.3	5.2	10.4	10.9
G地区	12.9	48.7	6.0	2.5	70.0	1.0	1.0	0.0	2.5	2.5	11.7	11.3
H地区	13.0	51.1	7.2	1.7	73.0	0.9	1.5	0.0	3.8	2.8	9.6	8.3
I地区	12.3	52.4	7.6	2.3	74.8	2.2	2.3	0.0	1.6	3.5	7.0	8.6

公園・緑地などについては、利用者率は75.7%と高くなっており、評価も良好であると言えます。

地区別には、B地区で高い利用率となっており、C・I地区では評価もかなり高いと言えます。

8.公園・緑地など・地区別集計表

単位：%

	良い	普通	悪い	わからない	利用率	利用したいが不便	利用したいとき開いていない	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法が分からない	利用する必要がある	無回答
全体	14.5	51.3	7.8	2.0	75.7	2.0	0.2	0.1	2.2	0.8	9.2	9.9
A地区	11.4	51.1	8.4	1.4	72.3	3.3	0.0	0.0	2.3	0.4	11.9	9.8
B地区	14.9	54.9	9.0	1.5	80.2	1.1	0.2	0.0	1.7	1.0	7.8	8.0
C地区	20.7	48.7	7.0	1.5	77.8	1.5	0.0	0.2	1.8	1.3	6.6	10.8
D地区	12.4	53.0	8.4	1.8	75.7	2.6	0.4	0.4	2.2	0.7	8.2	9.9
E地区	13.3	56.5	6.9	1.4	78.0	0.6	0.6	0.0	0.8	1.6	7.5	11.0
F地区	16.1	44.8	8.7	3.3	72.8	2.6	0.0	0.0	2.0	1.3	10.9	10.4
G地区	9.8	52.1	8.8	2.7	73.5	2.7	0.2	0.2	2.1	0.6	9.6	11.2
H地区	13.4	50.8	7.5	2.6	74.3	1.9	0.2	0.2	4.3	0.0	10.8	8.3
I地区	19.2	48.9	5.9	2.2	76.1	1.6	0.2	0.0	2.3	0.6	9.6	9.6

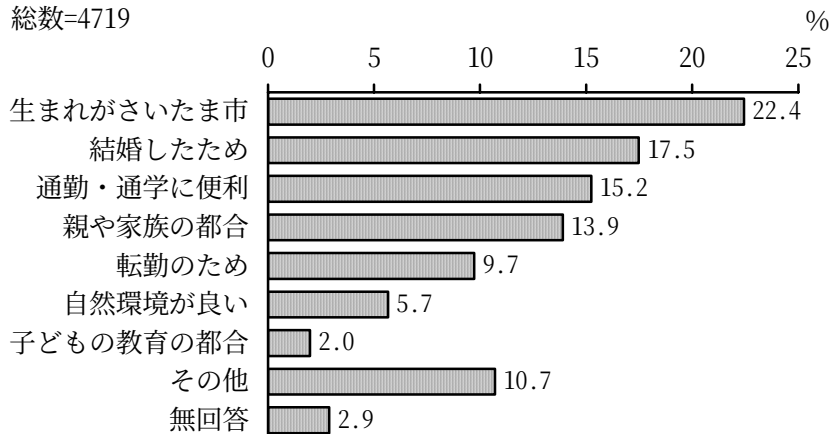
(3) 定住意向について

① さいたま市に住む理由 (問 10)

あなたがさいたま市に住んでいる理由は何ですか。次の中から1つ選んで下さい。

問10.さいたま市に住んでいる理由

総数=4719



現在、さいたま市に住んでいる理由・契機については、生まれがさいたま市だからという人が22.4%と最も多くなっています。このほか、「結婚したため」、「通勤・通学に便利」などが続いています。

地区別には、C地区で生まれがさいたま市という人、結婚したためという人が最も多くなっています。また、H地区では生まれがさいたま市という人が他地区に比べて少なく、逆に通勤・通学に便利だからとした人が多くなっています。このほか、I地区では、自然環境が良いからという人も多くなっています。

男女別には、男性で通勤・通学に便利、女性で結婚したためという人が多くなっています。

年代別には、30歳代で結婚したためという人が比較的多くなっています。

□ 属性別集計表

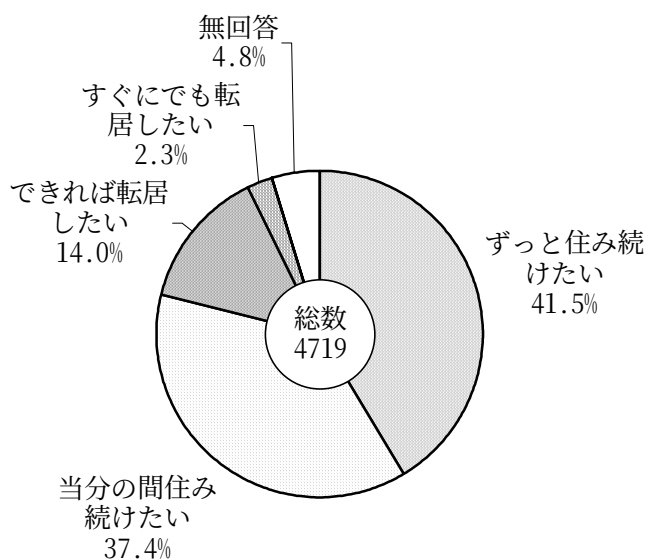
単位: %

	生まれがさいたま市	通勤・通学に便利	結婚したため	子どもの教育の都合	親や家族の都合	自然環境が良い	転勤のため	その他	無回答
全体	22.4	15.2	17.5	2.0	13.9	5.7	9.7	10.7	2.9
A地区	25.4	10.5	16.7	1.6	14.7	7.5	8.1	11.2	4.2
B地区	26.5	14.5	18.9	1.0	13.1	4.2	9.9	9.7	2.3
C地区	28.4	14.7	20.5	0.9	10.6	2.4	11.2	9.2	2.2
D地区	21.8	12.6	14.3	0.9	16.1	8.2	9.5	12.8	3.8
E地区	21.8	17.8	17.8	1.2	11.6	2.7	11.6	12.2	3.3
F地区	19.8	16.7	18.9	2.6	13.3	4.3	10.0	11.5	2.8
G地区	20.2	13.7	16.7	3.3	16.9	5.4	11.7	10.0	2.1
H地区	14.9	23.2	17.4	4.0	14.0	4.9	10.2	9.2	2.3
I地区	22.5	14.1	16.4	2.5	14.7	11.0	5.5	10.6	2.7
男性	24.3	20.0	8.4	2.1	14.3	6.1	10.0	12.2	2.4
女性	21.0	12.5	24.8	1.7	14.6	5.3	8.0	9.6	2.5
20歳代	36.7	15.5	10.0	0.0	26.2	0.8	6.8	3.5	0.5
30歳代	24.5	15.3	22.6	1.9	14.6	2.5	12.1	6.4	0.1
40歳代	19.7	16.9	18.0	4.1	13.7	3.9	11.7	10.7	1.2
50歳代	19.5	17.3	19.6	2.4	10.4	7.1	9.6	11.5	2.6
60歳代	17.3	14.0	19.1	1.6	9.9	8.8	8.2	16.2	5.1
70歳以上	21.9	10.2	11.5	1.3	12.8	11.5	7.7	15.1	8.2

② 今後の定住意向（問 11）

あなたは現在お住まいの場所にこれからも住みたいと思いますか。次の中から1つ選んで下さい。

問11.定住意向



今後の定住意向については、ずっと住み続けたいという人が 41.5%で最も多く、これに次ぐ当分の間住み続けたいという人 37.4%とあわせると、8割近い人が住み続けたいという意志を持っています。

地区別には、C地区でずっと住み続けたいとする人が特に多く、H地区で少ないほか、F地区ではできれば転居したいという人が比較的多いなど、若干の温度差がありますが、総じて定住意向は強いと言えます。

男女別には、男性の定住意向が、若干強くなっています。

年代別には、年代が高くなるほど定住意向が強くなっています。

□属性別集計表

単位：%

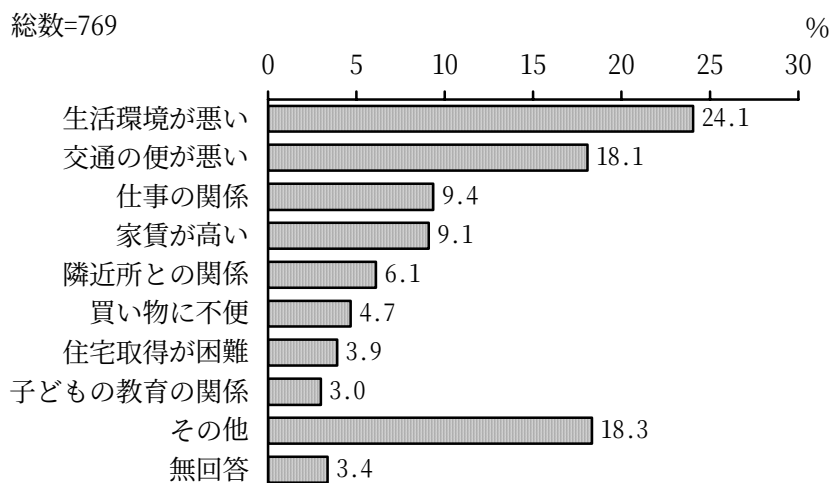
	ずっと住み続けたい	当分の間住み続けたい	できれば転居したい	すぐにでも転居したい	無回答
全体	41.5	37.4	14.0	2.3	4.8
A地区	40.5	34.7	16.7	1.4	6.7
B地区	43.4	34.3	16.2	2.9	3.2
C地区	48.4	34.4	10.8	2.4	4.0
D地区	43.5	34.2	14.1	2.0	6.2
E地区	44.9	37.3	11.2	1.8	4.9
F地区	34.8	41.1	17.8	2.8	3.5
G地区	40.6	40.8	11.3	2.5	4.8
H地区	34.7	44.7	13.6	2.5	4.5
I地区	41.5	36.2	14.3	2.9	5.1
男性	43.1	37.7	13.8	1.9	3.5
女性	39.7	38.1	14.9	2.5	4.8
20歳代	16.3	53.2	23.5	4.7	2.3
30歳代	28.2	48.3	16.6	3.8	3.2
40歳代	33.9	47.5	13.7	1.2	3.7
50歳代	46.4	34.2	12.3	2.1	5.0
60歳代	58.4	22.6	11.4	1.7	5.8
70歳以上	67.0	17.7	5.8	0.4	9.1

③ 転居したい理由（問12）

前問で「3. できれば転居したい」「4. すぐにでも転居したい」と答えた方におたずねします。転居したいと思う理由は何ですか。次の中から1つ選んで下さい。

問12.転居したい理由

総数=769



前の設問で、転居したいとした理由については、生活環境が悪いとする人が最も多く、24.1%となり、交通の便が悪いとする人が18.1%で続いています。これまでの設問で、さいたま市の地域特性として快適性と利便性があげられていましたが、居住する場所によっては満足できないところがある様子が伺えます。

地区別には、A地区で交通の便の悪さ、C地区で生活環境の悪さ、G地区で家賃の高さや隣近所との関係などを指摘する声が多くなっています。

年代別には、20歳代で交通の便を指摘する人が多いほか、20～30歳代では仕事の関係、60歳代では生活環境の悪さ、60～70歳代で隣近所との関係を指摘する声が多くなっています。

□ 属性別集計表

単位: %

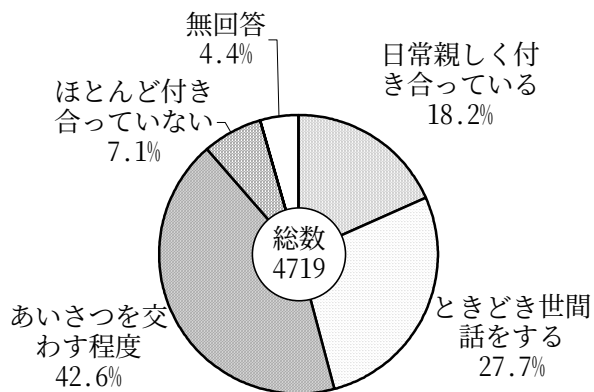
	住宅取得 が困難	家賃が高 い	生活環境 が悪い	交通の便 が悪い	買い物に 不便	仕事の関 係	子どもの 教育の関 係	隣近所と の関係	その他	無回答
全体	3.9	9.1	24.1	18.1	4.7	9.4	3.0	6.1	18.3	3.4
A地区	3.9	3.9	25.2	31.1	5.8	3.9	1.0	3.9	17.5	3.9
B地区	5.0	11.0	20.0	15.0	3.0	10.0	5.0	6.0	21.0	4.0
C地区	4.2	5.6	34.7	5.6	1.4	16.7	5.6	6.9	18.1	1.4
D地区	2.3	9.1	22.7	23.9	4.5	11.4	4.5	4.5	13.6	3.4
E地区	3.0	10.6	28.8	7.6	3.0	16.7	6.1	3.0	21.2	0.0
F地区	3.2	11.6	24.2	21.1	7.4	4.2	1.1	6.3	16.8	4.2
G地区	5.6	12.5	16.7	15.3	5.6	9.7	1.4	11.1	19.4	2.8
H地区	2.4	10.6	23.5	12.9	8.2	8.2	3.5	9.4	18.8	2.4
I地区	5.7	8.0	22.7	22.7	2.3	8.0	0.0	4.5	19.3	6.8
男性	5.2	9.2	25.5	14.7	3.6	11.6	2.0	7.2	18.3	2.8
女性	2.9	8.5	25.4	20.7	5.0	8.7	1.7	4.4	19.2	3.5
20歳代	2.4	8.9	18.9	23.7	5.9	18.3	0.6	2.4	16.6	2.4
30歳代	4.0	12.1	26.6	14.5	2.9	11.6	7.5	2.9	15.0	2.9
40歳代	5.5	4.5	25.5	17.3	3.6	8.2	6.4	1.8	26.4	0.9
50歳代	4.1	9.5	23.1	17.7	4.1	6.8	0.0	9.5	21.1	4.1
60歳代	4.6	10.2	30.6	15.7	4.6	0.9	0.9	12.0	15.7	4.6
70歳以上	0.0	5.9	20.6	20.6	11.8	0.0	0.0	14.7	14.7	11.8

(4) 地域活動への参加状況について

① 隣近所との付き合いの程度（問 13）

あなたは、隣近所との程度の付き合いをしていますか。次の中から1つ選んで下さい。

問13.近所付き合いの程度



隣近所との付き合いの状況については、あいさつを交わす程度の人が 42.6%で最も多く、続いて時々世間話をする 27.7%、日常親しく付き合っている 18.2%となっています。ほとんど付き合い合っていない人は 7.1%と少なく、それほど親密ではないが、隣近所との関係を大切にしている様子が伺えます。

地区別には、大きな差はみられませんが、A地区で付き合いが深く、H地区でその逆の傾向がみられます。

年代別には、年代が高くなるほど付き合いが深まっていく様子がわかります。

□ 属性別集計表

単位：%

	日常親しく付き合っている	時々世間話をする	あいさつを交わす程度	ほとんど付き合い合っていない	無回答
全体(4719)	18.2	27.7	42.6	7.1	4.4
A地区(570)	21.9	29.3	41.4	3.7	3.7
B地区(525)	15.8	28.4	43.0	7.6	5.1
C地区(546)	18.9	26.4	42.1	8.2	4.4
D地区(547)	20.7	26.9	41.0	5.9	5.7
E地区(510)	16.5	25.7	44.5	8.0	5.3
F地区(460)	20.0	27.8	41.3	6.1	4.8
G地区(520)	18.3	29.4	41.7	7.9	2.7
H地区(530)	13.8	25.5	47.2	10.6	3.0
I地区(511)	17.8	30.1	41.1	6.3	4.7
20歳代(600)	5.3	11.2	61.2	19.2	3.2
30歳代(849)	14.1	26.5	47.9	9.0	2.5
40歳代(735)	12.9	31.6	46.7	6.4	2.4
50歳代(1021)	17.7	32.6	40.3	5.3	4.1
60歳代(822)	27.4	29.8	34.4	3.2	5.2
70歳以上(549)	32.4	30.1	27.0	1.1	9.5

② 地域活動への参加状況と今後の参加意向（問 14）

あなたは、地域活動などに参加していますか。また、今後、参加したいと思いますか。次の1～6の活動ごとに、現在の状況、今後の意向について、該当するものを1つずつ選んで下さい。

問14.地域活動の参加状況

総数=4719

単位: % (5%未満非表示)

	参加している	参加していない	無回答
地域活動	34.8	56.7	8.5
ボランティア	9.5	78.5	12.1
住民運動等	6.9	80.1	13.0
P T Aの役員等	7.9	78.3	13.8
スポーツ活動等	17.5	70.0	12.6
その他の活動	36.6	61.1	

(注) 5%未満数値: その他の活動(2.3)

問14.地域活動の参加意向

総数=4719

単位: % (5%未満非表示)

	参加したい	参加しない	わからない	無回答
地域活動	26.4	19.2	34.6	19.8
ボランティア	30.6	14.0	39.6	15.7
住民運動等	20.0	19.6	44.0	16.4
P T Aの役員等	5.5	45.5	29.8	19.3
スポーツ活動等	38.1	14.4	30.1	17.4
その他の活動	8.6	25.2	62.3	

(注) 5%未満数値: その他の活動(3.9)

様々な地域活動への参加状況及び今後の参加意向については、町内会や自治会、子ども会などについては、参加している人は 34.8%で、今後の参加意向は現状の参加率よりも低い 26.4%となっています。

地区別には、A地区での参加率が高く、H地区で低い結果となっており、今後の参加意向は、A地区で高く、F地区で低い結果となっています。

男女別には、女性の参加率が高くなっています。

年代別には、40歳代の参加率が高く、今後の参加意向も30～40歳代が高くなっています。

1.町内会や自治会など・属性別集計表

単位：%

	参加している	参加していない	無回答	参加したい	参加しない	わからない	無回答
全体	34.8	56.7	8.5	26.4	19.2	34.6	19.8
A地区	47.0	47.0	6.0	30.9	16.8	30.5	21.8
B地区	34.5	60.0	5.5	25.3	20.2	37.3	17.1
C地区	33.7	56.6	9.7	26.9	20.0	31.3	21.8
D地区	34.0	55.6	10.4	27.6	19.0	34.7	18.6
E地区	34.3	55.3	10.4	25.3	18.4	35.5	20.8
F地区	34.3	57.4	8.3	24.1	21.3	34.8	19.8
G地区	30.6	61.2	8.3	25.8	18.8	37.1	18.3
H地区	28.7	64.0	7.4	25.5	21.1	34.7	18.7
I地区	35.4	54.0	10.6	25.4	17.2	36.4	20.9
男性	30.5	62.1	7.4	27.1	20.3	35.2	17.3
女性	38.2	55.3	6.5	26.2	19.2	35.9	18.7
20歳代	8.3	86.0	5.7	12.5	34.2	47.8	5.5
30歳代	29.3	67.1	3.5	31.7	17.6	41.7	9.1
40歳代	48.2	48.2	3.7	31.8	17.0	36.9	14.3
50歳代	39.5	54.4	6.2	27.2	18.2	33.9	20.7
60歳代	43.1	44.4	12.5	30.5	13.7	26.5	29.2
70歳以上	35.2	43.2	21.7	19.9	18.2	21.1	40.8

ボランティア活動については、自治会などの地域活動に比べ参加率は低く、9.5%となっていますが、今後の参加意向は逆に 30.6%と多くなっています。このように、従来からの地縁型の活動から自分の関心に基づく活動へと市民意識が変化している様子が伺われ、次の設問の住民活動や社会的活動にも同様の傾向がみられます。

男女別には大きな違いはありませんが、地区別には、C地区やD地区の参加率が高く、今後の参加意向もD地区で最も高くなっています。

年代別には、60歳代の参加率が比較的高く、今後の参加意向は50歳代で最も高くなっていますが、20歳代についても、現状の参加率に比べ今後の参加意向が大きく拡大している様子がわかります。

2. ボランティア・属性別集計表

単位：%

	参加している	参加していない	無回答	参加したい	参加しない	わからない	無回答
全体	9.5	78.5	12.1	30.6	14.0	39.6	15.7
A地区	11.6	78.1	10.4	27.7	14.6	42.1	15.6
B地区	8.4	82.3	9.3	29.3	14.7	43.2	12.8
C地区	13.2	74.4	12.5	31.9	15.4	34.2	18.5
D地区	12.1	73.5	14.4	35.3	14.4	34.0	16.3
E地区	8.4	76.7	14.9	26.3	12.7	42.9	18.0
F地区	7.0	80.4	12.6	29.6	14.3	41.1	15.0
G地区	7.7	81.2	11.2	31.0	13.3	41.3	14.4
H地区	7.5	82.3	10.2	31.9	14.3	39.2	14.5
I地区	8.6	78.1	13.3	32.3	12.5	39.1	16.0
男性	10.0	79.9	10.1	31.7	15.6	39.7	13.0
女性	8.8	81.2	10.0	31.3	12.8	41.7	14.2
20歳代	3.2	90.8	6.0	24.8	20.5	48.8	5.8
30歳代	3.3	91.5	5.2	23.2	14.8	56.1	5.9
40歳代	9.4	83.9	6.7	36.9	12.0	42.2	9.0
50歳代	11.6	79.7	8.7	39.6	9.6	37.5	13.3
60歳代	15.1	66.8	18.1	34.7	11.8	29.7	23.8
70歳以上	13.7	54.5	31.9	18.2	19.9	22.0	39.9

環境保護やまちづくりなどの住民活動・社会的活動については、ボランティア活動同様に、現状の参加率は 6.9%と低くなっていますが、今後の参加意向は 20.0%と大きく伸展しています。

地区別には、D地区の参加率が比較的高く、F地区で若干低くなっています。今後の参加意向は、A地区などで若干高く、E地区で低くなっています。

男女別には、男性の参加率及び今後の参加意向が高い傾向がみられます。

年代別には、60～70 歳以上の参加率が高く、50～60 歳代の参加意向が高いなど、高年代者が積極的な様子が伺えます。

3.住民運動や社会的活動・属性別集計表

単位：%

	参加している	参加していない	無回答	参加したい	参加しない	わからない	無回答
全体	6.9	80.1	13.0	20.0	19.6	44.0	16.4
A地区	9.1	78.8	12.1	21.9	19.3	43.5	15.3
B地区	6.1	83.6	10.3	19.4	19.8	48.0	12.8
C地区	9.2	77.3	13.6	19.8	19.4	42.3	18.5
D地区	9.5	75.3	15.2	21.4	18.6	42.0	17.9
E地区	6.9	77.6	15.5	16.7	17.8	45.5	20.0
F地区	4.6	82.0	13.5	21.1	20.0	43.5	15.4
G地区	4.8	82.7	12.5	19.4	21.5	43.3	15.8
H地区	5.5	84.3	10.2	19.1	21.7	43.0	16.2
I地区	5.7	80.0	14.3	20.9	18.2	45.0	15.9
男性	8.3	80.7	11.1	23.7	20.6	42.1	13.6
女性	5.5	83.4	11.1	16.7	20.1	47.6	15.6
20歳代	1.2	92.5	6.3	12.7	32.5	49.8	5.0
30歳代	2.4	92.0	5.7	13.4	23.7	56.5	6.4
40歳代	7.3	84.9	7.8	23.1	18.6	49.3	9.0
50歳代	7.1	83.0	9.9	25.2	14.2	45.2	15.4
60歳代	12.7	68.5	18.9	27.1	13.9	33.7	25.3
70歳以上	10.9	55.4	33.7	14.0	19.9	25.5	40.6

P T Aの役員・委員の活動については、子どもの保護者の活動であることから、活動する層が限られる状況となっており、全体では参加率 7.9%で、今後の参加意向も 5.5%と低くなっています。

地区別には、A地区で若干参加率が高い状況にありますが、大きな差はありません。

男女別には、女性の参加率が高く、母親が主にかかわっている様子が伺えます。

年代別には、子どもの有無とも関係し、30～40 歳代の参加率が高く、今後の参加意向も同様に傾向がみられます。

4.PTAの役員・委員・属性別集計表

単位：%

	参加している	参加していない	無回答	参加したい	参加しない	わからない	無回答
全体	7.9	78.3	13.8	5.5	45.5	29.8	19.3
A地区	9.6	78.6	11.8	5.6	45.3	28.1	21.1
B地区	8.2	80.2	11.6	5.0	43.8	34.9	16.4
C地区	6.8	77.5	15.8	5.3	47.1	25.8	21.8
D地区	8.6	74.0	17.4	6.0	45.7	29.1	19.2
E地区	7.1	76.9	16.1	5.1	42.9	30.6	21.4
F地区	8.9	77.4	13.7	6.5	45.4	30.7	17.4
G地区	6.7	80.6	12.7	5.8	45.0	30.6	18.7
H地区	6.8	82.1	11.1	6.0	45.3	31.1	17.5
I地区	8.6	77.7	13.7	4.3	48.5	27.6	19.6
男性	4.6	83.2	12.1	4.4	49.6	30.4	15.7
女性	10.0	79.0	11.1	6.3	44.5	31.1	18.1
20歳代	0.7	92.2	7.2	1.7	54.5	38.7	5.2
30歳代	11.1	83.6	5.3	11.5	34.3	47.2	6.9
40歳代	23.9	70.9	5.2	9.4	40.0	37.7	12.9
50歳代	4.8	85.2	10.0	3.9	55.4	22.2	18.4
60歳代	3.2	74.3	22.5	3.2	47.4	19.2	30.2
70歳以上	1.1	61.4	37.5	1.5	41.0	13.1	44.4

スポーツや学習活動といった個人的な活動については、参加率は 17.5%と高くありませんが、今後の参加意向は 38.1%と高くなっています。

地区別には、A・D地区で、現在の参加状況、今後の参加意向ともに高くなっています。

男女別には、女性の参加率及び今後の参加意向がより高くなっています。

年代別には、50～60 歳代の参加率が高く、今後の参加意向では 40～50 歳代でより高くなっています。

5.スポーツや文化、学習活動・属性別集計表

単位：%

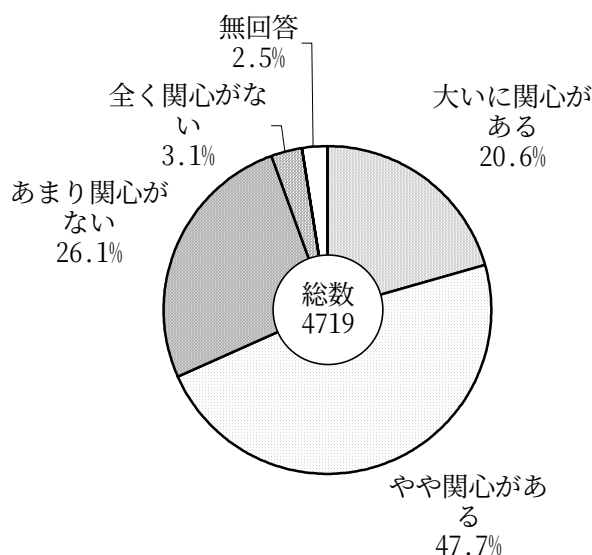
	参加している	参加していない	無回答	参加したい	参加しない	わからない	無回答
全体	17.5	70.0	12.6	38.1	14.4	30.1	17.4
A地区	20.2	67.7	12.1	40.5	14.2	26.8	18.4
B地区	14.9	76.4	8.8	38.5	15.2	33.0	13.3
C地区	19.8	66.3	13.9	36.6	14.5	29.3	19.6
D地区	20.3	64.5	15.2	40.2	11.9	28.9	19.0
E地区	15.9	69.4	14.7	32.9	14.9	31.8	20.4
F地区	13.3	73.5	13.3	38.5	15.4	29.6	16.5
G地区	18.1	69.6	12.3	38.8	15.0	30.0	16.2
H地区	16.2	73.6	10.2	39.4	12.8	31.9	15.8
I地区	17.6	69.5	12.9	36.6	16.2	30.1	17.0
男性	15.9	73.2	11.0	38.5	15.6	31.2	14.7
女性	18.8	70.8	10.4	40.5	13.2	30.3	16.1
20歳代	6.3	87.2	6.5	36.2	18.5	40.5	4.8
30歳代	12.4	82.3	5.3	40.3	10.8	42.0	6.8
40歳代	20.7	73.1	6.3	45.3	12.5	31.8	10.3
50歳代	22.1	69.0	8.9	44.8	11.8	27.7	15.8
60歳代	23.8	57.4	18.7	37.0	14.7	20.7	27.6
70歳以上	15.5	49.9	34.6	16.6	23.1	18.4	41.9

(5) 市政との関わりについて

① 市政への関心 (問 15)

あなたは市政について関心がありますか。次の中から1つ選んで下さい。

問15.市政への関心度



市政に対する関心は、やや関心がある人が 47.7%で、大いに関心がある人 20.6%をあわせると、68.3%の人が何らかの関心を持っています。

地区別には、D地区で大いに関心がある人の比率が最も多くなっているほか、B・C・E地区で何らかの関心を持つ人の比率が7割を超えています。

男女別には、男性の関心がより高くなっています。

年代別には、70歳以上を除き、年代が高まるほど関心も強くなる傾向がみられます。

属性別集計表

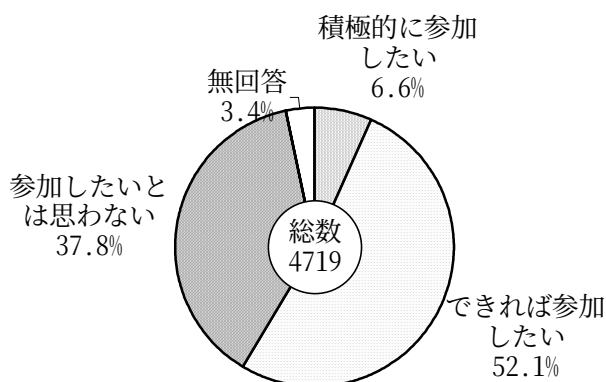
単位:%

	大いに関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	無回答
全体	20.6	47.7	26.1	3.1	2.5
A地区	21.9	45.3	27.7	2.8	2.3
B地区	17.1	54.1	24.6	2.5	1.7
C地区	22.3	48.0	24.5	2.7	2.4
D地区	24.5	41.5	26.0	4.4	3.7
E地区	20.4	50.4	23.1	2.7	3.3
F地区	19.3	45.9	28.5	3.7	2.6
G地区	19.8	49.4	25.2	3.8	1.7
H地区	18.3	47.7	30.0	2.3	1.7
I地区	21.1	47.2	25.6	3.3	2.7
男性	25.5	45.5	23.3	3.6	2.1
女性	14.7	49.8	30.5	2.8	2.1
20歳代	9.7	43.5	38.3	7.3	1.2
30歳代	13.3	48.8	31.6	5.2	1.2
40歳代	16.9	52.5	27.2	2.6	0.8
50歳代	23.9	46.7	24.8	2.3	2.4
60歳代	30.5	49.1	15.7	1.0	3.6
70歳以上	27.1	45.7	20.2	1.5	5.5

② 市民参加意向（問 16）

あなたは、市政への市民参加についてどう思いますか。次の中から1つ選んで下さい。

問16.市政への参加意向



市政への市民参加については、半数を超える 52.1%の人ができれば参加したいという意向を持っていますが、積極的に参加したいという人は 6.6%であり多くありません。なお、参加したいと思わない人も 37.8%と少なくありません。

地区別には、D地区での参加意識が比較的高くなっていますが、逆にF地区では参加したいと思わない人がかなり多くなっています。

男女別には、男性の参加意識が強い傾向があります。

年代別には、60歳代での参加意識が強く、20歳代では逆に参加したいとは思わない人が多くなり、70歳以上を除いて、年代と参加意識が反比例する傾向がみられます。

属性別集計表

単位：%

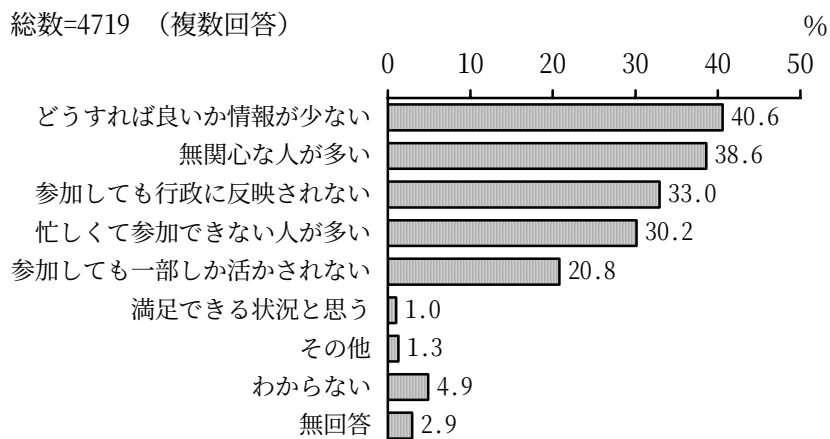
	積極的に参加したい	できれば参加したい	参加したいとは思わない	無回答
全体	6.6	52.1	37.8	3.4
A地区	7.0	53.5	36.7	2.8
B地区	6.1	51.8	39.6	2.5
C地区	7.0	55.7	34.4	2.9
D地区	8.8	52.1	34.6	4.6
E地区	5.7	55.1	34.7	4.5
F地区	6.3	46.7	43.3	3.7
G地区	6.7	50.6	39.4	3.3
H地区	6.6	50.4	40.0	3.0
I地区	5.3	52.3	38.7	3.7
男性	9.5	54.6	33.3	2.6
女性	4.1	49.9	42.7	3.3
20歳代	6.0	45.8	46.8	1.3
30歳代	5.9	50.3	42.2	1.6
40歳代	6.7	54.8	36.6	1.9
50歳代	7.0	54.0	36.4	2.6
60歳代	8.3	57.8	29.2	4.7
70歳以上	5.8	46.3	38.6	9.3

③ 市民参加の現状（問 17）

あなたは、市政への市民参加に関して、現在どのような状況であると思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

問17.市政への市民参加の状況について

総数=4719 （複数回答）



市民参加の現状に対しては、どうすれば良いかという情報が少ないと指摘する人が 40.6%で最も多く、無関心な人が多い 38.6%、参加しても行政に反映されない 33.0%、忙しくて参加できない人が多い 30.2%などの意見が多くなっています。市民意識の高揚だけでなく、参加するための環境や条件整備が必要であることを示しています。

地区別には、B・F・I地区で情報が少ない点を指摘する人がより多く、D・H地区では無関心な人が多いという指摘が多くなっています。

年代別には、20歳代で無関心な人が多いという指摘が多いほか、20～30歳代で情報の少なさ、40～50歳代で忙しくて参加できない人が多いという指摘をする人が多くなっています。

属性別集計表

単位:%

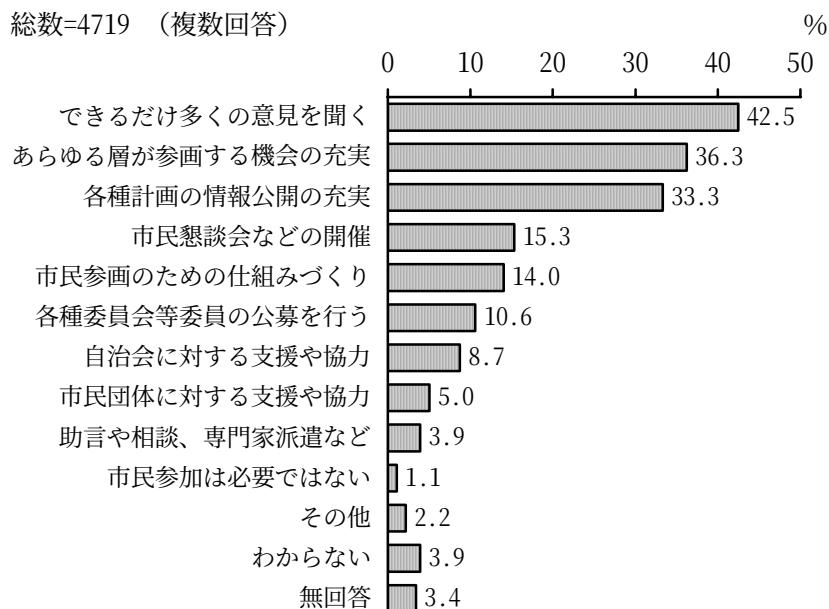
	どうすれば 良いか情報 が少ない	無関心な人 が多い	参加しても 行政に反映 されない	忙しくて参 加できない 人が多い	参加しても 一部しか活 かされない	わからない	その他	満足できる 状況と思う	無回答
全体	40.6	38.6	33.0	30.2	20.8	4.9	1.3	1.0	2.9
A地区	39.1	39.6	35.4	28.2	24.7	2.8	1.6	0.9	3.0
B地区	42.7	38.5	35.2	29.9	20.0	4.6	1.3	0.8	1.9
C地区	38.3	40.1	34.6	28.9	21.1	5.9	1.1	0.7	2.2
D地区	39.3	41.0	33.5	29.3	20.7	4.0	1.3	0.4	5.3
E地区	39.8	36.5	34.7	30.4	18.6	6.3	0.8	1.2	2.9
F地区	43.7	39.3	26.3	30.7	20.0	5.2	1.3	1.1	3.9
G地区	40.6	37.1	34.4	32.9	19.6	4.2	1.3	0.8	2.5
H地区	39.2	41.5	30.2	30.9	22.3	5.5	1.1	1.9	1.7
I地区	43.2	33.7	31.1	30.5	19.8	5.9	1.6	1.6	3.1
男性	39.5	41.7	33.1	32.0	20.3	4.1	1.6	1.3	2.6
女性	43.0	37.9	33.5	28.1	20.5	5.5	1.0	0.8	2.7
20歳代	46.3	43.7	36.5	25.5	17.7	4.8	1.2	0.0	1.3
30歳代	45.2	39.3	39.0	30.6	18.4	4.7	0.9	0.2	1.2
40歳代	43.3	38.1	37.3	38.1	18.9	3.4	0.5	0.4	1.0
50歳代	39.9	38.7	32.3	35.6	21.4	3.7	1.0	0.6	2.9
60歳代	37.7	36.4	28.7	26.5	24.2	5.4	1.1	1.9	4.0
70歳以上	30.4	37.9	20.9	19.3	23.9	8.9	3.5	3.1	7.3

④ 市民参加の促進策（問 18）

あなたは、市政への市民参加をより活性化するために、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

問18.市政への市民参加活性化のための推進策

総数=4719（複数回答）



市民参加の促進策については、できるだけ多くの意見を聞くべきとする人が 42.5%で最も多く、あらゆる層の参画機会の充実、各種計画の情報公開の充実などを求める声が多くなっています。広聴及び参画機会の充実と情報公開を求めていると言えます。

地区別や年代別では、あまり目立った差異はみられませんが、男女別では、男性で市民参加のための仕組みづくり、女性であらゆる層の参画機会を求める声が多くなっています。

属性別集計表（主要な選択肢のみ）

単位：%

	できるだけ多くの意見を聞く	あらゆる層が参画する機会の充実	各種計画の情報公開の充実	市民懇談会などの開催	市民参画のための仕組みづくり	各種委員会等委員の公募を行う	自治会に対する支援や協力	市民団体に対する支援や協力	助言や相談、専門家派遣など
全体	42.5	36.3	33.3	15.3	14.0	10.6	8.7	5.0	3.9
A地区	43.3	36.8	36.1	15.6	10.9	8.9	11.8	5.3	4.4
B地区	43.2	34.5	33.5	14.7	12.6	11.0	9.7	6.9	3.8
C地区	41.2	36.6	32.6	17.8	14.3	9.7	8.6	4.9	4.8
D地区	44.1	33.8	32.9	15.0	13.5	11.7	9.3	4.9	3.3
E地区	44.3	34.5	33.9	14.9	13.1	11.2	7.8	5.5	3.5
F地区	42.6	37.4	29.8	13.7	14.3	8.7	9.8	5.2	4.3
G地区	39.4	38.1	32.5	15.4	17.3	12.9	7.1	4.4	3.5
H地区	43.2	37.9	32.8	15.3	14.0	10.8	8.1	4.5	4.0
I地区	41.1	36.8	35.2	15.3	16.6	10.6	6.1	3.7	3.5
男性	42.5	32.0	37.1	16.2	18.1	12.3	8.8	4.9	3.7
女性	44.4	40.7	32.4	13.3	11.2	9.2	8.2	5.2	3.9
20歳代	43.3	41.5	34.5	13.0	14.3	11.7	2.3	5.0	4.0
30歳代	46.6	39.8	33.9	12.5	13.7	10.8	3.5	5.4	3.7
40歳代	40.8	38.6	38.6	15.5	16.7	13.6	6.8	5.4	4.1
50歳代	37.6	37.5	37.8	17.2	14.9	11.6	9.1	6.4	3.5
60歳代	44.3	32.1	30.7	19.1	14.4	8.3	14.0	3.8	4.6
70歳以上	46.1	26.6	21.9	13.1	9.1	6.0	18.6	3.1	3.8

(6) 男女共同参画社会について

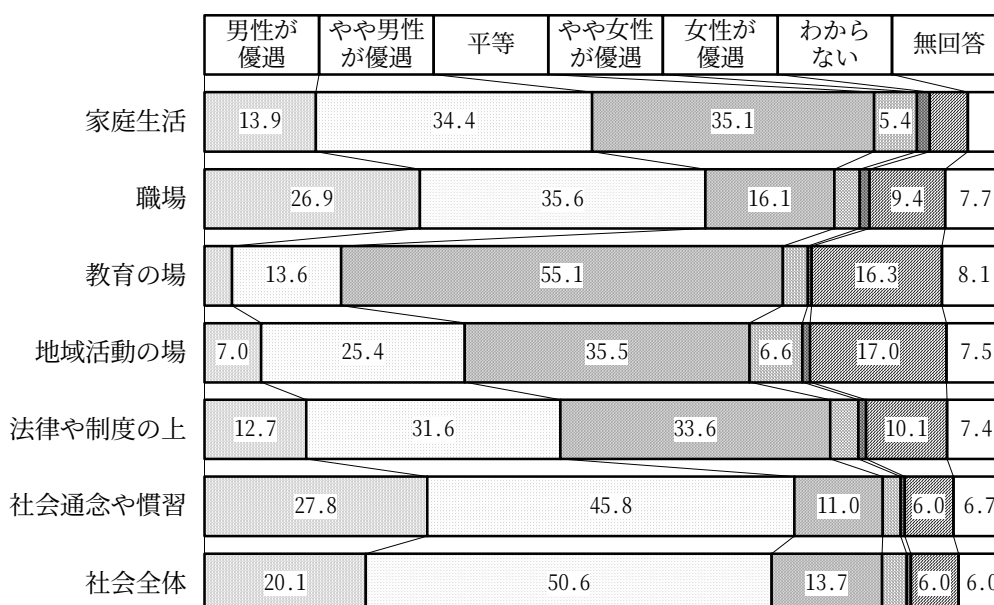
① 男女平等の状況 (問 19)

あなたは現在、男女の地位は平等になっていると思いますか。次の1～7の項目ごとに、該当する番号を1つ選んで下さい。

問19.男女の地位の平等観

総数=4719

単位:% (5%未満非表示)



(注) 5%未満数値：家庭生活(1.6 4.8 4.9)職場(3.2 1.2)教育の場(3.4 3.1 0.5)地域活動の場(1.0)法律や制度の上(3.5 1.0)社会通念や慣習(2.2 0.5)社会全体(3.1 0.5)

男女の平等感について、家庭生活では全体的に男性が優遇されているという意識が強くなっています。

男女別には、男性が優遇されているという意識は女性でより強くなっています。また、年代別には、20歳代ではその傾向が弱くなっています。

1. 家庭生活・属性別集計表

単位:%

	男性が優遇	やや男性が優遇	平等	やや女性が優遇	女性が優遇	わからない	無回答
全体	13.9	34.4	35.1	5.4	1.6	4.8	4.9
男性	8.8	31.5	42.7	6.1	2.1	5.2	3.6
女性	17.7	39.0	29.1	4.0	1.2	4.7	4.4
20歳代	8.3	32.3	40.0	6.5	1.7	9.3	1.8
30歳代	12.5	32.6	39.5	4.8	2.5	5.5	2.6
40歳代	13.2	39.6	35.8	4.4	1.2	4.2	1.6
50歳代	17.6	37.2	32.8	5.8	1.1	2.6	2.8
60歳代	14.8	34.2	34.2	6.0	1.9	2.8	6.1
70歳以上	13.3	29.1	29.5	4.6	0.7	6.0	16.8

職場においても、男性が優遇されているという意識を持つ人が多くなっており、家庭生活よりもその傾向は強くなっています。

男女別には、男性が優遇されているという意識は女性でより強くなっています。また、年代別には、総じて男性優遇の意識が強いと指摘する声が多くなっています。

2.職場・属性別集計表

単位：％

	男性が優遇	やや男性が優遇	平等	やや女性が優遇	女性が優遇	わからない	無回答
全体	26.9	35.6	16.1	3.2	1.2	9.4	7.7
男性	19.4	39.5	22.1	5.3	2.3	5.9	5.4
女性	34.0	33.6	11.2	1.5	0.3	12.6	6.8
20歳代	27.0	40.8	16.7	4.3	2.0	7.7	1.5
30歳代	33.7	36.6	15.0	4.6	1.9	6.0	2.2
40歳代	28.7	36.3	20.1	3.9	1.8	6.5	2.6
50歳代	32.9	34.6	18.2	2.8	0.8	6.9	3.8
60歳代	20.8	38.3	13.5	2.2	0.7	12.8	11.7
70歳以上	12.2	27.3	10.0	0.9	0.4	20.4	28.8

教育の場においては、男性が優遇されているという意識はかなり少なくなり、平等だという人が半数以上となりますが、相対的には男性優遇の状況は変わりません。

男女別には、男性で平等という人は6割を超えていますが、依然として男性が優遇されているという意識は女性でより強くなっています。また、年代別には、総じて平等という声が多くなっており、40歳代では6割を超えています。

3.教育の場・属性別集計表

単位：％

	男性が優遇	やや男性が優遇	平等	やや女性が優遇	女性が優遇	わからない	無回答
全体	3.4	13.6	55.1	3.1	0.5	16.3	8.1
男性	2.3	10.8	62.7	4.5	0.6	13.2	5.8
女性	4.1	17.2	49.3	1.9	0.2	20.4	6.9
20歳代	2.8	14.2	55.0	4.5	0.7	21.2	1.7
30歳代	3.8	14.4	57.8	2.4	0.2	18.7	2.7
40歳代	2.6	15.2	63.5	3.0	0.7	12.8	2.2
50歳代	4.5	14.3	57.8	4.1	0.5	14.2	4.6
60歳代	3.6	13.9	53.3	1.8	0.6	14.5	12.3
70歳以上	2.4	8.7	38.1	2.7	0.4	18.4	29.3

地域活動の場においても、男性が優遇されているという意識はやや強くなっています。

男女別には、男性が優遇されているという意識はやはり女性でより強くなっています。また、年代別には、20歳代で男性が優遇されているという人は若干少なくなっています。

4.地域活動の場・属性別集計表

単位：％

	男性が優遇	やや男性が優遇	平等	やや女性が優遇	女性が優遇	わからない	無回答
全体	7.0	25.4	35.5	6.6	1.0	17.0	7.5
男性	3.9	22.5	42.9	10.0	1.2	14.1	5.4
女性	9.9	29.5	29.4	3.9	0.9	20.3	6.2
20歳代	3.3	18.8	36.3	6.8	1.2	31.5	2.0
30歳代	6.0	21.4	40.3	5.4	1.1	23.3	2.5
40歳代	8.3	29.1	39.6	5.0	1.1	14.6	2.3
50歳代	11.0	29.1	33.4	8.8	0.9	13.1	3.7
60歳代	6.6	29.0	33.6	7.4	1.0	10.3	12.2
70歳以上	4.6	21.9	29.5	5.1	0.7	11.8	26.4

法律や制度の面においても、男性が優遇されているという意識は強くなっています。

男女別には、男性が優遇されているという意識はやはり女性でより強くなっています。また、年代別には、特に目立った差異はみられません。

5.法律や制度・属性別集計表

単位：％

	男性が優遇	やや男性が優遇	平等	やや女性が優遇	女性が優遇	わからない	無回答
全体	12.7	31.6	33.6	3.5	1.0	10.1	7.4
男性	6.9	26.4	46.4	5.4	1.8	7.8	5.3
女性	18.4	37.2	23.9	1.8	0.2	12.2	6.3
20歳代	14.8	36.2	26.3	6.7	1.0	13.0	2.0
30歳代	15.8	38.4	28.2	3.8	1.6	9.7	2.6
40歳代	12.5	33.9	36.5	3.9	1.4	9.8	2.0
50歳代	14.1	34.1	36.9	3.1	0.9	7.0	3.9
60歳代	11.1	26.8	37.2	2.8	0.5	10.2	11.4
70歳以上	6.4	18.2	33.9	1.6	0.2	12.8	27.0

社会通念や慣習では、男女平等になっているという意見はかなり少なく、根強く男性が優遇される面が残されている実態が伺えます。

男女別には、男女平等だという人は女性ではかなり少なくなっています。また、年代別にみても、総じて平等になっているという人は少なくなっています。

6.社会通念や慣習・属性別集計表

単位：％

	男性が優遇	やや男性が優遇	平等	やや女性が優遇	女性が優遇	わからない	無回答
全体	27.8	45.8	11.0	2.2	0.5	6.0	6.7
男性	19.1	51.6	15.2	3.2	1.0	5.3	4.6
女性	37.3	42.6	7.1	0.9	0.1	6.4	5.7
20歳代	29.5	41.0	13.8	2.3	1.0	10.5	1.8
30歳代	34.2	45.7	9.3	2.2	0.9	5.2	2.5
40歳代	31.2	48.3	10.3	2.4	1.0	4.8	2.0
50歳代	31.8	49.2	9.1	2.7	0.3	3.3	3.5
60歳代	20.6	48.2	13.3	1.6	0.0	6.6	9.9
70歳以上	14.9	40.1	11.7	1.6	0.0	7.7	24.0

社会全体の男女平等は、まだまだ進んでいないことがわかります。各属性別にみても、やや男性が優遇されているという意見が半数以上を占めています。

7.社会全体・属性別集計表

単位：％

	男性が優遇	やや男性が優遇	平等	やや女性が優遇	女性が優遇	わからない	無回答
全体	20.1	50.6	13.7	3.1	0.5	6.0	6.0
男性	12.3	52.8	19.8	5.0	0.6	5.3	4.3
女性	27.6	51.2	8.3	1.4	0.2	6.2	5.1
20歳代	18.7	51.8	14.2	4.7	1.0	7.8	1.8
30歳代	23.8	55.0	10.0	3.1	0.7	5.3	2.1
40歳代	20.1	54.6	14.3	3.1	0.4	5.2	2.3
50歳代	25.8	51.4	13.1	3.0	0.4	3.2	3.0
60歳代	16.5	51.6	14.4	2.3	0.2	6.6	8.4
70歳以上	10.7	37.7	17.5	2.0	0.4	9.5	22.2

② 男女共同参画社会形成のための取り組み（問 20）

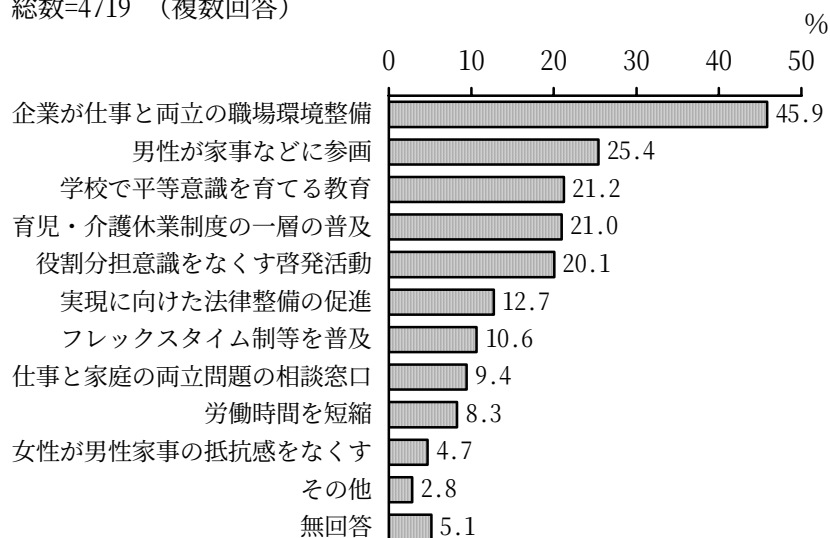
あなたは、男女共同参画社会※をつくっていくために、どのような取り組みが必要であると思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

※男女共同参画社会

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、持つて男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会。（男女共同参画審議会「男女共同参画ビジョン」による）

問20.男女共同参画社会づくりのための必要な取り組み

総数=4719（複数回答）



男女共同参画社会を築いていくための取り組みについては、仕事と家庭が両立できる職場環境整備が最も多く、45.9%となっています。このほか、男性の家事参画、平等意識を育てる教育、育児・介護休業制度の普及、役割分担意識をなくす啓発活動などが比較的多くなっています。

男女別には、男性で教育や啓発といった意識的な変革を求める傾向があるのに対し、女性では仕事と家庭の両立や男性の家事参画など実態的な変革を求める傾向がみられます。

年代別には、20～30歳代の若い層で、仕事と家庭の両立、育児・介護休業制度、フレックスタイム制など、労働条件の改善に関する事項が多く支持されています。また、60～70歳以上で教育の必要性を指摘する声が多くなっています。

属性別集計表

単位: %

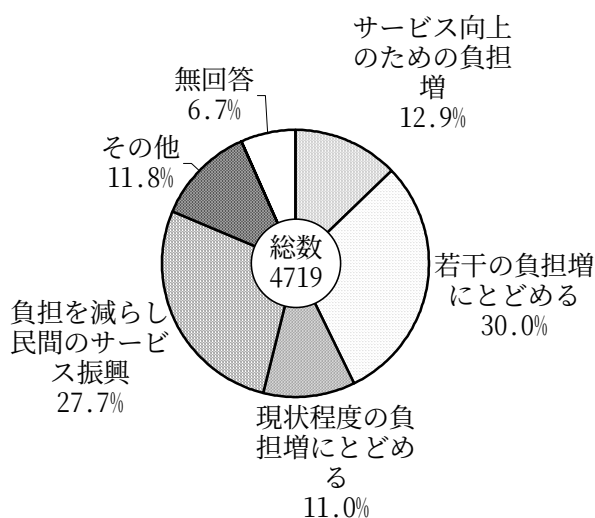
	企業が仕事と両立の職場環境整備	男性が家事などに参画	学校で平等意識を育てる教育	育児・介護休業制度の一層の普及	役割分担意識をなくす啓発活動	実現に向けた法律整備の促進	フレックスタイム制等を普及	仕事と家庭の両立問題の相談窓口	労働時間を短縮	女性が男性家事の抵抗感をなくす	その他	無回答
全体	45.9	25.4	21.2	21.0	20.1	12.7	10.6	9.4	8.3	4.7	2.8	5.1
男性	42.7	23.4	23.3	18.6	24.0	14.9	11.1	8.3	10.3	3.5	3.4	4.1
女性	50.4	28.3	19.1	22.9	18.2	11.2	10.0	10.1	6.5	5.6	2.1	4.3
20歳代	51.7	25.5	16.2	29.0	12.2	7.7	15.2	9.7	13.3	4.0	2.5	2.2
30歳代	54.1	25.3	17.2	26.0	16.3	10.2	15.3	7.4	8.5	2.2	2.8	3.1
40歳代	48.7	27.5	18.4	20.1	21.0	13.5	11.6	9.3	8.6	3.4	3.9	2.7
50歳代	48.9	26.3	18.4	19.9	24.8	14.3	9.2	10.3	7.8	4.7	2.6	3.6
60歳代	39.3	25.8	26.3	18.7	23.4	16.5	6.7	8.8	6.0	7.2	1.9	6.0
70歳以上	28.8	20.8	34.4	11.3	20.8	12.9	4.2	11.8	5.3	7.5	2.6	15.8

(7) 保健・医療・福祉について

① 医療・福祉サービスと負担の考え方（問 21）

あなたは、今後、医療・福祉の充実をどのような進めていくのが良いと思いますか。次の中から1つ選んで下さい。

問21.今後、医療・福祉を充実するための方法



医療や福祉サービスと負担の問題については、サービス充実のためではあっても、若干の負担増にとどめるという意見が最も多く 30.0%となっています。これに続いて、負担を減らして行政サービスを最低限とし、民間サービスを充実するという意見が 27.7%となります。サービス向上のために負担増をやむを得ないとする意見は 12.9%にとどまっています。市民の現在の負担感は大きく、大きな負担増は受け入れられにくい状況にあると言えます。

男女別には、男性でサービス向上のための負担増を容認する声が若干多くなっています。

年代別には、全体的な傾向は変わりませんが、若い層で負担軽減を求める声はやや多く、中高年層では現状維持を求める声はやや多くなっています。

属性別集計表

単位: %

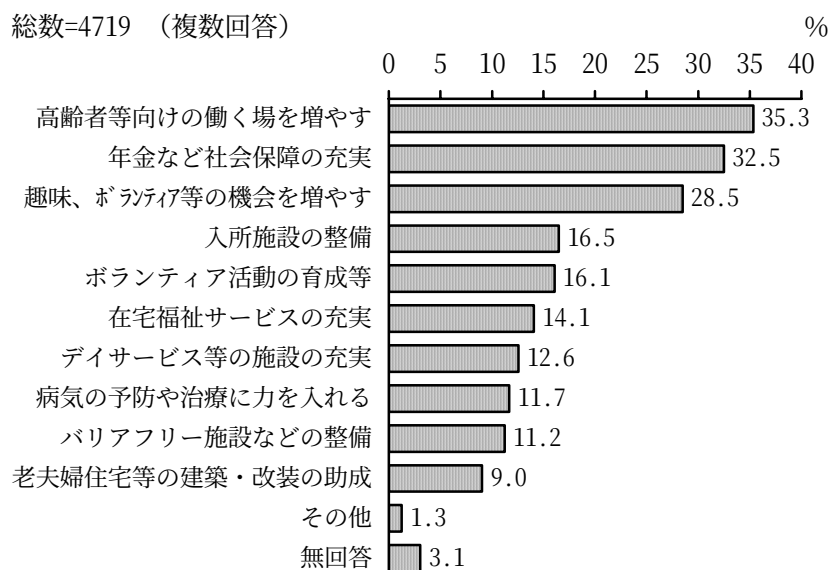
	サービス向上のための負担増	若干の負担増にとどめる	現状程度の負担増にとどめる	負担を減らし民間のサービス振興	その他	無回答
全体	12.9	30.0	11.0	27.7	11.8	6.7
男性	15.6	30.0	10.3	28.5	11.3	4.3
女性	10.9	30.5	11.5	26.6	13.0	7.6
20歳代	12.8	28.2	8.0	33.3	13.8	3.8
30歳代	11.2	29.4	6.8	33.0	15.3	4.2
40歳代	12.5	28.4	8.2	30.7	15.6	4.5
50歳代	15.9	28.4	10.4	25.4	12.2	7.7
60歳代	12.4	30.8	16.9	25.7	7.1	7.2
70歳以上	11.5	37.9	17.5	16.2	4.6	12.4

② 高齢化対策（問 22）

あなたは、今後、社会の高齢化が進行する中で、どのような対応策を進めていくことが重要だと思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

問22.今後の高齢化社会の対応策

総数=4719 （複数回答）



高齢化への対応策としては、高齢者の働く場を増やすべきとする意見が最も多く 35.3%となっているほか、年金などの社会保障の充実、趣味、ボランティア等の機会を増やす（生きがい対策）などが続いています。

男女別には、男性で高齢者の働く場所の確保や生きがい対策を、女性でデイサービス等の施設の充実を求める声が多くなる傾向がみられます。

年代別には、若い層で高齢者の働く場の確保やバリアフリー施設などの整備、住宅改装への助成などを求める声が多くなる傾向があり、高齢となっても変わらずに生活できることを求めている様子が伺えます。また、60 歳～70 歳以上の高齢者では、病気の予防や治療といった、健康の維持を重視していることがわかります。

属性別集計表

単位: %

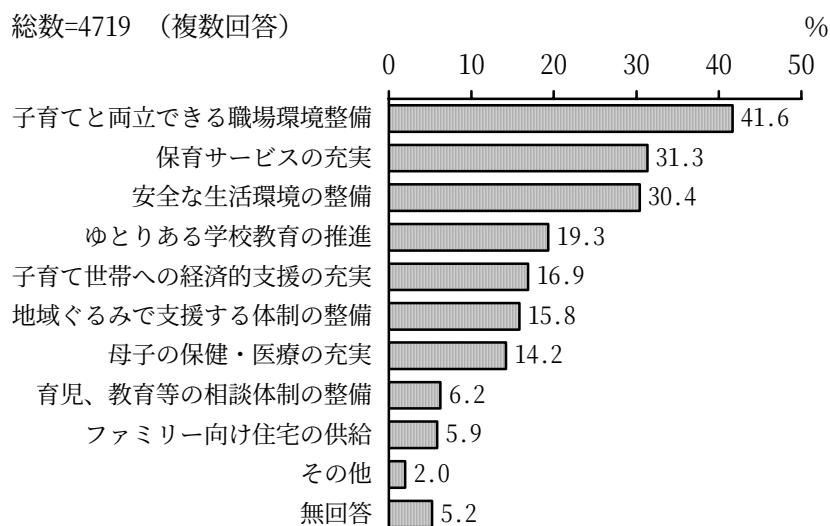
	高齢者等向けの働く場を増やす	年金など社会保障の充実	趣味、ボランティア等の機会を増やす	入所施設の整備	ボランティア活動の育成等	在宅福祉サービスの充実	デイサービス等の施設の充実	病気の予防や治療に力を入れる	バリアフリー施設などの整備	老夫婦住宅等の建築・改装の助成	その他	無回答
全体	35.3	32.5	28.5	16.5	16.1	14.1	12.6	11.7	11.2	9.0	1.3	3.1
男性	38.5	31.5	33.5	14.0	15.6	13.1	8.9	12.2	11.2	10.2	1.6	2.6
女性	34.7	34.2	25.2	17.7	16.3	15.3	15.3	10.3	11.6	8.4	1.1	2.8
20歳代	43.0	27.2	27.2	9.5	15.2	11.0	14.3	8.8	21.5	12.0	2.3	1.3
30歳代	44.4	27.8	22.3	12.6	15.1	16.1	13.3	9.5	16.1	11.0	1.9	2.0
40歳代	42.7	32.1	25.3	15.5	19.5	15.2	15.2	6.9	11.2	8.4	1.1	1.4
50歳代	35.7	35.5	32.5	16.2	19.4	13.3	12.5	8.9	7.4	9.2	1.2	2.4
60歳代	27.0	36.4	36.0	19.3	14.5	12.3	10.7	15.5	6.1	7.2	0.6	4.3
70歳以上	16.0	34.4	25.1	27.1	9.7	17.9	8.4	24.6	7.8	6.0	0.5	7.7

③ 子育て支援策（問 23）

あなたは、子どもを生み育てたいと思えるような地域づくりを目指して、どのような施策を行うべきであると思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

問23.子育ての地域づくりのための施策

総数=4719 （複数回答）



子育て支援のための取り組みについては、子育てと両立できる職場環境の整備を必要とする声が41.6%で最も多くなっています。この結果は、男女共同参画社会づくりのための取り組みで、仕事と家庭とを両立させる職場環境を求める声と共通の課題となっています。このほか、保育サービスの充実、安全な生活環境の整備を求める声が多くなっています。

男女別には、大きな違いはありませんが、男性で経済的支援を求める声が若干多くなっています。

年代別には、20～40 歳代で安全な生活環境を求める声がより多くなっているほか、50～60 歳代で地域ぐるみの支援体制が必要とする声が多くなっています。

属性別集計表

単位: %

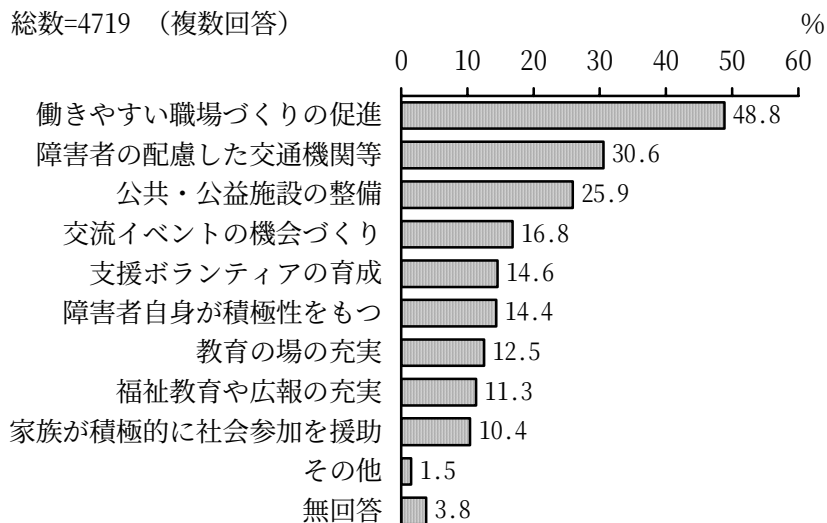
	子育てと 両立できる 職場環境 整備	保育サー ビスの充 実	安全な生 活環境の 整備	ゆとりあ る学校教 育の推進	子育て世 帯への経 済的支援 の充実	地域ぐる みで支援 する体制 の整備	母子の保 健・医療 の充実	育児、教 育等の相 談体制の 整備	ファミリー 向け住宅 の供給	その他	無回答
全体	41.6	31.3	30.4	19.3	16.9	15.8	14.2	6.2	5.9	2.0	5.2
男性	41.7	31.6	31.6	18.3	18.5	16.2	12.6	6.7	6.8	2.0	3.9
女性	43.7	32.4	30.1	20.0	14.9	15.5	15.7	5.9	4.9	1.7	5.0
20歳代	45.3	31.2	35.8	14.3	21.0	9.8	16.0	5.3	11.2	1.7	1.3
30歳代	36.3	31.8	35.5	19.9	26.4	10.8	19.4	4.1	5.5	2.1	2.1
40歳代	40.0	27.8	33.2	28.8	17.3	16.9	13.7	5.7	6.3	2.0	1.8
50歳代	48.0	34.9	25.5	17.9	12.4	21.4	12.7	7.6	6.6	1.8	2.9
60歳代	43.8	32.8	28.5	16.2	12.8	19.0	11.7	6.7	3.5	1.3	8.4
70歳以上	34.4	28.4	25.3	17.7	12.4	14.0	11.5	7.3	2.2	3.1	17.3

④ 障害のある人への支援策（問 24）

あなたは、障害のある人が地域や社会に積極的に参加できるようにするために、特に大切なことはどのようなことだと思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

問24.障害者の社会参加のための施策

総数=4719（複数回答）



障害のある人の社会参加促進のための取り組みについては、働きやすい職場づくりの促進を求める声が 48.8%で最も多くなっています。このほか、障害のある人に配慮した交通機関や道路などの整備、公共・公益施設の整備などバリアフリーを求める声が多くなっています。

男女別には、大きな違いはありませんが、女性で交通機関のバリアフリーを求める声が若干多くなっています。

年代別には、中高年層で障害者自身の積極性や家族の積極性を求める声が多くなっており、自助の意識が高いことが伺えます。

属性別集計表

単位: %

	働きやすい職場づくりの促進	障害者の配慮した交通機関等	公共・公益施設の整備	交流イベントの機会づくり	支援ボランティアの育成	障害者自身が積極性を持つ	教育の場の充実	福祉教育や広報の充実	家族が積極的に社会参加を援助	その他	無回答
全体	48.8	30.6	25.9	16.8	14.6	14.4	12.5	11.3	10.4	1.5	3.8
男性	50.3	28.5	25.7	16.3	14.5	15.9	12.3	11.0	11.8	1.8	2.9
女性	49.0	32.4	27.2	17.1	14.3	13.0	12.6	11.8	9.0	1.6	3.6
20歳代	55.2	35.5	26.3	18.2	11.3	11.8	13.0	11.0	6.0	2.3	1.5
30歳代	51.4	37.0	28.4	16.1	10.8	9.5	14.4	12.1	8.2	1.8	2.0
40歳代	47.9	32.5	29.0	16.1	18.0	10.2	13.9	14.0	7.2	1.4	2.0
50歳代	52.9	27.4	24.6	14.4	18.7	14.5	11.0	11.4	13.2	2.0	2.9
60歳代	45.9	25.4	24.2	18.1	14.7	20.1	12.0	10.1	13.1	0.6	5.0
70歳以上	38.1	27.5	23.7	18.0	10.9	20.9	11.7	8.2	12.0	1.1	10.4

(8) 情報化・国際化について

① 情報機器の利用状況と今後の利用意向 (問 25)

次の情報機器の中で、あなたが現在利用している（今後利用したい）ものは何ですか。次の1～9の種類ごとに、現在の状況、今後の意向について、該当するものを1つずつ選んで下さい。

問25.情報機器の利用状況

総数=4719

単位: % (5%未満非表示)

	利用している	利用していない	無回答
携帯電話・PHS	60.3	32.0	7.7
ファクシミリ	47.7	41.6	10.7
電子メール	42.0	45.4	12.6
インターネット	42.8	44.7	12.5
パソコン	51.7	37.0	11.3
ワープロ	29.6	58.0	12.5
CATV	27.8	59.6	12.6
電子手帳	8.5	77.3	14.1
家庭用ゲーム機	30.2	57.1	12.7

問25.情報機器の今後の利用意向

総数=4719

単位: % (5%未満非表示)

	利用したい	特に利用したいとは思わない	分からない	無回答
携帯電話・PHS	47.8	20.3		27.4
ファクシミリ	43.0	23.8	6.1	27.1
電子メール	43.7	23.6	7.5	25.2
インターネット	53.9	16.3	6.2	23.5
パソコン	55.6	13.5	5.0	25.9
ワープロ	24.4	43.2	7.7	24.7
CATV	33.5	32.2	11.7	22.6
電子手帳	14.0	57.4	10.8	17.8
家庭用ゲーム機	17.7	51.4	8.8	22.2

(注) 5%未満数値: 携帯電話・PHS(4.5)

各種の情報機器のなかでは、携帯電話の利用率が特に高く 60.3%となっています。パソコンの利用も 51.7%で、インターネットの利用や、電子メールの利用をしている人も4割を超える高い普及率と

っており、全国的な水準と同等以上の普及率となっています。今後の利用意向については、パソコン、インターネット、電子メール、CATV、電子手帳などは現状の普及率を上回る利用希望率となっており、さらに普及が進むものと言えます。

男女別には、すべての機器で男性が女性の利用率を上回っているほか、ファクシミリを除く全機器で今後の利用意向も男性が高くなっています。

年代別には、パソコンをはじめ多くの機器で若い層の利用率が高くなっています。パソコン・インターネット・電子メールについては、20歳代では7割を超える人が利用意向を持つなど、今後も若者を中心に市民の情報化が進むことが推測されますが、現状の利用率を上回る利用希望率とはなっていない状況から、普及が一段落しつつある状況も伺えます。

1.携帯電話・PHS・属性別集計表

単位：％

	利用している	利用していない	無回答	利用したい	特に利用したいとは思わない	分からない	無回答
全体	60.3	32.0	7.7	47.8	20.3	4.5	27.4
男性	67.3	26.9	5.8	51.7	18.6	3.2	26.5
女性	56.5	37.0	6.5	48.8	21.3	5.4	24.5
20歳代	91.2	7.5	1.3	72.7	5.5	1.7	20.2
30歳代	81.0	17.2	1.8	62.0	9.1	2.9	26.0
40歳代	74.6	22.9	2.6	58.6	14.8	3.7	22.9
50歳代	56.8	37.7	5.5	42.6	25.7	4.7	27.0
60歳代	37.3	49.8	12.9	30.4	31.8	6.2	31.6
70歳以上	18.0	56.1	25.9	23.0	33.2	8.0	35.9

2.ファクシミリ・属性別集計表

単位：％

	利用している	利用していない	無回答	利用したい	特に利用したいとは思わない	分からない	無回答
全体	47.7	41.6	10.7	43.0	23.8	6.1	27.1
男性	51.3	41.0	7.7	44.5	25.5	5.8	24.2
女性	47.0	43.7	9.3	45.3	23.3	6.3	25.1
20歳代	51.5	45.2	3.3	55.3	24.8	4.8	15.0
30歳代	59.5	36.7	3.8	54.4	19.3	5.1	21.2
40歳代	61.0	35.6	3.4	53.6	21.2	4.5	20.7
50歳代	50.9	41.2	7.8	44.2	23.0	6.0	26.8
60歳代	37.8	45.6	16.5	30.4	26.3	7.7	35.6
70歳以上	18.4	47.4	34.2	16.4	31.1	8.9	43.5

3.電子メール・属性別集計表

単位：％

	利用している	利用していない	無回答	利用したい	特に利用したいとは思わない	分からない	無回答
全体	42.0	45.4	12.6	43.7	23.6	7.5	25.2
男性	47.3	42.2	10.5	47.5	23.3	6.8	22.4
女性	40.0	49.4	10.6	43.7	24.3	8.6	23.4
20歳代	77.3	19.5	3.2	70.7	7.3	3.2	18.8
30歳代	69.3	26.7	4.0	60.3	10.8	5.1	23.8
40歳代	51.8	43.3	4.9	55.4	17.8	7.1	19.7
50歳代	32.7	57.5	9.8	39.2	30.3	8.3	22.2
60歳代	15.5	63.4	21.2	24.7	35.2	11.4	28.7
70歳以上	5.6	56.6	37.7	12.2	39.5	9.8	38.4

4.インターネット・属性別集計表

単位：％

	利用している	利用していない	無回答	利用したい	特に利用したいとは思わない	分からない	無回答
全体	42.8	44.7	12.5	53.9	16.3	6.2	23.5
男性	48.9	40.2	10.9	58.8	14.8	5.4	21.0
女性	39.8	49.5	10.7	54.4	16.7	7.3	21.5
20歳代	74.2	22.7	3.2	75.8	4.3	2.2	17.7
30歳代	67.4	28.5	4.1	69.3	4.7	3.2	22.9
40歳代	56.6	39.0	4.4	67.8	8.4	4.6	19.2
50歳代	35.5	54.3	10.3	53.3	19.3	7.3	20.1
60歳代	15.5	63.6	20.9	35.8	28.3	10.3	25.5
70歳以上	7.1	56.1	36.8	18.9	33.3	9.7	38.1

5.パソコン・属性別集計表

単位：％

	利用している	利用していない	無回答	利用したい	特に利用したいとは思わない	分からない	無回答
全体	51.7	37.0	11.3	55.6	13.5	5.0	25.9
男性	60.7	30.5	8.8	60.8	11.4	3.9	24.0
女性	47.2	43.1	9.6	55.7	14.6	6.1	23.6
20歳代	77.3	19.8	2.8	74.7	3.5	2.2	19.7
30歳代	72.7	23.8	3.5	69.5	3.8	2.9	23.8
40歳代	68.3	28.2	3.5	68.7	6.1	3.3	21.9
50歳代	48.9	42.8	8.3	55.3	16.1	5.0	23.6
60歳代	27.4	53.6	19.0	40.3	22.5	8.8	28.5
70歳以上	11.3	53.2	35.5	21.7	31.3	7.8	39.2

6.ワープロ・属性別集計表

単位：％

	利用している	利用していない	無回答	利用したい	特に利用したいとは思わない	分からない	無回答
全体	29.6	58.0	12.5	24.4	43.2	7.7	24.7
男性	35.7	54.6	9.7	27.3	43.6	6.1	23.0
女性	25.7	63.3	11.0	23.3	45.6	9.5	21.6
20歳代	25.0	70.0	5.0	19.8	59.5	7.7	13.0
30歳代	36.0	59.2	4.7	25.8	48.6	7.3	18.3
40歳代	38.8	55.8	5.4	27.6	44.9	7.1	20.4
50歳代	30.7	59.4	10.0	27.2	42.4	7.2	23.1
60歳代	26.5	54.3	19.2	25.4	32.5	9.4	32.7
70歳以上	15.1	49.9	35.0	16.6	34.2	7.8	41.3

7.CATV・属性別集計表

単位：％

	利用している	利用していない	無回答	利用したい	特に利用したいとは思わない	分からない	無回答
全体	27.8	59.6	12.6	33.5	32.2	11.7	22.6
男性	29.3	59.8	10.8	39.9	29.9	10.8	19.4
女性	27.7	61.9	10.4	30.0	36.1	13.0	21.0
20歳代	30.7	63.8	5.5	47.2	30.2	12.2	10.5
30歳代	28.3	66.7	5.1	40.4	30.4	13.5	15.7
40歳代	32.8	61.0	6.3	37.3	32.4	15.0	15.4
50歳代	29.9	60.4	9.7	33.9	34.7	10.3	21.2
60歳代	26.5	54.5	19.0	26.5	31.5	10.8	31.1
70歳以上	16.8	47.9	35.3	14.0	33.5	9.3	43.2

8.電子手帳・属性別集計表

単位: %

	利用している	利用していない	無回答	利用したい	特に利用したいとは思わない	分からない	無回答
全体	8.5	77.3	14.1	14.0	57.4	10.8	17.8
男性	11.3	76.5	12.3	17.8	56.6	10.6	14.9
女性	5.9	81.9	12.2	10.4	62.8	11.6	15.3
20歳代	5.0	88.7	6.3	14.8	68.3	10.7	6.2
30歳代	7.4	86.5	6.1	13.0	66.9	10.7	9.4
40歳代	11.3	81.4	7.3	13.7	61.1	12.2	12.9
50歳代	9.7	78.3	12.0	17.5	58.0	9.6	14.9
60歳代	10.0	68.6	21.4	13.1	49.0	11.8	26.0
70歳以上	5.3	58.3	36.4	9.8	40.4	10.6	39.2

9.家庭用ゲーム機・属性別集計表

単位: %

	利用している	利用していない	無回答	利用したい	特に利用したいとは思わない	分からない	無回答
全体	30.2	57.1	12.7	17.7	51.4	8.8	22.2
男性	33.2	56.3	10.5	20.7	52.3	8.1	19.0
女性	28.8	60.6	10.5	16.3	54.2	9.3	20.1
20歳代	52.0	44.5	3.5	39.5	37.3	8.8	14.3
30歳代	50.3	46.1	3.7	30.0	39.8	11.2	19.0
40歳代	44.6	50.3	5.0	20.8	53.1	8.8	17.3
50歳代	19.0	70.4	10.6	9.2	65.9	7.1	17.7
60歳代	10.3	68.0	21.7	6.8	57.3	9.1	26.8
70歳以上	7.3	56.8	35.9	3.5	48.8	7.5	40.3

② 行政の情報化への期待（問 26）

あなたは、情報技術の急速な発展と情報機器の普及による行政の情報化に何を期待しますか。次の中から3つまで選んで下さい。

行政の情報化に対する期待については、市役所の手続きが自宅からできることを求める声が 59.9%で最も多くなっており、各種の届け出や証明書発行等に市役所等に出かける手間を省きたいという意識が伺えます。このほか、市政情報の取得、在宅医療等のサービス、公共施設利用の予約、税金等の支払いなどを期待する声も少なくありません。

男女別には、男性で市役所の手続き、市政情報取得、公共施設予約、市政への意見などを期待する声が多く、女性で在宅医療等のサービスや子育てや各種行政相談などを期待する声が多くなっています。

年代別には、20～40 歳代で市役所の手続き、公共施設予約を求める声が多いほか、20～30 歳代で子育てや各種行政相談を求める声が多くなっています。また、50～70 歳以上で在宅医療等のサービスを求めているほか、インターネット等以外での（市報等）情報伝達を求める声も多くなっています。

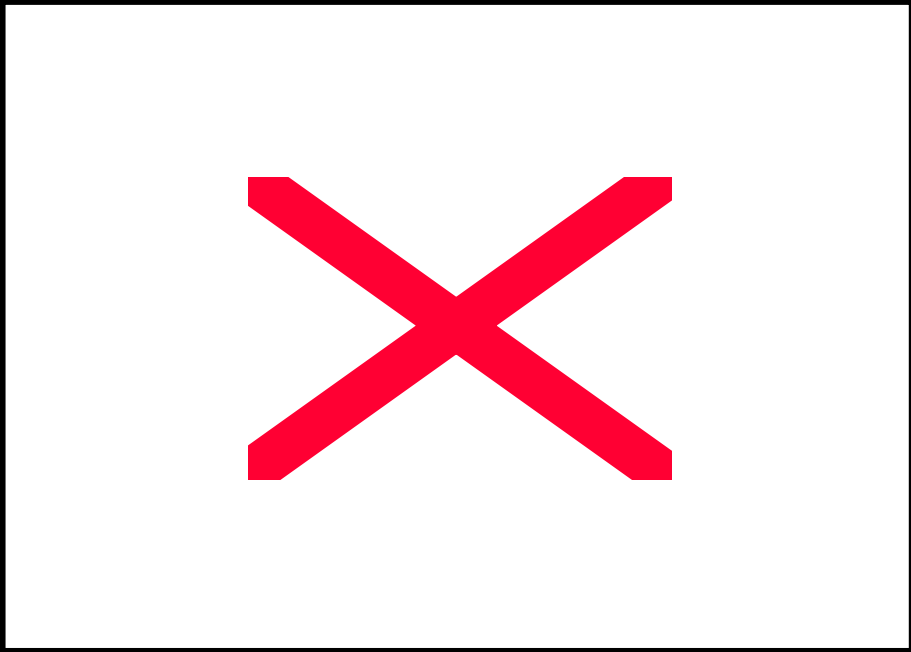
属性別集計表

単位：％

	市役所の 手続きが自 宅から できる	市政の 情報を すぐ取 り出せ る	在宅医 療等が 通信網 ででき る	公共施 設の予 約が自 宅から できる	税金等 の支払 いが自 宅から できる	市政へ の意見 がしや すくなる	非使用 市民へ の伝達 手段の 充実	インター ネットを 学ぶ 講習が 充実	パソコ ンが無 い人へ の端末 の用意	子育て 相談等 が通信 網でで きる	その他	市として 対応す べきこ とは無い	無回答
全体	59.9	30.8	30.6	28.9	27.5	17.6	15.2	15.0	14.9	8.2	1.7	1.7	4.1
男性	62.9	36.0	28.3	31.8	27.7	20.1	13.6	15.5	13.3	6.7	2.2	1.4	3.1
女性	58.6	27.3	32.7	26.9	28.0	15.4	16.6	15.5	16.6	10.0	1.4	1.8	3.8
20歳代	67.3	29.2	17.5	31.7	37.2	15.8	10.2	9.3	23.8	15.0	1.7	1.8	1.2
30歳代	74.8	30.6	20.6	37.8	29.9	18.8	7.9	10.2	15.7	13.9	1.8	1.9	0.6
40歳代	65.3	37.3	29.1	37.8	25.9	19.7	13.5	14.8	12.5	7.1	2.0	0.7	1.4
50歳代	56.5	35.7	37.8	28.6	24.6	17.2	18.0	18.8	10.7	5.8	1.3	1.7	2.6
60歳代	46.7	28.8	37.3	20.9	24.3	18.6	19.8	20.4	15.7	4.3	1.2	2.2	7.1
70歳以上	47.0	18.8	39.2	13.3	25.1	13.8	21.7	14.9	14.0	3.5	2.9	1.8	14.0

③ 国際化推進策（問 27）

あなたは、今後、国際化に対応していくために、どのようなことをしていくべきだと思いますか。
次の中から2つまで選んで下さい。



国際化への対応策としては、教育現場の外国人講師の採用増を求める声が 44.7%で最も多くなっています。このほか、身近な場所での外国人との交流行事の実施を求める声も比較的多くなっています。

男女別には、男性で交換留学生の派遣・受入れ、女性で外国人講師の増員を求める声が多くなっています。

年代別には、各年代がほぼ同一の傾向を示す中、20 歳代では、交換留学生の派遣・受入れ、国際的なイベント、外国語案内表示等、海外姉妹都市交流など、意見の多様化がみられます。

属性別集計表

単位：%

	教育現場 の外国人 講師の採 用増	身近な場 所で外国 人との交 流行事	交換留学 生の派 遣・受入 れ	国際的な イベント の実施	外国語の 案内表示 等の作成	海外姉妹 都市交流 の活発化	ボランテ ィア団体 の活動支 援	外国に対 し企業進 出等促進 のPR	それほど 重要では ない	その他	無回答
全体	44.7	32.3	21.6	16.9	14.8	13.6	13.3	5.1	3.7	2.7	7.2
男性	41.6	31.5	24.2	18.7	15.8	13.5	13.3	6.9	4.2	3.4	5.5
女性	49.1	33.2	20.8	15.3	14.4	13.6	14.2	3.4	3.2	1.8	6.8
20歳代	40.8	23.0	27.2	23.8	20.2	18.7	10.3	7.7	3.7	2.8	1.7
30歳代	51.0	32.6	23.8	16.3	16.3	15.2	9.0	4.7	3.1	2.8	2.5
40歳代	52.2	32.2	23.9	16.7	13.6	12.7	14.3	5.9	3.0	2.9	3.3
50歳代	45.4	33.2	23.3	13.4	13.9	11.7	18.4	5.2	4.4	3.1	5.5
60歳代	40.5	36.5	16.9	18.4	14.7	13.1	13.1	4.4	3.9	2.1	10.9
70歳以上	34.8	33.2	13.1	14.2	11.8	12.6	12.4	2.9	3.6	2.9	22.6

（９）教育・文化について

① 生涯学習推進策（問 28）

あなたは、今後、市民の生涯を通じた学習活動を充実するために、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

生涯を通じた学習活動の振興のための取り組みとしては、体験学習機会の増大を求める声が 48.2% で最も多くなっています。このほかでは、小・中学校教育の充実、多様な社会教育施設の活用、公民館等での講座内容などの充実を求める声が比較的多くなっています。

男女別には、男性でスポーツクラブなど学校外での活動機会の充実、女性で小・中学校教育の充実を求める声が多くなっています。

年代別には、20 歳代で多様な社会教育施設の活用、学校外での活動機会の充実を求める声が多く、学齢期にあたる子どもを養育する人が多いと推測される 30～40 歳代で小・中学校教育の充実、新しい学校制度の採用などを求める声が多くなっています。また、50～70 歳以上で、体験学習機会の増大や公民館講座の充実を求める傾向が強くなっています。

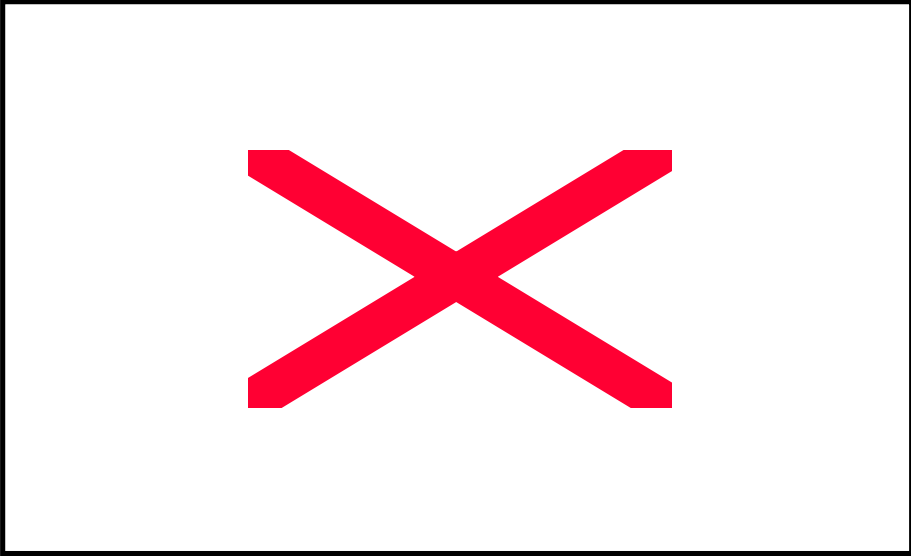
属性別集計表

単位：％

	体験学習 の機会を 増やす	小・中学校 教育の充 実	多様な社 会教育施 設の活用	公民館等 での講座 内容など の充実	新しい学 校制度の 採用	学校外で の活動機 会の充実	学校での 施設開 放、公開 講座開放	市内の大 学との連 携、協力	その他	無回答
全体	48.2	29.1	23.1	21.4	16.6	15.9	15.0	12.5	1.7	4.2
男性	49.3	26.1	22.4	20.5	17.5	19.2	14.6	14.6	1.8	3.1
女性	47.5	31.3	24.7	23.9	15.4	13.3	15.4	11.4	1.2	3.8
20歳代	45.0	27.8	31.3	14.0	14.7	24.7	11.2	15.5	2.0	1.3
30歳代	44.5	40.0	20.3	16.5	19.6	16.7	15.7	12.5	1.1	1.9
40歳代	43.4	33.6	25.2	19.0	21.8	14.0	16.3	14.1	2.2	1.1
50歳代	54.3	23.6	22.4	26.5	13.1	14.8	17.0	14.7	1.6	2.4
60歳代	50.2	25.7	22.3	27.4	14.8	16.4	16.3	9.5	1.2	5.2
70歳以上	48.6	23.5	18.9	23.3	16.2	8.7	10.7	6.7	2.7	16.0

② 市民文化の振興策（問 29）

あなたは、今後、市民文化の醸成に向けて、どのようなことが重要であると思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。



市民文化の醸成策としては、芸術文化の鑑賞機会を増やすこと、地域の文化の伝承・保存、市民の活動環境や仕組みの整備などが比較的多くなっています。

男女別には、男性で市民の活動環境や仕組みの整備を求める声が多く、女性で芸術文化の鑑賞機会の充実を求める声が多くなっています。

年代別には、20～40 歳代で芸術文化の鑑賞機会の充実や地域の文化の伝承・保存を求める声が多くなっています。また、50 歳代で市民の活動環境や仕組みづくり、70 歳以上で歴史的文化財の保存・活用を求める声が多くなっています。

属性別集計表

単位：％

	芸術文化の 鑑賞機会を 増やす	地域の文化 の伝承・保 存	市民の活動 環境や仕組 みの整備	市の歴史的 文化財の保 存・活用	周辺市町を 含めた催し の情報提供	市民の発表 等の場づく り	芸術家の成 長の支援	その他	無回答
全体	38.2	36.2	34.2	25.3	21.6	18.5	5.8	1.7	4.1
男性	34.2	38.4	37.7	26.4	21.7	18.8	5.8	2.3	2.9
女性	43.0	34.6	32.0	23.7	22.5	18.9	6.2	1.3	3.4
20歳代	41.5	40.0	28.2	25.7	18.0	18.3	7.5	2.7	2.5
30歳代	41.3	39.9	32.4	19.9	20.7	19.4	5.5	2.1	1.9
40歳代	42.3	38.1	36.2	20.7	21.8	19.6	5.9	1.6	1.8
50歳代	39.0	34.0	40.0	23.2	24.3	18.7	5.9	1.5	2.5
60歳代	33.8	32.4	36.1	28.2	25.5	18.7	4.7	1.0	6.4
70歳以上	31.5	33.5	27.5	38.4	17.3	14.0	5.3	0.9	11.8

(10) 産業や都市基盤について

① 産業振興方策（問 30）

市の将来を考えた場合、あなたはこれからどのような産業振興に力を入れていけば良いと思いますか。
次の中から2つまで選んで下さい。



産業振興策については、医療・福祉（介護）などのサービス産業や環境関連産業など市民生活密着型の産業振興を図るべきという意見が66.3%で最も多くなっています。

地区別には、大きな違いはみられないものの、B・D・I地区で農林業の生産性の向上や付加価値を高めるべきという意見が若干多くなっています。

男女別には、男性で先端技術を有する高い付加価値を持つ産業の育成、ベンチャー企業など新しい産業の育成を必要とする声が多く、女性で市民生活密着型の産業振興を必要とする声が多くなっています。

年代別には、20～40歳代で国際会議の招致やスポーツイベントなど都市的な観光の振興を必要とする声が多く、50～70歳以上で高い付加価値を持つ産業の育成、農林業の付加価値化などを必要とする声が多くなっています。

属性別集計表

単位：％

	市民生活密着 型の産業振興	高い付加価値 を持つ産業の 育成	都市的な観光 の振興	新しい産業の 育成	農林業の高付 加価値化	その他	無回答
全体	66.3	31.8	27.0	23.9	22.7	1.5	4.7
A地区	63.5	31.8	25.4	24.7	24.7	1.9	5.3
B地区	70.1	33.5	24.2	21.1	25.5	1.7	3.8
C地区	67.4	33.5	27.1	22.0	24.0	1.5	4.6
D地区	64.5	32.5	26.5	24.3	25.2	1.3	4.0
E地区	64.5	32.4	29.2	24.3	19.4	1.6	5.5
F地区	66.3	32.6	27.8	24.3	19.1	1.1	5.0
G地区	65.8	31.2	28.5	23.5	21.0	2.5	5.0
H地区	67.0	29.6	27.9	27.9	18.9	0.9	4.5
I地区	67.9	29.2	26.2	23.3	25.2	1.0	5.1
男性	60.5	41.2	27.2	29.8	20.1	1.3	3.1
女性	72.7	24.3	28.0	19.3	24.2	1.4	4.9
20歳代	65.8	28.7	35.2	28.0	14.0	1.7	2.8
30歳代	68.2	28.3	30.4	22.5	18.4	1.5	2.0
40歳代	70.6	28.2	30.9	24.6	21.8	1.4	2.6
50歳代	67.0	32.0	24.8	26.2	26.7	1.6	3.5
60歳代	63.9	38.0	24.2	23.7	26.8	1.2	5.6
70歳以上	63.0	36.2	15.8	16.6	26.0	2.0	13.8

② 都市基盤整備の重点（問 31）

あなたは、都市基盤の整備について、どのようなことに重点的に取り組む必要があると思いますか。
次の中から2つまで選んで下さい。



都市基盤整備の重点については、身近な生活道路の整備を求める声が 37.4%で最も多くなっています。このほか、公共交通網の整備、公園や緑地の整備が比較的多くなっています。

地区別には、A地区で公共下水道、D地区で生活道路や公共下水道、E地区で河川整備、F地区で生活道路や公共交通網、G地区で公園・緑地整備、I地区で公共交通網や公共下水道などの整備・充実を求める声が多くなっています。

男女別には、男性で広域的な幹線道路、女性で生活道路や災害対策施設の整備を求める声が多くなっています。

年代別には、20歳代で公共交通網の整備を求める声が多いほか、20～40歳代で情報通信網の整備、40～60歳代で公共下水道の整備、70歳以上で災害対策施設の整備を求める声が多くなっています。

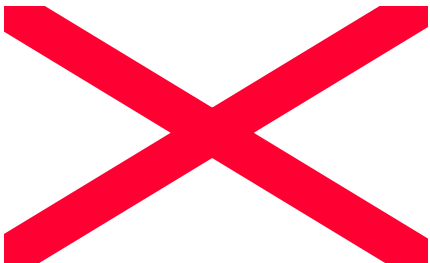
属性別集計表

単位: %

	身近な 生活道 路の整 備	公共交 通網の 整備	公園や 緑地の 整備	災害対 策施設 の整備	公共下 水道の 整備	ライフ ラインの質 の向上	市民向 け利便 施設の 整備	広域的 な幹線 道路の 整備	市内河 川の総 合的整 備	情報通 信網の 整備	その他	無回答
全体	37.4	25.7	22.7	19.2	18.6	13.9	13.5	12.5	11.9	11.0	1.5	3.1
A地区	39.6	25.3	17.4	15.1	42.5	12.3	10.2	7.7	11.9	6.5	0.5	3.3
B地区	37.5	25.3	24.4	21.1	10.1	16.6	14.7	12.6	11.4	12.2	2.1	2.9
C地区	37.2	21.8	24.9	20.0	8.1	12.1	15.8	16.1	16.1	12.1	2.0	3.1
D地区	41.1	24.3	18.8	16.3	30.3	14.8	9.1	12.6	11.5	10.1	1.6	2.0
E地区	35.1	22.4	25.5	21.0	6.7	15.1	14.3	12.9	18.4	12.9	1.4	4.3
F地区	41.5	31.1	20.2	20.0	14.1	11.5	14.8	12.8	11.1	11.1	1.5	3.0
G地区	36.5	25.2	30.0	17.5	11.9	14.2	16.0	15.2	8.1	11.7	1.7	2.7
H地区	30.6	26.6	26.2	24.5	14.5	12.6	17.2	11.9	10.4	10.9	1.5	3.0
I地区	37.8	30.1	17.0	17.6	26.2	15.7	9.6	11.0	8.2	11.7	1.4	3.5
男性	35.7	26.0	22.7	15.4	19.0	14.0	11.4	15.9	13.0	15.8	2.0	2.1
女性	39.6	26.7	22.0	23.5	17.8	14.5	14.5	9.5	11.6	7.4	1.1	2.8
20歳代	34.5	34.5	22.7	19.2	10.2	12.2	14.5	14.7	9.5	16.8	1.7	1.7
30歳代	39.3	26.5	27.7	14.4	13.0	15.1	13.7	13.5	8.7	16.1	2.5	1.4
40歳代	38.0	26.8	22.6	17.3	20.5	12.7	12.5	13.7	13.3	12.0	0.8	1.9
50歳代	37.2	23.6	20.1	19.1	23.5	15.3	13.2	12.4	15.3	8.8	1.8	2.3
60歳代	38.4	20.8	23.8	21.3	21.7	14.4	14.1	11.4	14.0	7.5	1.0	3.5
70歳以上	35.7	25.3	18.9	27.5	18.6	12.9	11.8	8.7	8.7	4.6	1.6	9.5

③ 交通対策（問 32）

あなたは、交通問題に関して、どのような施策に重点的に取り組む必要があると思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。



交通問題への対応については、幹線道路を整備し、市内の渋滞解消を図るべきという意見が 54.8%で最も多くなっています。これに続いて鉄道の混雑解消を求める声も多くなっています。

地区別には、B・C地区で幹線道路整備による渋滞解消を求める声がより多くなっているほか、H地区で鉄道混雑の解消、I地区で新交通システムなど市内交通の充実を求める声が多くなっています。

男女別には、男性で新交通システムなど市内交通の充実、女性で鉄道混雑の解消を求める声が多くなっています。

年代別には、20歳代で鉄道混雑解消や地下鉄等東京へのアクセス充実を求める声が多く、30～40歳代で幹線道路整備による渋滞解消、60～70歳以上でバス輸送の充実を求める声が多くなっています。

属性別集計表

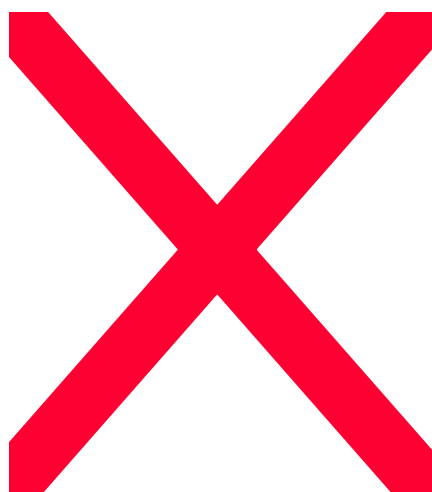
単位：%

	幹線道路を整備し市内の渋滞解消	鉄道の混雑解消	新交通システムなど市内交通の充実	地下鉄整備など東京へのアクセス充実	バス輸送の充実	国際空港へのアクセスを容易にする	高速道路の延伸の促進	その他	無回答
全体	54.8	39.5	24.7	24.0	22.3	7.0	4.8	3.4	3.7
A地区	55.8	34.4	26.0	27.0	24.9	6.0	5.6	4.0	3.0
B地区	58.3	43.8	20.6	24.4	17.5	7.4	7.0	2.7	3.4
C地区	58.2	37.9	25.3	24.0	20.0	6.2	6.6	4.0	3.7
D地区	53.2	40.0	26.3	26.1	21.8	6.2	5.7	3.1	4.0
E地区	54.3	42.4	25.3	16.5	23.9	7.3	3.9	3.7	4.7
F地区	53.7	37.2	26.3	25.7	22.0	8.3	3.9	2.6	3.9
G地区	53.1	41.3	23.3	24.6	22.3	9.0	2.7	3.7	2.7
H地区	50.2	46.8	21.9	23.6	23.6	5.7	4.3	4.0	2.6
I地区	56.0	32.1	27.4	23.5	25.0	7.2	3.3	2.9	5.3
男性	57.4	36.5	30.3	24.5	20.0	6.3	5.4	3.4	2.8
女性	53.7	41.6	21.4	23.8	23.7	7.7	3.9	2.9	3.4
20歳代	46.5	48.3	16.7	31.8	16.5	8.3	6.3	5.3	2.2
30歳代	59.0	39.0	21.3	27.2	17.9	6.0	7.7	3.9	1.5
40歳代	59.2	41.5	26.3	24.4	18.0	7.2	5.6	2.7	1.6
50歳代	56.7	38.9	27.5	23.1	21.7	7.5	4.2	3.2	2.5
60歳代	55.2	34.7	30.3	20.4	26.3	8.6	2.7	3.2	4.9
70歳以上	47.9	35.2	24.0	18.2	36.6	3.8	1.6	2.6	10.9

(11) 環境保全や防災対策について

① 環境保全対策（問 33）

あなたは、環境保全に関して、力を入れるべき施策はどのようなことだと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで下さい。



環境保全対策については、環境問題に対する関心の高まりや情報の充実を背景に意見が多様化する傾向がみられます。そのなかでも、渋滞対策など公害の少ない交通環境の整備、自然環境の保全・整備を求める声が多くなっており、大気汚染等の監視・指導、ごみの分別・収集の指導、事業者に対する環境保全の指導、ダイオキシン等有害化学物質対策などを求める声も比較的多くなっています。このほか、省エネ及び自然エネルギー利用、市民リサイクル運動支援、河川等水環境の保全なども少なくありません。

地区別には、A・E地区で河川等水環境整備、C・G・H地区で歴史的町並みや美しい景観の保全、D地区で自然環境保全・整備や河川等水環境整備、F地区で有害化学物質対策などがそれぞれ多くなっています。

男女別には、女性で有害化学物質対策や環境にやさしい製品の購入促進という意見が特に多くなっています。

年代別には、20～30歳代で交通環境整備やごみの分別・収集の指導、市民リサイクル運動支援などを求める声が多くなっています。

属性別集計表 (主要な選択肢のみ)

単位: %

	境の整備	公害の少ない交通環境の整備	自然環境の保全整備	大気汚染等の監視と指導	ごみの分別・収集の指導	事業者等に対する環境保全の指導	有害化学物質対策	省エネ対策と自然エネルギー利用	市民のリサイクル運動への支援	河川などの水環境の保全	歴史的街並みや美しい景観の保全	環境にやさしい製品の購入促進	環境に配慮した公共事業の実施	環境教育の推進	環境条例など枠組みの整備	動植物など生態系の活動への支援	市民などの環境保全活動への支援	市としてのISO14001導入	環境保全のための情報提供
全体	29.0	27.9	25.1	24.5	22.4	22.3	18.6	18.3	16.3	12.9	12.1	11.0	7.4	7.3	6.9	5.5	3.6	3.3	
A地区	28.6	26.8	23.5	20.7	21.9	21.4	17.7	19.5	20.9	11.8	13.3	10.2	8.1	6.8	7.7	5.8	4.4	4.0	
B地区	30.9	29.1	25.5	25.7	23.6	25.1	19.8	19.8	14.1	11.0	12.0	11.8	6.5	5.1	5.7	5.3	2.9	2.7	
C地区	30.4	26.6	25.5	24.7	22.2	20.5	18.5	19.6	16.3	15.0	9.9	9.9	7.5	7.9	5.9	5.1	4.8	3.8	
D地区	31.3	33.1	24.5	22.9	21.9	21.9	18.8	13.9	19.9	13.3	9.9	9.9	7.5	7.3	6.4	4.4	4.8	2.6	
E地区	26.5	25.1	23.3	27.5	19.6	20.8	18.2	19.6	19.8	13.3	14.1	11.0	8.4	9.4	5.1	5.5	2.7	3.7	
F地区	30.7	22.0	28.3	24.6	23.7	25.2	16.5	19.8	14.3	10.9	10.2	11.7	7.0	8.0	7.2	6.1	3.0	2.2	
G地区	26.0	31.3	24.2	23.8	23.8	23.3	18.5	16.2	11.7	14.6	13.5	12.1	9.0	6.7	8.3	5.8	3.7	3.3	
H地区	29.8	26.2	25.1	27.0	22.3	21.7	19.1	18.1	14.5	14.9	12.6	10.6	7.0	6.2	8.7	4.9	2.5	3.0	
I地区	27.2	30.1	26.2	23.7	22.7	20.9	20.2	18.2	14.1	10.6	12.9	11.9	5.9	8.0	7.2	6.7	3.1	4.5	
男性	32.2	31.9	23.1	23.5	23.8	17.9	16.6	17.6	19.1	13.6	7.9	12.0	8.0	9.4	6.6	5.4	5.4	3.6	
女性	27.6	25.2	26.0	25.7	22.4	26.1	20.2	19.3	13.5	12.6	15.3	10.6	7.0	5.5	7.4	5.2	2.1	2.9	
20歳代	32.2	25.8	22.2	27.8	22.0	20.2	25.0	19.0	13.3	13.2	11.0	10.0	6.8	6.8	10.0	5.7	5.5	3.5	
30歳代	34.2	24.9	23.2	29.2	22.5	27.2	18.3	21.4	13.9	10.0	12.2	8.4	6.6	6.6	6.1	4.9	3.8	3.1	
40歳代	29.0	27.6	25.6	21.4	22.6	22.3	23.3	16.5	16.2	14.3	11.2	12.5	8.0	7.3	8.3	4.2	4.9	3.7	
50歳代	29.8	30.7	26.2	21.0	21.3	21.7	18.0	17.1	17.7	15.8	11.9	12.0	7.1	8.6	7.4	5.0	3.2	3.1	
60歳代	25.4	31.3	25.3	22.1	24.0	22.9	16.8	16.9	19.3	10.6	14.0	11.3	8.5	9.0	5.4	6.3	2.8	3.2	
70歳以上	23.3	27.1	28.1	26.6	20.9	17.7	10.7	18.2	15.8	12.9	12.4	10.7	6.9	2.9	4.6	7.1	1.5	4.0	

② 地震への備え（問 34）

地震などの災害に備えて、あなたはどのようなことをしていますか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んで下さい。



災害対策に対する市民の取り組みの現状については、懐中電灯、ラジオ、救急箱など用意をしている人が 56.9%で最も多く、火元の管理、非常食料や飲料水の用意、避難路・避難場所の確認などを行っている人も比較的多くなっています。しかし、防災訓練への参加は 13.5%にとどまり、特に何もしていない人も 16.0%となっており、一層の意識啓発や防災訓練への参加促進が必要となっています。

地区別には、D・E・F地区などで防災訓練の参加が比較的多くなっているものの、15～17%程度にとどまっています。また、特に何もしていない人の比率はH地区で最も多くなっています。

男女別には、女性で火元の管理が多くなっているほかは大きな差異はみられません。

年代別には、防災訓練への参加は、60～70 歳以上で多くなっている一方、20～30 歳代では特に何もしていない人が多く、若者への意識啓発が重要であることがわかります。

属性別集計表

単位: %

	懐中電 灯、ラジ オ、救急 箱など	コンロ、 暖房な どの火 元の管 理	非常食 料や飲 料水の 用意	避難路・ 避難場 所の確 認	消化器、 消火用 バケツ 等の用 意	家族との 連絡方 法の取 り決 め	現金や 貴重品 の整理	家具の 転倒防 止器具 などの 取付	特に何も してい ない	防災訓 練への 参加	その他	無回答
全体	56.9	40.2	35.8	30.6	26.1	25.8	24.3	18.5	16.0	13.5	0.6	1.8
A地区	57.2	41.8	36.5	27.4	33.5	22.1	22.3	18.1	14.7	12.5	0.4	1.6
B地区	56.2	38.7	35.8	27.8	26.7	24.8	26.1	18.9	16.0	11.0	0.2	2.1
C地区	59.5	43.0	39.4	32.6	30.2	28.6	23.3	19.2	16.3	13.0	0.5	1.5
D地区	55.2	40.4	35.6	30.2	30.9	26.1	24.1	18.8	15.0	15.0	0.7	1.6
E地区	57.1	39.0	34.5	33.3	21.6	26.3	27.3	21.4	16.5	16.9	0.8	2.2
F地区	53.5	40.0	34.3	35.2	21.7	27.8	23.0	16.1	16.7	15.2	0.7	2.2
G地区	60.6	38.5	39.0	30.0	24.4	25.4	21.2	18.3	14.6	11.2	0.8	1.3
H地区	54.7	37.0	31.1	31.7	20.0	26.4	25.3	17.0	18.9	13.8	0.6	0.9
I地区	58.1	43.6	35.8	28.4	24.1	25.0	26.4	18.6	15.5	13.3	1.0	2.9
男性	57.9	35.8	35.5	30.2	26.6	23.7	22.9	18.7	17.2	15.4	0.6	1.9
女性	55.5	43.8	35.3	31.8	25.7	27.4	24.7	17.6	15.9	12.0	0.7	1.0
20歳代	32.8	32.0	23.3	20.2	13.2	13.7	19.7	11.2	33.2	3.7	0.7	1.0
30歳代	44.5	37.9	27.1	24.4	17.6	20.0	21.9	16.1	21.6	6.8	0.7	1.2
40歳代	58.4	41.0	35.6	30.3	25.9	28.8	17.6	19.7	15.2	14.4	0.5	0.5
50歳代	61.2	43.1	37.6	33.4	30.3	30.0	21.6	18.2	14.4	14.2	0.3	1.4
60歳代	70.1	44.4	44.3	36.6	33.9	30.8	30.3	21.9	7.9	21.5	0.7	2.1
70歳以上	73.6	40.1	47.0	37.2	34.6	30.2	38.8	24.8	4.9	19.1	1.1	5.6

③ 災害に強いまちづくりの重点（問 35）

あなたは、今後、災害に強いまちづくりを進めていくため、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。



災害に強いまちづくりのための施策としては、ライフライン（水・電気・ガス・電話など生活の維持に必要な供給網のこと）の安全性強化、非常食等の備蓄防災倉庫の整備が強く求められており、分かりやすい避難場所の設定も重要だとしています。一方、自主的な防災活動を育てる防災訓練については、少ない結果となっています。

地区別には、A・I地区で区画整理による宅地等の整備、B・G地区でライフラインの安全性強化、E地区でライフラインの安全性強化や備蓄防災倉庫の整備、F地区で備蓄防災倉庫の整備や分かりやすい避難場所の設定、防災訓練の充実などが多くなっています。

男女別には、概ね男性で災害が大きくならないような土地利用や都市整備に関する施策を重視する傾向がある一方、女性は備蓄防災倉庫の整備など、災害発生後の対策を重視する傾向がみられます。

年代別には、20～30歳代で備蓄防災倉庫の整備、40歳代でライフラインの安全性強化、60～70歳以上で分かりやすい避難場所の設定を求める声が多くなっています。

属性別集計表

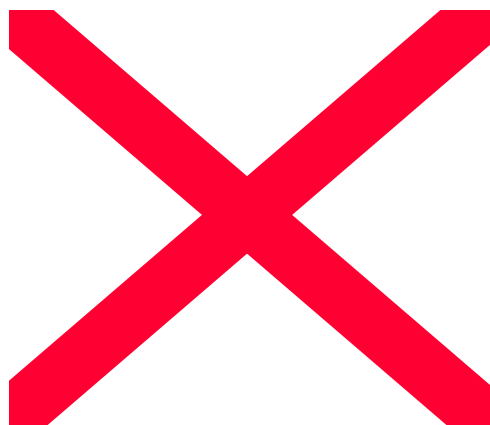
単位: %

	ライフラインの安全性強化	非常食等の備蓄防災倉庫の整備	分かりやすい避難場所の設定	区画整理による宅地等の整備	防災無線など情報システムの確立	耐震防火用水等の整備	農地保全等による延焼しゃ断帯	再開発による建物の共同不燃化	防災訓練の充実	4車線以上の道路の整備	その他	無回答
全体	38.8	37.7	29.2	17.4	14.1	12.4	12.2	9.7	6.9	5.9	1.0	3.9
A地区	36.7	37.7	28.8	21.4	12.5	11.4	16.8	8.8	6.3	4.4	0.9	3.9
B地区	42.7	35.4	28.4	18.1	13.7	12.8	12.0	10.3	6.5	7.0	1.0	3.2
C地区	37.5	39.9	31.0	15.8	17.4	9.9	9.5	9.0	6.6	6.4	0.7	4.6
D地区	38.2	32.9	29.4	18.5	13.7	11.2	13.0	11.3	6.8	6.6	1.3	4.6
E地区	41.8	40.0	25.7	14.5	15.9	14.3	12.2	9.2	7.6	4.1	0.2	3.7
F地区	35.4	41.3	32.2	15.2	13.9	12.8	9.1	7.4	10.0	6.3	1.7	3.5
G地区	41.9	34.8	27.3	17.7	12.7	12.9	14.0	11.9	6.9	6.0	0.8	3.7
H地区	37.5	38.7	31.1	14.7	15.5	14.5	10.4	10.0	5.8	5.1	1.5	3.6
I地区	37.8	38.9	29.0	20.5	11.9	11.9	12.1	9.4	6.1	7.2	1.2	4.3
男性	42.1	34.2	27.1	20.0	12.6	9.9	15.4	11.6	7.2	7.4	1.2	2.8
女性	37.2	41.8	29.7	15.3	16.4	14.5	10.4	8.0	6.6	4.7	0.9	3.3
20歳代	38.5	43.3	31.2	13.5	14.2	14.5	9.2	9.7	5.8	6.8	1.3	1.7
30歳代	41.7	44.6	28.2	17.7	13.9	14.6	6.4	7.3	6.4	4.9	1.5	1.8
40歳代	45.9	37.8	23.8	19.6	13.7	12.2	12.1	10.1	5.6	6.1	0.8	2.7
50歳代	40.3	30.5	27.8	21.8	15.1	11.2	16.0	10.9	6.3	6.9	1.1	3.0
60歳代	35.2	35.6	30.9	16.9	15.6	10.5	15.5	10.6	9.2	5.0	0.4	5.2
70歳以上	29.9	38.1	35.5	10.6	12.4	11.1	12.8	9.1	8.6	4.9	0.9	10.2

(12) 市民と行政のコミュニケーションや行政運営について

① 市政情報の入手状況（問 36）

あなたは、市の情報を得る手段として、何をどの程度利用していますか。次の1～8のそれぞれについて、該当するものを1つ選んで下さい。



市からの情報入手手段としては、市報さいたまなど市の情報紙の利用が一般的となっており、新聞やタウン紙、自治会の掲示板や回覧板なども比較的多く利用されています。また、テレビ・ラジオなどの媒体や家族・知人から得られる口コミ情報も重要な役割を果たしていると言えます。なお、情報機器の利用状況の設問におけるインターネットの普及率（42.8%）に対して、市のホームページ利用はあまり進んでおらず、より積極的な利用PRが必要です。

地区別には、A地区では、自治会の掲示板や回覧板での情報取得が多いほか、E地区で市報による情報取得が多くなっています。

男女別には、女性の方が市報等、自治会掲示板・回覧板等で情報を取得している様子が伺えます。

年代別には、60～70歳以上で市報等、50～70歳以上で自治会掲示板・回覧板などで情報を取得していることが多く、総じて、女性・高齢者ほど市からの情報を積極的に入手している様子が伺えます。

1.市が発行する情報紙・属性別集計表

単位: %

	よく利用する	たまに利用する	利用しない	無回答
全体	42.9	43.9	7.6	5.6
A地区	42.8	43.0	8.4	5.8
B地区	43.4	45.7	5.7	5.1
C地区	44.1	43.6	6.8	5.5
D地区	41.1	46.6	6.9	5.3
E地区	46.7	37.5	9.2	6.7
F地区	40.7	46.3	8.0	5.0
G地区	41.9	45.2	7.7	5.2
H地区	42.1	44.2	8.3	5.5
I地区	43.4	43.2	7.2	6.1
男性	40.2	48.1	7.8	3.9
女性	46.1	42.4	6.8	4.8
20歳代	29.8	48.8	19.7	1.7
30歳代	43.2	46.3	8.7	1.8
40歳代	42.0	49.1	6.4	2.4
50歳代	42.6	47.5	6.0	3.9
60歳代	50.4	37.7	3.6	8.3
70歳以上	47.5	31.9	2.4	18.2

2.新聞・タウン紙など印刷媒体・属性別集計表

単位: %

	よく利用する	たまに利用する	利用しない	無回答
全体	21.7	48.3	15.8	14.2
A地区	22.3	45.6	16.7	15.4
B地区	22.9	50.1	14.7	12.4
C地区	21.8	50.7	14.3	13.2
D地区	22.3	45.3	16.6	15.7
E地区	20.2	52.7	11.4	15.7
F地区	18.0	48.3	19.1	14.6
G地区	21.0	51.3	14.2	13.5
H地区	22.5	45.1	19.4	13.0
I地区	24.3	45.8	16.0	13.9
男性	20.0	51.3	17.3	11.5
女性	25.0	48.6	14.5	12.0
20歳代	22.3	51.2	23.7	2.8
30歳代	23.9	52.4	19.6	4.1
40歳代	22.6	55.5	16.6	5.3
50歳代	21.5	51.7	15.0	11.8
60歳代	21.3	44.2	10.8	23.7
70歳以上	17.3	32.1	8.9	41.7

3.テレビ・ラジオなど放送媒体・属性別集計表

単位：％

	よく利用する	たまに利用する	利用しない	無回答
全体	13.0	35.3	37.5	14.3
A地区	15.1	31.9	37.7	15.3
B地区	13.1	35.8	39.2	11.8
C地区	12.3	37.4	35.7	14.7
D地区	13.2	35.3	37.3	14.3
E地区	11.4	36.5	36.7	15.5
F地区	11.3	34.8	39.1	14.8
G地区	11.0	38.3	36.9	13.8
H地区	13.6	33.8	40.0	12.6
I地区	15.5	33.9	34.8	15.9
男性	13.9	36.9	37.4	11.8
女性	12.1	36.0	40.1	11.9
20歳代	11.2	37.8	47.8	3.2
30歳代	10.7	36.4	48.5	4.4
40歳代	9.1	39.6	45.3	6.0
50歳代	13.0	35.8	38.9	12.2
60歳代	17.5	33.0	25.9	23.6
70歳以上	16.8	27.5	15.3	40.4

4.家族・知人など、人から聞く・属性別集計表

単位：％

	よく利用する	たまに利用する	利用しない	無回答
全体	11.8	51.8	21.4	15.0
A地区	10.7	53.9	19.1	16.3
B地区	11.4	54.7	21.0	13.0
C地区	11.5	52.0	21.8	14.7
D地区	12.8	53.0	18.8	15.4
E地区	11.2	51.2	21.2	16.5
F地区	10.9	48.3	24.3	16.5
G地区	14.0	51.0	21.3	13.7
H地区	11.7	50.8	23.8	13.8
I地区	12.3	50.5	21.7	15.5
男性	10.0	50.4	27.2	12.5
女性	13.1	56.3	18.0	12.6
20歳代	12.8	53.8	30.0	3.3
30歳代	14.5	56.8	23.9	4.8
40歳代	10.6	58.1	25.7	5.6
50歳代	10.4	52.9	23.6	13.1
60歳代	11.1	50.0	14.1	24.8
70歳以上	11.3	36.6	9.8	42.3

5.自治会の掲示板・回覧板などを見る・属性別集計表

単位：％

	よく利用する	たまに利用する	利用しない	無回答
全体	26.2	37.5	23.4	12.9
A地区	33.2	36.8	16.7	13.3
B地区	26.5	37.5	25.0	11.0
C地区	24.4	40.1	23.8	11.7
D地区	26.0	34.4	26.5	13.2
E地区	26.3	35.7	23.5	14.5
F地区	24.1	37.4	24.1	14.3
G地区	23.1	40.0	24.6	12.3
H地区	23.2	38.7	25.8	12.3
I地区	28.2	36.6	21.1	14.1
男性	24.8	38.5	25.8	10.8
女性	28.9	38.4	22.0	10.6
20歳代	11.7	32.2	52.3	3.8
30歳代	17.7	44.1	33.7	4.6
40歳代	27.1	45.6	22.2	5.2
50歳代	30.1	42.4	17.8	9.7
60歳代	35.8	31.1	10.5	22.6
70歳以上	33.3	23.3	7.8	35.5

6.市のホームページを見る・属性別集計表

単位：％

	よく利用する	たまに利用する	利用しない	無回答
全体	3.7	14.7	66.5	15.0
A地区	3.2	16.5	62.8	17.5
B地区	3.2	14.5	69.7	12.6
C地区	6.4	15.8	63.6	14.3
D地区	3.7	13.7	68.0	14.6
E地区	3.1	13.7	66.7	16.5
F地区	2.8	13.0	69.1	15.0
G地区	3.1	16.9	66.3	13.7
H地区	3.6	13.8	68.5	14.2
I地区	4.3	14.1	64.8	16.8
男性	4.1	16.9	66.1	12.8
女性	3.1	13.0	71.3	12.5
20歳代	2.0	11.7	82.8	3.5
30歳代	1.8	17.3	76.3	4.6
40歳代	1.8	14.0	79.0	5.2
50歳代	2.8	14.5	70.2	12.4
60歳代	6.0	14.7	52.7	26.6
70歳以上	9.5	15.7	33.0	41.9

7.説明会など地域での集会に参加する・属性別集計表

単位：％

	よく利用する	たまに利用する	利用しない	無回答
全体	2.1	13.9	69.2	14.8
A地区	3.5	16.7	63.5	16.3
B地区	1.3	13.1	73.1	12.4
C地区	2.6	13.6	69.4	14.5
D地区	2.4	15.0	68.0	14.6
E地区	1.6	13.1	68.6	16.7
F地区	2.2	12.6	69.8	15.4
G地区	0.8	13.5	71.5	14.2
H地区	1.7	10.2	74.3	13.8
I地区	3.1	16.6	64.8	15.5
男性	2.9	15.3	69.4	12.3
女性	1.5	13.2	73.1	12.2
20歳代	0.3	2.2	94.2	3.3
30歳代	0.4	6.0	89.2	4.5
40歳代	0.1	13.9	80.3	5.7
50歳代	1.9	17.2	68.9	12.0
60歳代	4.6	24.2	45.7	25.4
70歳以上	6.2	16.6	34.8	42.4

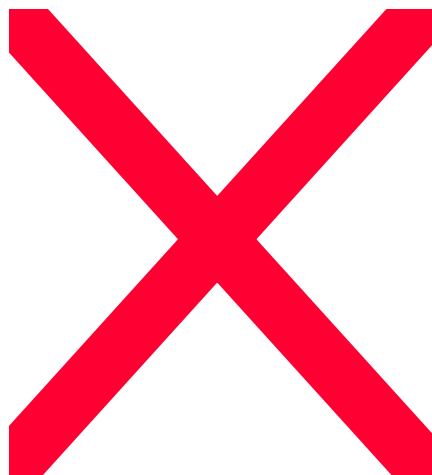
8.その他・属性別集計表

単位：％

	よく利用する	たまに利用する	利用しない	無回答
全体	0.5	1.1	17.5	81.0
A地区	0.7	1.8	15.4	82.1
B地区	0.6	1.0	20.0	78.5
C地区	0.7	0.9	18.5	79.9
D地区	0.5	1.5	17.6	80.4
E地区	0.4	0.6	18.4	80.6
F地区	0.9	0.9	15.7	82.6
G地区	0.0	1.2	15.8	83.1
H地区	0.4	1.3	17.5	80.8
I地区	0.0	0.4	18.4	81.2
男性	0.4	1.4	19.6	78.5
女性	0.4	0.8	16.5	82.3
20歳代	0.0	0.3	29.0	70.7
30歳代	0.5	1.2	20.7	77.6
40歳代	0.3	1.0	21.6	77.1
50歳代	0.6	1.2	13.9	84.3
60歳代	0.6	1.1	12.8	85.5
70歳以上	0.9	1.6	9.8	87.6

② 充実を望む情報（問 37）

あなたが、市から「持つと提供して欲しい」と思う情報はどのようなものですか。次の中から3つまで選んで下さい。



市から持つと提供して欲しい情報については、保健・健康に関する情報が最も多いほか、市の施設利用についての情報、イベントや催しの情報、福祉サービスの情報などを求める声が多くなっています。

地区別には、C地区でイベントや催しの情報、D・G地区で市の施設利用の情報、E地区で保健・健康情報、H地区で各種相談窓口や申請方法、I地区で市の施策や計画の情報などをそれぞれ求める傾向が強く、転入世帯の多い地区や大きな開発が進んでいる地区の状況などを反映している面も伺えます。

男女別には、男性で市の施策や計画の情報、行財政運営状況の情報など、まちづくりや行政そのものの情報を求める傾向があるのに対し、女性は保健・健康情報、福祉サービス情報など、市民生活に直結した情報を求めていることがわかります。

年代別には、20歳代でイベントや催しの情報、納税や確定申告などの情報をより必要としており、30歳代でイベント・催しの情報や学校情報、40歳代で市施策・計画の情報や学校情報、50歳代で福祉サービス情報や市施策・計画情報、60歳代で保健・健康情報や福祉サービス情報、市施策・計画情報、70歳以上で保健・健康情報や福祉サービス情報などをそれぞれ求める傾向が強くなっています。

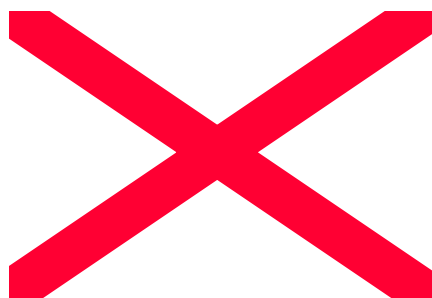
属性別集計表 (主要な選択肢のみ)

単位: %

	保健 健康	市の施設利用	イベントや催し	福祉サービス	各種相談窓口や 申請方法	市民講座	市の施策や計画 の紹介	納税や確定申告 など	源回収	ごみの分別や資 組みや公害	環境保全の取り 組	学校教育	地域のサークル 活動	況	行財政運営の状 況	地域のボランテ ィア活動	防災	情報	市議会に関する 計、調査	市の各種の統
全体	30.1	28.5	27.9	22.4	18.3	17.1	17.1	16.1	14.6	13.5	10.6	10.5	9.9	8.8	7.9	6.8	4.0			
A地区	28.4	26.3	29.5	23.3	19.3	15.8	17.9	16.1	12.5	14.0	10.4	11.8	8.2	9.1	8.8	8.1	4.4			
B地区	29.5	24.4	29.5	21.1	19.4	16.4	19.8	17.9	17.7	12.2	11.0	10.7	8.6	7.6	7.6	6.5	4.6			
C地区	28.0	28.6	30.0	25.5	17.9	18.5	18.5	13.9	13.2	15.4	10.3	11.4	9.5	8.1	8.2	7.1	3.1			
D地区	25.6	31.3	27.8	23.4	16.5	19.6	19.0	16.1	12.2	12.1	7.3	10.4	12.6	9.7	7.9	7.9	4.0			
E地区	35.3	25.1	28.2	21.8	16.3	15.9	17.5	15.3	15.9	13.9	10.4	9.6	11.4	8.8	7.1	8.2	4.7			
F地区	32.6	29.8	25.0	19.1	16.3	14.3	13.3	19.1	15.0	15.0	11.7	9.3	9.1	8.7	9.8	6.1	4.6			
G地区	31.5	31.9	29.8	24.4	18.8	18.5	13.1	15.6	14.0	12.1	9.8	10.4	9.8	10.2	6.7	4.8	4.0			
H地区	31.9	29.8	24.7	20.4	21.1	17.9	13.4	15.3	15.8	14.3	13.0	10.8	8.9	9.8	8.5	5.5	4.0			
I地区	28.8	29.9	26.0	21.9	18.6	16.6	20.7	16.2	15.3	12.7	11.9	10.0	10.6	7.4	7.0	6.8	3.1			
男性	27.5	29.1	28.2	18.5	18.2	14.8	22.8	18.3	14.5	14.2	8.3	9.4	13.5	8.6	8.9	9.5	5.9			
女性	31.6	28.4	29.4	24.6	19.6	19.6	12.4	15.2	15.1	13.6	12.5	11.8	7.7	9.4	7.1	3.5	2.5			
20歳代	27.2	29.5	33.0	11.3	23.7	12.2	13.0	23.8	17.2	11.0	7.7	12.8	10.2	9.0	6.7	4.8	8.8			
30歳代	34.2	32.2	32.9	12.4	18.4	15.9	11.9	15.2	14.0	12.7	26.9	11.0	8.6	6.2	5.2	3.2	2.8			
40歳代	24.8	30.1	29.4	16.7	20.1	17.0	19.0	12.8	15.4	12.2	20.8	11.0	9.1	9.5	8.3	6.8	3.9			
50歳代	24.3	25.8	25.8	28.4	19.0	21.8	21.2	13.6	13.5	17.0	3.1	11.8	12.4	11.4	7.8	9.0	4.2			
60歳代	34.9	28.1	27.4	29.4	14.6	18.7	20.3	15.7	12.3	15.8	1.8	8.9	10.8	9.5	9.0	7.3	3.2			
70歳以上	36.6	26.2	18.0	36.1	14.9	12.8	15.7	18.8	16.9	10.4	2.2	6.6	6.9	6.6	12.0	8.4	2.6			

③ 有効な情報提供手段（問 38）

あなたは、今後、市の情報を得る手段として、どの方法が良いと思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。



今後、市からの情報提供媒体として望むものについては、現状利用と同じく市発行の情報紙（市報など）が圧倒的に多く、81.6%となっています。このほか、自治会掲示板・回覧板も少なくありません。

地区別にみても、同様の傾向がみられますが、G・H・I地区ではCATVなどの地域メディアを求める声も比較的多くなっています。

男女別には、男性でテレビ・ラジオといったマスメディアや新たな地域メディアを求める声が多い一方、女性で市報や回覧板などを重視する傾向があります。

年代別には、20～30歳代で新聞等の印刷媒体、駅・公共施設での電光掲示板を求める声が多く、50～70歳以上で回覧板を重視する傾向があります。

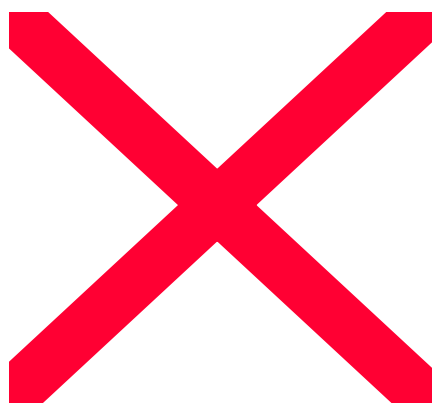
属性別集計表

単位：％

	市が発行 する情報 紙	自治会の 掲示板・回 覧板など	新聞・タウ ン紙など 印刷媒体	テレビ・ラ ジオなど 放送媒体	駅や公共 施設など での電光 掲示板	CATVな どの地域 メディア	その他	説明会な ど地域で の集会	家族・知人 などの口 コミ	無回答
全体	81.6	35.3	24.1	12.9	11.4	9.9	4.5	3.2	1.6	3.5
A地区	82.1	44.0	17.5	12.1	10.9	8.6	3.5	4.4	0.9	4.2
B地区	82.3	32.0	26.5	16.0	11.8	9.0	5.3	3.2	1.5	2.5
C地区	81.3	36.8	22.2	11.2	12.3	8.6	4.4	3.5	1.6	3.7
D地区	81.2	34.6	25.2	15.2	9.9	8.6	4.6	2.9	0.7	4.2
E地区	82.7	35.7	24.1	12.4	11.0	9.0	4.7	3.5	2.0	3.5
F地区	81.1	35.4	26.5	14.3	10.9	8.5	3.3	3.5	2.6	3.3
G地区	82.7	31.3	26.3	9.8	12.3	11.2	5.6	2.5	1.7	2.9
H地区	80.9	34.9	21.9	11.1	15.1	12.1	4.5	2.3	1.1	3.0
I地区	80.0	32.1	27.8	13.9	8.6	13.3	4.1	2.5	2.7	4.3
男性	79.0	31.9	24.3	14.9	11.8	13.1	5.9	3.7	1.6	3.1
女性	85.8	37.7	26.0	10.9	11.1	7.0	3.1	2.6	1.5	2.7
20歳代	69.2	12.7	32.5	17.3	29.3	10.2	7.7	0.8	2.5	1.5
30歳代	81.5	24.5	31.2	12.2	13.2	12.4	6.8	0.7	1.3	1.6
40歳代	81.6	33.5	24.9	9.3	9.8	15.2	7.6	2.3	1.2	2.3
50歳代	84.8	41.8	22.9	13.4	8.3	10.5	2.7	3.1	0.9	3.0
60歳代	88.9	45.1	19.8	12.9	6.8	6.1	1.1	6.0	1.3	3.9
70歳以上	80.0	51.4	12.4	13.7	4.0	3.6	0.9	6.4	2.9	9.7

④ 市民意向反映に対する評価（問 39）

あなたは、市役所は住民の要望や意見を十分に取り上げていると思いますか。次の中から1つ選んで下さい。



市が住民要望・意見を取り上げているかどうかという評価については、普通だという意見が 46.1%で最も多くなっていますが、これ以外では、あまり取り上げていないという声が 27.0%と多く、まあまあ取り上げている 11.6%、ほとんど取り上げていない 10.1%となり、総じてやや厳しい評価となっています。

こうした評価は、地区別や男女別といった属性にかかわらずほぼ共通しており、年代別でも、高齢者で若干評価が高まっていますが、総じて厳しい評価となっています。

属性別集計表

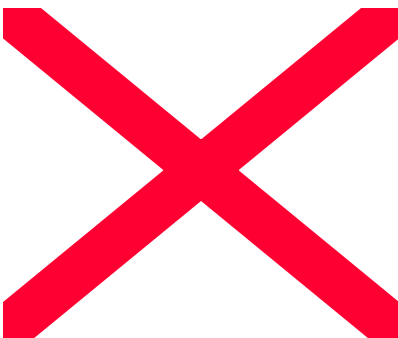
単位: %

	十分取り上げ ている	まあまあ取り 上げている	普通	あまり取り上げ ていない	ほとんど取り上 げていない	無回答	評価点
全体	1.5	11.6	46.1	27.0	10.1	3.7	-0.34
A地区	1.4	10.7	44.0	28.2	11.9	3.7	-0.40
B地区	1.1	12.0	42.9	30.5	10.1	3.4	-0.38
C地区	1.8	13.2	49.6	23.1	10.4	1.8	-0.28
D地区	0.4	9.9	46.8	27.1	11.5	4.4	-0.41
E地区	2.2	13.9	45.7	24.9	9.0	4.3	-0.26
F地区	1.3	8.3	47.2	28.0	9.8	5.4	-0.39
G地区	2.1	11.3	48.5	26.7	8.7	2.7	-0.29
H地区	1.5	13.6	46.4	26.2	8.7	3.6	-0.28
I地区	1.8	11.4	44.2	28.6	10.2	3.9	-0.35
男性	1.8	13.1	45.7	25.8	11.0	2.6	-0.32
女性	1.1	10.6	47.8	28.0	8.8	3.7	-0.34
20歳代	1.0	10.2	42.7	30.2	14.8	1.2	-0.48
30歳代	0.6	9.2	43.9	32.4	11.1	2.8	-0.45
40歳代	0.7	9.9	43.1	31.3	13.3	1.6	-0.47
50歳代	0.9	10.9	44.8	28.1	11.3	4.1	-0.40
60歳代	2.1	13.7	52.2	21.9	5.2	4.9	-0.15
70歳以上	4.9	18.0	52.8	13.8	3.5	6.9	0.08

※評価点は、「十分取り上げている」～「ほとんど取り上げていない」に2点～－2点とし、加算した
点数をサンプル数で除した平均点

⑤ 窓口対応に対する評価（問 40）

あなたは、市役所の窓口での職員の対応をどのように感じていますか。次の中から1つ選んで下さい。



窓口での職員の対応については、プラス評価とマイナス評価がほぼ拮抗する状況となっており、行政に対する厳しい評価が一般的に厳しいという点を考慮すると、比較的良好な評価であると言えます。

地区別には、H地区で若干高く、D地区で若干低い評価となっています。

男女別には、女性の方が厳しい評価となっています。

年代別には、年代が高くなるにしたがって評価も高くなる傾向がみられます。

属性別集計表

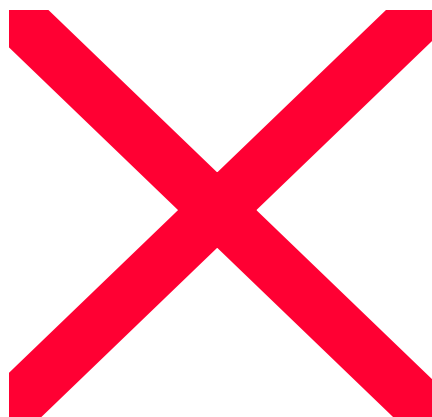
単位：％

	とても良いと思う	まあまあ良いと思う	普通と思う	あまり良くないと思う	とても悪いと思う	無回答	評価点
全体	5.3	22.9	43.9	20.2	5.3	2.4	0.03
A地区	4.4	17.7	44.2	25.1	5.4	3.2	-0.10
B地区	3.6	25.1	41.5	22.1	5.1	2.5	0.00
C地区	5.5	24.4	43.2	19.0	6.2	1.6	0.04
D地区	4.2	22.5	42.0	22.1	6.8	2.4	-0.05
E地区	5.7	24.3	46.5	16.5	4.7	2.4	0.10
F地区	5.4	24.3	42.8	19.8	5.2	2.4	0.05
G地区	5.6	24.2	47.1	16.2	4.6	2.3	0.10
H地区	8.1	23.8	43.8	16.8	5.5	2.1	0.13
I地区	5.5	20.5	43.6	23.7	4.3	2.3	-0.01
男性	6.5	25.8	43.2	17.7	4.8	1.9	0.12
女性	4.0	21.2	45.0	22.5	5.3	1.9	-0.04
20歳代	4.0	17.3	43.8	24.7	9.2	1.0	-0.18
30歳代	3.3	18.0	43.8	25.6	7.7	1.6	-0.17
40歳代	2.9	22.4	44.6	21.6	7.6	0.8	-0.09
50歳代	2.9	22.1	47.6	21.2	4.0	2.2	-0.01
60歳代	8.0	29.8	41.7	15.8	1.7	2.9	0.27
70歳以上	13.8	29.3	40.1	9.5	1.5	5.8	0.47

※評価点は、「十分取り上げている」～「ほとんど取り上げていない」に2点～－2点とし、加算した点数をサンプル数で除した平均点

⑥ 行政運営の改善策（問 41）

あなたは、市役所の業務や組織などをより良くしていくためには、何をすることが重要だと思いますか。以下の中から3つまで選んで下さい。



市役所の業務や組織をより良くする方法（行財政運営の改善・改革）については、多様な意見が上げられていますが、前例にとらわれない柔軟な発想が必要だとする意見が最も多く、行政の事勿れ主義、新しい事にチャレンジするのをためらう傾向が強いことを改めるべきという意識が強いことがわかります。続いて、行政組織のスリム化、情報化による事務等の迅速化、民間にまかせる（民間との役割分担）、公費支出のチェック、窓口での対応（応対）の向上などが比較的強く求められています。なお、市政への市民参加促進を求める声はあまり多くありません。

地区別には、C地区で市民参加、D地区で公共施設の適正配置、G地区で市民参加や行政評価などを求める声が多くなる傾向がみられます。

男女別には、男性で民間との役割分担、女性で窓口での対応の向上を求める声が多くなっています。

年代別には、20～40歳代で情報化による事務等の迅速化、50歳代で財政の健全化、60歳代で情報公開、70歳以上で優秀な職員の登用や職員研修を重視する人が多くなっています。

属性別集計表 (主要な選択肢のみ)

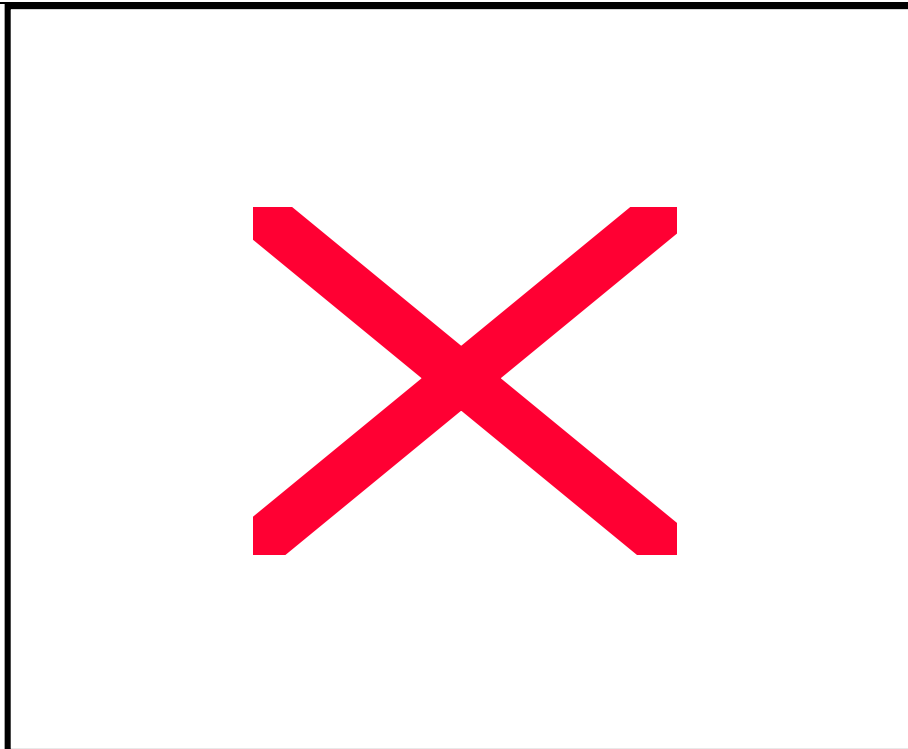
単位: %

	前例にとらわれ ない柔軟な発想	行政組織のスリム 化	情報化による事 務等の迅速化	民間にまかせる	公費の支出のチェ ックを強化	窓口での職員の対 応の向上	事業を選別し財 政の健全化促進	行政情報をさら に積極的に公開	市民の実務経験 者の力を活用	民間の実務経験 者の力を活用	公共施設の適切 な整備配置	優秀な職員を登 用	職員研修を活発 に行う	市長との対話の機 会を増やす	市政への市民参画 の促進	行政評価、政策評 価の推進
全体	37.1	33.8	31.3	26.7	25.0	23.4	16.1	14.9	12.6	10.7	9.9	7.7	7.6	7.3	6.4	
A地区	35.6	34.2	29.5	26.8	26.8	24.9	18.1	15.6	13.7	10.0	9.8	6.0	7.9	5.4	6.8	
B地区	36.0	31.4	32.8	29.5	22.9	25.3	14.7	16.6	12.2	11.4	12.0	8.4	7.8	6.7	6.1	
C地区	37.0	33.9	30.6	27.1	21.6	22.7	15.4	13.6	15.6	10.1	9.9	9.5	7.7	10.3	7.0	
D地区	35.8	32.4	30.2	26.1	27.8	22.1	17.7	15.5	10.4	13.5	8.8	8.4	9.0	4.9	6.9	
E地区	37.5	36.1	27.8	29.4	23.9	24.3	13.3	17.1	13.7	7.6	10.4	6.1	8.4	8.6	4.9	
F地区	37.2	35.7	32.6	28.3	24.8	21.7	15.7	14.1	10.9	11.7	10.2	6.5	6.3	6.7	4.6	
G地区	38.8	35.0	31.9	25.4	24.6	20.8	19.8	13.5	10.4	10.4	9.4	8.5	6.2	10.4	10.0	
H地区	37.7	32.8	35.5	23.2	25.3	24.9	15.7	13.8	14.3	11.3	8.3	7.4	7.7	6.0	5.8	
I地区	38.9	32.9	31.3	24.3	27.0	23.7	14.7	13.9	11.7	10.6	10.0	8.6	7.2	7.0	5.5	
男性	34.8	39.6	31.8	31.2	22.8	19.1	17.8	15.0	12.6	11.4	9.4	7.5	6.3	7.9	9.8	
女性	40.6	30.0	33.1	21.1	27.3	26.9	16.2	14.7	12.7	11.0	9.4	8.1	7.3	6.6	3.8	
20歳代	37.0	22.8	38.0	22.3	25.5	28.3	14.0	15.5	12.7	10.8	8.2	8.7	7.2	5.8	6.8	
30歳代	40.5	32.2	34.9	25.7	25.0	26.3	13.9	13.2	16.0	11.5	6.8	5.9	4.8	4.9	6.5	
40歳代	39.0	37.0	32.7	31.7	23.3	20.0	17.6	15.4	14.8	11.0	6.8	7.3	6.8	9.1	6.9	
50歳代	39.4	39.0	29.2	28.7	26.4	20.8	19.0	15.8	11.7	9.8	8.1	6.2	7.5	8.7	6.3	
60歳代	35.9	36.5	28.1	27.0	24.3	22.3	16.3	17.5	10.3	11.4	11.8	8.5	9.1	7.4	6.9	
70歳以上	28.2	32.1	26.0	20.8	26.0	22.6	14.4	10.2	10.2	10.4	20.6	12.0	10.7	7.1	5.3	

(13) 地区のまちづくりについて

① 地区のまちづくりの重点 (問 42)

さいたま市では、平成 15 年（2003 年）に予定される政令指定都市への移行に伴い、9つの行政区（今回の調査地区区分と同じ）を設け、より地域に密着した行政サービスを展開していきます。今後、あなたがお住まいの地区のまちづくりを進める上で、特に重視すべき点は何でしょうか。次の中から3つまで選んで下さい。

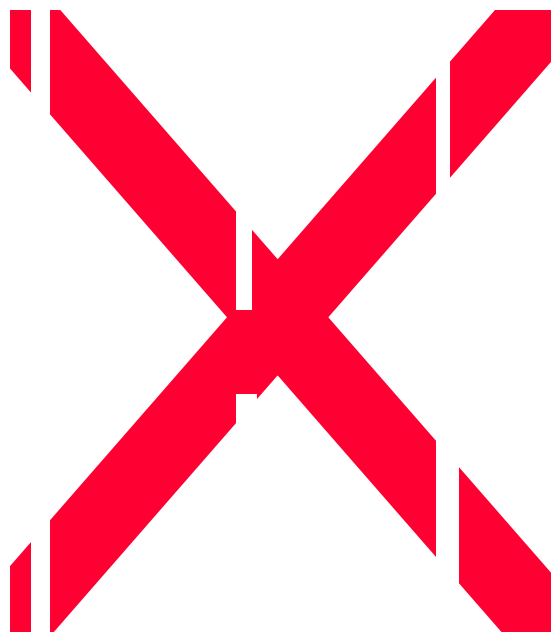


市内9地区のまちづくりについては、市全体では、医療面の充実が最も多く、福祉面の充実、道路・交通の充実、自然環境の保全・保護、生活基盤の整備、住宅環境の向上など取り組むべき課題は多岐に渡っています。

地区別にみると、A・D地区では生活基盤の整備が強く求められています。B・C地区では、住宅環境の向上がより必要とされています。E地区では自然環境の保全・保護、F地区では道路・交通の充実がより重視されています。G地区では安全面の充実や住宅環境の向上が重視されており、H地区では医療面の充実が特に求められ、I地区でも生活基盤の整備が比較的強く求められています。

男女別には、男性で道路・交通の充実や自然環境保全、生活基盤整備、住宅環境向上など、土地利用や環境面でのニーズが大きいのに対し、女性では医療や福祉、教育面でのニーズが大きくなっています。

年代別には、20歳代で道路・交通の充実や楽しみの場の充実、30～40歳代で教育面の充実、50～70歳以上で福祉面の充実、60～70歳以上で医療面の充実がそれぞれ求められる傾向が強くなっています。



属性別集計表 (主要な選択肢のみ)

単位: %

	医療面 の充実	福祉面 の充実	道路・交 通の充 実	自然環 境の保 全、保護	生活基 盤の整 備	住宅環 境の向 上	安全面 の充実	楽しみの 場の充 実	環境保 全の充 実	教育面 の充実	芸術、文 化面の 充実	市民と行 政との協 働
全体	37.8	30.9	29.8	28.8	27.7	27.0	24.5	20.6	18.4	14.5	12.5	5.5
男性	35.9	25.7	34.5	32.5	30.4	30.1	24.8	20.1	18.2	11.7	12.3	6.3
女性	41.0	36.1	27.4	27.0	25.9	24.4	24.2	21.2	18.5	15.5	13.0	4.4
20歳代	30.2	21.2	43.5	25.0	20.3	29.8	21.7	40.7	18.3	8.7	14.7	2.7
30歳代	36.0	18.7	31.1	21.6	27.6	33.8	25.4	29.4	14.4	26.6	11.7	2.7
40歳代	36.3	26.9	29.8	27.5	31.3	26.3	29.4	18.1	16.7	24.1	12.7	6.0
50歳代	37.9	39.2	28.0	37.3	31.6	22.4	23.8	14.2	21.3	7.6	14.2	6.7
60歳代	41.8	38.8	23.8	31.0	27.1	27.5	23.2	12.7	22.0	8.5	13.0	8.2
70歳以上	45.4	39.9	24.0	27.5	24.4	21.9	23.9	12.4	16.9	9.8	7.8	5.3

② 地区のまちづくり資源（問 43）

あなたのお住まいの地区で、今後、魅力あるまちづくりを進める上で、活用できる、活用すべきと思われる地域の資源はありますか。名所、旧跡、施設、人物など、何でも結構です。以下の欄に4つまで、自由にご記入下さい。

各地区のまちづくり資源（10件以上のもの）

地区	名称	件数	地区	名称	件数
A地区	・荒川河川敷	36	E地区	・与野公園	61
	・花の丘公園	26		・彩の国さいたま芸術劇場	48
	・秋葉神社	23		・さいたま新都心	40
	・三橋総合公園	17		・さいたまスーパーアリーナ	36
	・氷川神社	17		・氷川神社	12
	・鴨川の桜堤	11		・大カヤ	11
	・西楽園	10		・円乗院	10
B地区	・氷川神社	36	F地区	・与野七福神	10
	・盆栽村	30		・秋ヶ瀬公園	47
	・三貫清水	29		・埼玉大学	17
	・市民の森	29		・別所沼公園	12
	・大宮公園	29		・荒川河川敷	10
	・大宮花の丘公園	22	G地区	・見沼用水路	27
	・見沼用水	17		・北浦和公園	23
	・見沼たんぼ	11		・見沼たんぼ	22
C地区	・富士重工跡地	10		・駒場サッカー場	19
	・氷川神社	92		・調神社	18
	・大宮公園	81		・別所沼公園	13
	・氷川参道	21		・さいたまスーパーアリーナ	10
	・さいたまスーパーアリーナ	20	H地区	・浦和市文化センター	32
	・見沼たんぼ	20		・別所沼	27
	・見沼用水	19		・秋ヶ瀬公園	17
	・大宮駅	19		・調神社	15
	・盆栽村	19		・浦和競馬場	13
	・さいたま新都心	18		・見沼たんぼ	13
	・大宮ソニックシティ	16		・南浦和図書館	11
	・三橋総合運動公園	15	I地区	・見沼たんぼ	50
	・鴨川	10		・見沼代用水路	32
D地区	・見沼用水地帯	38		・埼玉スタジアム2002	30
	・市民の森	27		・プラザイースト	26
	・大宮公園	24		・大崎公園	14
	・大宮氷川神社	24		・女体神社	12
	・芝川	10		・駒場サッカー場	10
				・通船堀の桜	10

活用すべき地域の資源については、「見沼たんぼ・見沼代用水」に象徴される豊かな自然資源のほか、氷川神社など神社・仏閣等の歴史・文化資源、各地の公園施設、スポーツ施設などが多くあげられています。ユニークなところでは、C地区で盆栽村（植木職人が数多く居住する地区の街並み）があげられています。

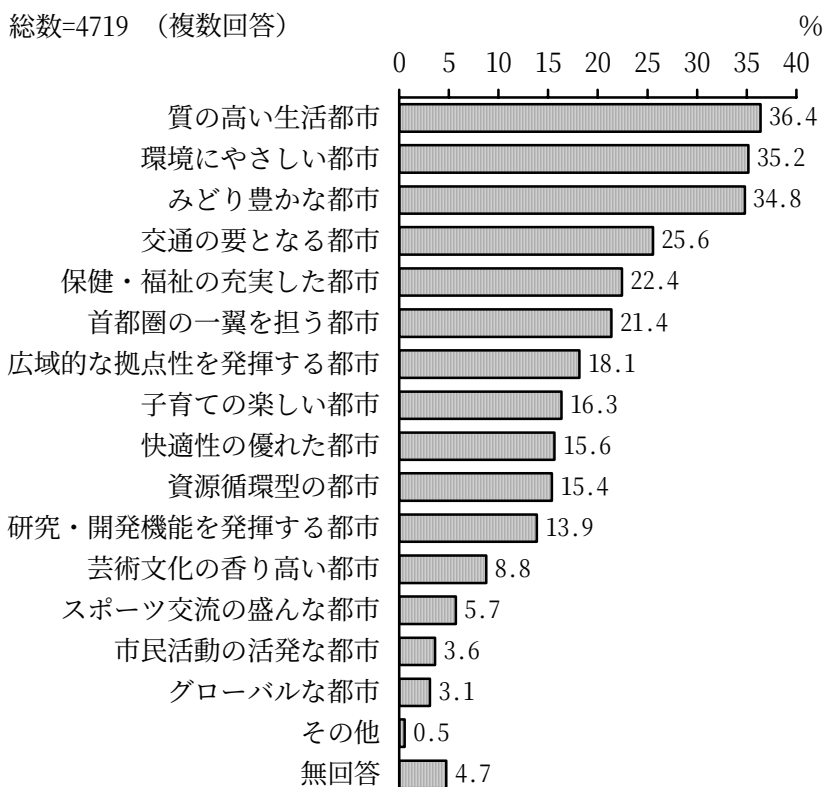
(14) さいたま市の将来像について

① 目指すべき将来像（問 44）

あなたは、さいたま市が政令指定都市として今後どのような将来像を目指すべきだと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを 3 つまで選んで下さい。

問44.今後の将来像

総数=4719 （複数回答）



さいたま市が今後目指すべき将来像については、福祉・環境などの大きな課題に取り組む「質の高い生活都市」を求める声が多いほか、環境保全に力を入れた「環境にやさしい（うるおいのある）都市」、水辺や大規模な公園・樹林地を活かした「みどり豊かな都市」の3つの将来像が多くの支持を集めています。総合すると、「みどり豊かな生活・環境都市」という将来像が多くの市民の一致したイメージであるといえます。

地区別には、大宮駅を擁するC地区で交通の要となる都市、首都圏の一翼を担う都市が多いほか、E地区で質の高い生活都市、G地区で質の高い生活都市や研究・開発機能を発揮する都市、I地区でみどり豊かな都市や研究・開発機能を発揮する都市などを求める声が多くなっています。

男女別には、男性で交通の要となる都市、首都圏の一翼を担う都市が多くなっていますが、女性では質の高い生活都市、環境にやさしい都市、子育ての楽しい都市を求める声が多くなっています。

年代別には、20～40歳代で子育ての楽しい都市や快適性の優れた都市を求める声が多くなっているほか、50～70歳以上で質の高い生活都市を求める声が多くなっています。

属性別集計表 (主要な選択肢のみ)

単位: %

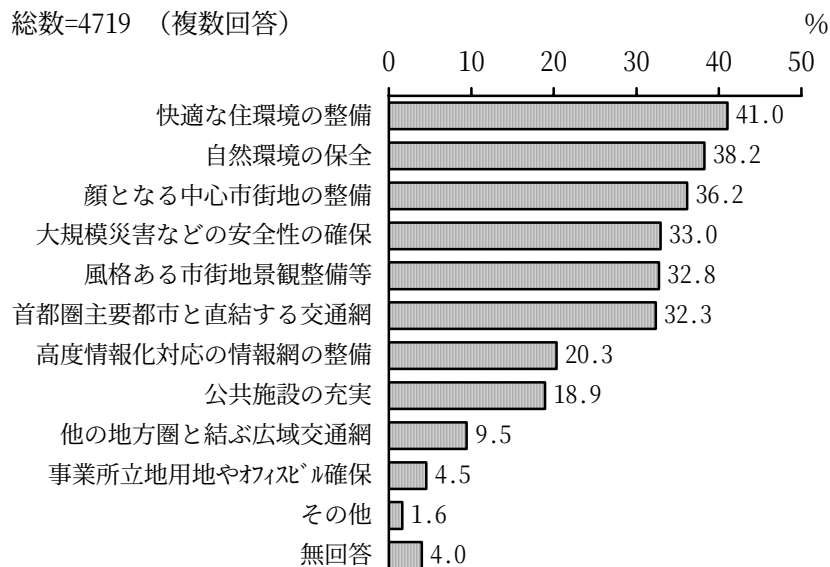
	質の高い生活都市	環境にやさしい都市	みどり豊かな都市	交通の要となる都市	保健・福祉の充実した都市	首都圏の一翼を担う都市	広域的な拠点性を発揮する都市	子育ての楽しい都市	快適性の優れた都市	資源循環型の都市	研究開発機能を発揮する都市	高い都市芸術文化の香り高い都市	スポーツ交流の盛んな都市	市民活動の活発な都市	グローバルな都市
全体	36.4	35.2	34.8	25.6	22.4	21.4	18.1	16.3	15.6	15.4	13.9	8.8	5.7	3.6	3.1
A地区	35.4	39.6	35.6	30.5	21.6	20.2	20.9	16.1	16.0	13.5	12.5	6.8	4.7	2.5	3.3
B地区	34.1	32.6	35.2	31.6	21.5	19.0	17.9	18.5	15.6	18.9	10.3	7.0	5.5	4.0	3.8
C地区	38.5	32.2	28.2	37.9	23.3	25.3	20.5	15.0	12.3	14.8	9.3	8.6	4.8	4.2	3.8
D地区	31.4	37.3	39.5	32.4	20.8	18.3	20.7	12.2	15.5	12.1	10.1	8.6	5.1	3.5	2.9
E地区	39.8	33.3	33.5	20.8	24.5	22.2	15.7	16.3	15.3	16.9	12.9	9.2	5.7	3.9	2.7
F地区	35.2	35.2	31.3	21.3	20.0	24.1	21.3	15.2	15.4	17.8	15.7	8.5	6.3	2.8	3.3
G地区	39.6	36.2	31.9	17.7	25.6	21.3	14.6	18.8	17.1	13.7	19.8	11.5	5.6	4.0	2.1
H地区	36.6	34.0	37.4	18.7	22.6	21.3	15.7	17.7	17.0	16.0	17.2	9.8	6.8	2.6	3.0
I地区	37.0	35.8	40.3	17.0	21.9	20.9	15.9	17.2	16.6	15.3	18.0	9.0	7.0	4.9	2.7
男性	33.6	32.1	38.0	30.2	19.3	25.6	21.7	12.3	17.8	12.6	16.0	8.4	7.3	3.1	3.5
女性	39.9	39.2	33.1	22.5	25.5	17.7	15.4	19.0	14.3	18.0	12.0	9.8	4.8	3.9	3.0
20歳代	30.5	34.7	35.5	31.3	13.2	20.3	18.0	21.5	19.0	20.8	9.5	9.2	11.0	1.8	5.5
30歳代	32.4	31.6	36.2	23.8	17.6	18.4	14.4	35.7	20.5	18.0	13.9	7.8	8.5	1.9	3.8
40歳代	36.2	36.9	35.2	24.8	20.3	19.3	16.3	16.5	19.0	16.3	21.8	10.7	5.9	4.6	3.7
50歳代	40.7	38.3	36.5	25.8	26.1	20.6	21.5	9.3	14.8	14.1	10.9	11.2	4.3	5.2	2.5
60歳代	39.8	37.0	33.7	22.3	26.2	27.5	22.4	9.6	10.6	12.0	14.2	7.2	3.3	4.0	1.9
70歳以上	37.0	30.2	32.1	27.3	30.4	23.1	13.5	4.6	10.0	10.9	13.1	6.4	1.5	3.3	1.5

② 将来像実現のための方策（問 45）

将来像の実現に向けて、どのような施策・条件整備が必要だと思いますか。次の中から重要と思うものを3つまで選んで下さい。

問45.将来像実現のための重要な施策・条件整備

総数=4719 （複数回答）



前の設問では、「みどり豊かな生活・環境都市」というイメージが強く求められていることがわかりましたが、こうした将来像を実現するための施策や条件整備としては、快適な住環境の整備が第一に求められており、さらに自然環境の保全、顔となる中心市街地の整備、大規模災害などに対する安全性の確保、風格ある市街地景観の整備等、首都圏主要都市と直結する交通網などが重要だという意見が多くなっています。

地区別には、A・D・F地区で快適な住環境整備、C地区で顔となる中心市街地の整備、G・I地区で自然環境の保全などを求める声が多くなっています。

男女別には、男性で高度情報化対応の情報網の整備が多い一方、女性で大規模災害からの安全性や公共施設の整備を求める声が多くなっています。

年代別には、東京都への依存傾向のみられる20歳代で首都圏主要部と直結する交通網を求める声が多いほか、30～50歳代で快適な住環境の整備、60～70歳代で顔となる中心市街地の整備を求める声がそれぞれ多くなっています。

属性別集計表

単位：％

	快適な 住環境 の整備	自然環 境の保 全	顔となる 中心市 街地の 整備	大規模 災害な どの安 全性の 確保	風格あ る市街 地景観 整備等	首都圏 主要都 市と直結 する交 通網	高度情 報化対 応の情 報網の 整備	公共施 設の充 実	他の地 方圏と結 ぶ広域 交通網	事業所 立地用 地やオフィ スビル確 保	その他	無回答
全体	41.0	38.2	36.2	33.0	32.8	32.3	20.3	18.9	9.5	4.5	1.6	4.0
A地区	44.2	39.8	32.1	32.5	34.0	35.3	18.1	20.2	9.6	4.0	0.9	3.0
B地区	39.0	38.9	36.4	31.4	32.0	33.1	22.3	18.5	12.4	4.2	1.5	3.6
C地区	28.9	31.9	44.9	33.5	33.9	35.3	20.3	16.5	11.4	4.8	1.6	5.3
D地区	44.6	39.5	33.3	31.3	30.0	34.2	21.0	16.8	11.5	3.3	2.0	4.2
E地区	44.1	37.1	34.5	34.5	32.7	28.6	20.6	18.6	8.8	6.3	0.8	4.7
F地区	42.6	35.4	36.5	32.6	31.1	35.9	19.6	20.2	10.7	5.2	2.0	4.1
G地区	42.9	41.9	37.9	32.7	33.1	29.4	18.7	21.5	6.2	4.2	1.7	2.9
H地区	41.9	37.9	34.0	36.6	31.7	26.4	24.0	18.3	7.2	4.7	2.5	3.8
I地区	41.3	41.7	36.2	31.5	36.2	32.7	18.6	20.0	7.2	4.3	1.8	4.3
男性	41.9	38.7	38.1	28.5	34.2	34.9	25.7	16.0	10.3	5.4	2.0	2.6
女性	41.7	39.0	34.8	37.1	32.2	31.2	15.7	21.3	8.4	3.7	1.4	3.9
20歳代	38.7	40.3	36.3	25.8	28.5	40.0	18.8	21.7	11.8	7.3	2.5	2.0
30歳代	42.3	40.4	33.3	28.2	29.9	35.0	22.5	20.3	8.1	4.0	2.8	2.4
40歳代	47.6	41.9	32.8	35.2	30.7	30.6	24.8	18.6	8.7	3.0	1.9	1.9
50歳代	45.7	40.5	33.3	34.7	36.0	29.4	20.3	17.7	9.9	5.3	1.1	2.6
60歳代	36.7	33.7	42.5	36.9	38.2	30.5	19.3	17.6	7.8	3.9	1.0	5.0
70歳以上	32.1	31.3	41.5	37.9	31.0	30.8	14.9	17.3	10.7	3.5	0.7	11.1

(15) 自由意見の概要

非常に多くの自由意見が寄せられました。内容は多岐にわたっていますが、特に道路整備の充実やバス路線の充実など、地域交通網の充実を求める声が多くなっています。また、大宮駅東口や浦和駅東口の再開発の推進など、中心市街地の整備も多く求められています。さらに、下水道整備など、生活基盤の充実や公園の充実、緑豊かな街づくりなどへの意見も多くなっています。

このほか、教育や福祉、医療などの充実を求める意見も多くみられ、利便性、快適性などに加え、質の高い生活を実現する、安心して住めるまち、住み続けられるまちを求めている様子が伺えます。

☐資料 調査票

☐資料 問 43 及び自由意見の詳細

自由意見 一覧

1. 広域交流基盤の整備	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区	全 体
○さいたま市の顔となるシンボリックなものが必要であると思う。	2	3	3	4	6	6	4	4	7	39
○大宮駅東口・浦和駅東口の開発がかなり遅れていると思う。	2	6	12	5	1	1	2	2	4	35
○駅前再開発の進捗が遅く(浦和東口等) 不便、また自転車置き場が少なく料金も高いので早期に対策を検討してほしい。			1	1			8	4	2	16
○区画整理事業の推進による宅地と道路の整備を第一に着手し、公民館、図書館、コミュニティ施設など公共施設の充実をお願いしたい。	1	2	1	2	1	1	1	3	1	13
○景観を大事にし、それを維持する市民の心構えを啓発する教育が充実だと思う。		1	2		2	1				6
○京浜東北線・埼京線の各駅前の整備、緑化などを進めるとともに、安全で美しい街づくりが遅れている。			1			1	1	1		4
○武蔵浦和駅・西浦和駅周辺のまちづくりをもっと充実させてほしい。						1		2		3
○北浦和駅東口周辺の道路を使いやすいよう整備してほしい。							3			3
○JR浦和駅は他の駅より開発が遅れていると思う。						2				2
○新しく作られる道路、住宅はゆとりをもった設計をとりいれてほしい。							1	1		2
○札幌市は道が広く、公園・公共施設その他がきれいな街並みでいいと思うので参考にするとよい。			1							1
○住所とかの飛地をなくす区画整理。								1		1
○新都心駅近くにさいたま市役所やその他の文化施設などをつくり行政の中心にしてほしい。				1						1
2. 広域交流を推進する仕組みづくり	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区	全 体
○自然も残しながら、県内外からも人々が集まるような市にしてほしい。				2		1		1		4
○国際的なイベントなどが出来る街づくりをしてほしい。									1	1
3. 総合交通体系の整備	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区	全 体
○道路がとても狭く、人口の増加、交通量の増加に道路整備が追いついてないので早急に整備をしてほしい(県道さいたま草加線など)。	9	8	3	3	2	7	3	2	5	42
○都心にアクセスできる地下鉄を通してほしい。	7	1	2	2	3		2		1	18
○交通網の充実とバスの交通を今まで以上に便利にしてほしい。	3		2	2	1	1	3	1	2	15
○市を横につながる交通網また山手線のような交通網。	4	2	1		3	1	2	1	1	15
○歩道を広く、道路の段差、自転車専用道路を設けてほしい。	1	2	1	2	1		2	1	2	12
○駅のまわりばかり整備していないでもっと全体を生活しやすいまちにしてほしい。駅から離れた所の学童登校路は交通量が多く狭い道を長時間歩いて通っているため、毎日が心配の日々なので安心して通わせられる道路の整備を強く願います。	3	2		1	2	2			1	11
○埼京線は現在の倍近い本数にしてほしい。また終電が早すぎるのももう少し遅い時間に。	1				1	1	1	4		8
○意味のある道路工事をしてほしい(同じ所を何度も掘り起こさない)。	1	2		1	1				2	7
○さいたま市の中心から離れた場所のバスなどの交通網の整備をしてほしい。			1		1		2	1	1	6
○川越線を早く複線に、また、本数を増やしてほしい。	6									6
○大宮東口はタクシーが通行の妨げになっているので、タクシープールを設けてほしい。		1	3	1						5
○道路の渋滞がひどいので、長期的な視野にたち、道路整備をしてほしい。			1	2					1	4
○大宮駅駅前は車優先になっているので不便だ。			2	1						3
○朝夕の道路の混雑の解消をお願いしたい、また各交差点にミラーを両面備えてほしい。	1						2			3
○道路標識の表示がわかりづらいので検討してほしい。	1					1	1			3
○駅のターミナル・公園などの駐車場・駐輪場の確保。					1				1	2
○県内に空港があるとよい。		1	1							2

○交差点の右折車線がないところが多すぎる。			1						1	2
○高齢化社会では、住宅地から市の中心へ買い物、病院通いなどが出来る、小型バスの運行（武蔵野市のムーバスのようなもの）が必要だ。			1			1				2
○住宅地に入ると交通の便が悪いので、マイクロバスなどを安い料金で通してほしい。		2								2
○区役所予定地が武蔵浦和駅周辺になるといつも交通が滞り、駐車スペースも確保できるか心配である。							1			1
○首都高大宮線浦和北インターはなぜ下りに入り口があり、上りは下り方面からの出口しかないのか。市のホームページに説明文を載せてほしい。						1				1
○障害者や高齢者のための市内巡回バスをはやく実現してほしい。				1						1
○大宮駅西口のバス発着時の渋滞をスムーズにしてほしい。	1									1
○大型バス（10台）も止まれる程度の大型駐車場をつくってほしい。						1				1
○東京から30kmの圏内にJRの単線区間があるようでは、発展など望めないのでは、鉄道網の整備をしてほしい。		1								1
○堀之内周辺の道路の渋滞の解消、また整備を早く終わらせ、街灯を増やしてほしい。			1							1
4. 産業の育成	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区	全体
○さいたま市では、県・他市に先駆け、ベンチャー企業への優遇税収や支援体制を法制化し、将来の税収アップ、雇用アップを見込んだ政策をとってみたいのでは。		1					1			2
5. 商業・工業・農業の振興	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区	全体
○さいたま新都心また公共施設があるところにショッピングやレジャーなどを充実させ、若い人も年輩の方も楽しめる街づくりをして、買い物などで都心に流れる人々をさいたまに止めるよう楽しい街づくりを期待する。	4	3	3	2	1	3	2		3	21
○新都心周辺に人の集まるようなテナントをいれてほしい。						1	1			2
○公共工事受注に対し地元業者により一層発注し、業者の活性化により市の雇用促進の活性化を図る。						1				1
○商店街に活力がほしいので行政の協力が必要だ。					1					1
○農地貸し出しやレンタル別荘的なものを造ってほしい。								1		1
6. 市民に聞かれたまちづくりの推進	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区	全体
○市民に解りやすい行政、また隅々まで細かい情報が伝わるよう配慮してほしい。	1	1	1	4	3	3	1	3		17
○行政のスリム化、公費の削減、情報の公開を望む（成人式の祝い品テレホンカードは今時不要）。	3	1			1	2	3	2	1	13
○政令指定都市になってのメリット、デメリットを具体的に市民に開示すること。	3	1	3				1	2		10
○市民のための行政をしてほしい。			1		1		4	2	1	9
○市役所業務を24時間営業または土、日曜日も営業にしてもらいたい。	1	1		3		1		2	1	9
○区割りの件は各自自治体（町会）の総会などを利用して直接市民へ情報を知らせてほしかった。							4	3	1	8
○市民が参加できるイベントの中で、行政の情報公開や市民の意見を提案できる場の提供があればよいと思う。		1	2	2	1		2			8
○法的に規制出来ない問題に対して、市が住民の相談に十分乗ってくれることをお願いし、市民の安定した生活の上での「さいたま市のまちづくり」を考えてほしい。	2		3				1	1	1	8
○公民館や学校など公共施設に意見箱のようなものを置いておくと、気がついたときに投書ができると思う。	2			1	2	1			1	7
○行政主導で進めるのではなく常に市民のための行政であり、市民が主役であることを忘れないでほしい。	2		1	1					3	7
○今回のようなアンケート調査の定期的な実施を要望したい。	2		1	1				2	1	7
○大きな施設を造るときは市民にたずねるべきであり、施設づくりを街づくりと勘違いしないでほしい。		2		1	1			2	1	7
○だれでも参加して自由に意見を交換できるまちづくりに期待している。		2	2	1	1					6
○今回の意識調査の結果をなんらかの形で市民に公表してほしい。			1	2					3	6
○老若男女の交流の場を充実させてほしい。		3	1				1	1		6

○9つの行政区における公共サービスの公平性を維持していただきたい。	3			2						5
○市の隅々まで情報を伝え、取り残しのないようにしてほしい。		2	1						2	5
○優先順位をつけてまちづくりを進めてもらいたい、また情報公開を同時に行ってもらいたい。	2			2				1		5
○3市合併は住民の意見を聞いてほしかった。	1			1		1	1			4
○もっと民間の智恵（企業の生き残り）を取り入れてみてほしい。			2		1			1		4
○市民の窓口としての相談所の開設と情報提供を常にお願ひしたい。	1			1				1		3
○住民の意見・要望等を交換しあえる場をつくるようにしてほしい。					1	1			1	3
○民間に移行できるものは移行し、利益の出る活動をしてもらいたい。	1	2								3
○市民も行政に目をむけていくことが一番と思われる。		1							1	2
○市役所の職員の方は専門用語は使わず解りやすく説明し、手続き後の流れをきちんと説明してほしい。	2									2
○市報の活字をもっと大きくしないと読みにくい。また、本のように綴じてあるとバラバラにならない。									2	2
○小さなアパート、マンションが増えてその方々の住民意識がなく、自治会活動も無関心なので、その方々をどう取り込むかが大きな課題になると思うので、住民も行政ばかりに要求するのではなく地域を愛する意識を持たなくてはいけない。					2					2
○さいたま市民手帳を作してほしい。				1						1
○一般市民が市に対して何をすべきかを明確に提示してほしい。								1		1
○駅の設置を決定するときには情報公開をもっと市民の意見を反映してほしい（高速鉄道は利用してみると、この上なく不便）。									1	1
○経済性のない政策は無理があるので集中と平均のバランスが取れている政策をお願いしたい。							1			1
○電話による苦情、要請、相談にもっと迅速に誠実に対応してほしい。								1		1
○法務省入国管理局埼玉出張所の外国人への対応はとても悪く、都内の人管の対応の良さに比べると、埼玉での対応は日本の行政や将来に深い失望を感じてしまうので、国政に介入できないのであれば、市独自あるいは民間の相談窓口をつくった方がよいと思う。						1				1
7. 安全・安心なまちづくりの推進	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区	全体
○子供や高齢者が安心して暮らせるまちづくりをお願いする。		5	4		2	1	3	2	2	19
○総合病院など大きな病院を増やし、夜間・休日等医療機関の充実をお願いしたい。	2	1	2	3	1		6	2		17
○福祉、医療面（乳幼児医療の窓口払い）がひどく遅れていると思う。		2	3	1	3	1	2	2	2	16
○街灯設置。	1	3		4		2	1	1	1	13
○子供を安心して産み育てられる市にしてほしい。たとえば公立の幼稚園を増やし、小、中学校の選択化、少人数制学級も早急をお願いしたい。		1	1	2	2	2		2	3	13
○高齢化社会になるための受け入れ先の施設を充実させてほしい。	4	2	1	1	1			3		12
○まちづくりとは住んでいる人の考え方を常に吸収する方法をとり、また医療、福祉を充実させることを望む。	1	1	2	2	2	2	1			11
○治安が悪い（どろぼうが多い）のでもっとパトロールを強化してほしい。		1	2		1	2	2	2		10
○他の市に比べ公園・保育園の数が少ないので、公園・保育園の充実を望む。		1	1	1	1	1	3	2		10
○警察官を増やし、且つ駐在している派出所を増やしてほしい。	2	1	1	1	1				1	7
○保育サポーターなどの子育て支援、また道のバリアフリー化など家族に優しい「市」にしていきたい。			1		3	1	1		1	7
○心豊かなまちづくりをお願いする。		1	1					4		6
○災害時の避難場所・防災倉庫の品物（バケツ・ポリタンク等）の数を増やした方がよいと思う。	1		2	2						5
○乳幼児医療費が14年度から収入制限によることになったようですがもう一度検討してほしい、また窓口払いを無くしてほしい。		2	2						1	5

○保育園が少なく保育料が高いと思う。		1					1	3		5
○夜道の暗いところに街灯をつけてほしい。					1	3			1	5
○さいたま市全体として第三次救急指定病院がないので住んでいても不安である。	2					1	1			4
○高度な医療ができる大きな病院を区に1つぐらい造ってほしい。								4		4
○小さい子供がいる専業主婦が社会復帰する際の環境が整っていない、また預ける場が少ない。	1					1	1	1		4
○霧敷川は大雨が降ると道路冠水、床下、床上浸水の常習の場所ですので、早く河川の整備をしてほしい。					4					4
○区毎に商店・病院・福祉施設等が実在し、歩いて利用できるようにしてほしい。							2		1	3
○高齢者及び独身者が多くなるので安い家賃のアパートが多くあった方が住みやすい。		1	1		1					3
○静かに暮らせるまちづくりを期待する。				1				1	1	3
○低所得者、高齢者にたいしての市・県民税、保険料、介護保険料の負担が多すぎる。		1				1	1			3
○学校周辺の防犯対策や街灯の増設をお願いしたい。		1					1			2
○眼科・小児科が少なく困っている。							2			2
○交通マナーは非常に悪いのにもかかわらず、啓蒙活動、警察の取締などはあまりしていないように思う。						1			1	2
○児童館を増やしてほしい。		1				1				2
○犯罪の少ない安心できる街づくりを作るのにあたり、幼年期からの道徳教育、警察による取締等を強力に行う。									2	2
○さいたま市は公立の幼稚園が少ないので、教育機関の整備を考えてほしい。						1				1
○駅設置のエスカレーターの利用法をもっと考えるべきで、あんな狭い所で右、左に別々に列を作って利用するのは危ないし、またエスカレーターは本来身体の不自由な人、年寄り、小さい子供を連れた人などが利用するものなので、さいたま市が率先して利用法、優先されるべきやさしさのPRを全国に広めてほしい。								1		1
○観光資源の乏しいさいたま市を他県、外国から人が訪ねるような街にするのは難しいので、思いっきり生活者重視のまちづくりを進めてほしい。たとえば「日本一の子育てのまち」というようなテーマなどがおもしろいと思う。							1			1
○健康と医療費削減のために散歩道の完備またサイクリング道の整備。				1						1
○公社の家賃補助のラインを下げしてほしい。									1	1
○市内の病院の中で女性医のいる病院(特に婦人科)の一覧表をつくってほしい。			1							1
○施設にお金を使わず、失業者が再就職するための、手に職を身につけさせる場をもっと増やしてほしい。				1						1
○大宮第三公園に子供の遊べる遊具をおいてほしい。			1							1
○都市開発とか交通を良くするより病院不足なので病院をつくってほしい。	1									1
○都市部だけではなく、周辺部にもきめ細かな対応をするようにしてほしい(防災、防犯など)。		1								1
8. 「生きがい」社会の形成	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区	全 体
○弱者にやさしい街づくり。	1	2	1		1	1	2		1	9
○ボランティアの活動や支援・援助をもっと積極的に行うべきである。		1	1	1			1	1		5
○少子化高齢社会における地域社会の活性化に資するため、積極的に老人の考え方にたった施策づくりで65歳現役社会の実現を目指してほしい。			2		1		1	1		5
○総合スポーツセンターを造ってほしい。				1		3	1			5
○スーパーアリーナ、埼玉芸術劇場等でコンサートや芝居などもっと多く取りいれて楽しんでもみたい。					1	1				2
○高齢者に公民館などで無料で身体をきたえる軽い運動(太極拳)などを取り入れたら良いと思う。						1		1		2
○その場所に行けば誰かと話ができるような駅を中心にした広場、心なごむ温かな広場があっても良いと思う。			1							1
○市民プールを全天候型プールに改装してほしい。			1							1

○小学生がサッカーなど出来る広場がほしい。	1									1
○大きなコミュニティ施設をつくってほしい。						1				1
○農研を国から払い下げてもらい、オペラハウスを作ってほしい。		1								1
○幅広い年齢層が利用出来る総合運動公園を建設してほしい。							1			1
9. 教育・学習環境の充実	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区	全体
○教育、医療、福祉などに予算を使ってほしい(志木市の「25人学級」などのような魅力ある施策を行ってほしい)。	2	2	1	3	2	2		3	2	17
○教育・教養の向上に努める市政を敷くまちづくりに力をそそいでもらい、教育方針の充実で大人、子供へ向けての講演、サークル活動等を行政の中に取り組んでほしい。	4	1	2	1	1		3		1	13
○図書館がすくないので増やしてほしい。	1			1	1	2	1	1		7
○社会人(高齢者)も気軽に参加できる学習の場を充実してほしい。またそのようなものの情報を公開してほしい。	1	1		1		1	1			5
○自由学区制を取り入れてほしい。					1		2		1	4
○公民館等の講座も土日や夜間の部を増やしほしい。			1						2	3
○図書館の本をもっと充実してほしい、また時間も遅くまで利用できるように延長してほしい。	1			1	1					3
○地域住民にグラウンドを開放(少年野球ばかりでなく)する。						2				2
○これから発展していく市であるので、青少年の家庭、学校での教育を充実してほしい。		1								1
○マンションが次々と建ち生徒の人数が増える中、小・中学校の校舎が不足していると思う。		1								1
○学区の自由化は今より子供社会を壊してしまうので、絶対やめてほしい。						1				1
○学童に対しての行政の支援をほしい。		1								1
○公民館などは地域の人々に活用しやすい雰囲気にしてほしい。			1							1
○働く主婦が夜習い事などができるような、働く主婦を対象とした市の対策やサービスをしてほしい。		1								1
10. 快適な生活環境の創造	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区	全体
○歩道が狭く、また無いところがあるので歩くのが危険な所が多いので、道路(歩道含)の整備を早急にしてほしい。	7	4	5	5	5	7	4	4	8	49
○下水道の整備、歩道と車道の分離、歩道の拡幅などを進めてほしい。	6	1	2	4	1	4		1	3	22
○派手な都心部をまねた無駄な建物が多いので、自然など地域性を活かしたまちづくりをしてほしい。	1	2	1	6		3	4	1	3	21
○下水道の整備をしてほしい。	4	2		3	2	2		2	3	18
○下水道の整備を100%完成し、住み良いまちづくりをしてほしい。	2			5		1	1	1	6	16
○公害のない緑豊かな街にしてゆき、街そのものが清潔でごたごたしていない環境にし、やさしいうるおいのある都市にしたいと思う。	3		1	2	3	1	4		2	16
○新しく何かを造るのではなく、古くて汚い所(どぶ川など)をきれいにし、小さな公園が増え、きれいなさいたま市にしたい。	2	1	1	1	3		3	3	2	16
○バリアフリーの徹底や自転車用舗道の整備などをしてほしい。		3	3	2	1	1	3		2	15
○樹木の多い都市環境づくりを基本にして、道路の整備を進めていただきたい。		1	2	3		1	1	2	2	12
○浦和駅にエレベーターかエスカレーターの設置をしてほしい。				1	1		5			7
○三市合同して解らない地域もあるので、わかりやすいパンフレット・地図等があったらよいと思う。	2		2			1	1		1	7
○生活しやすい環境、生活したい環境が大切だから市民の事を第一に考えてほしい。	2	2			1	1	1			7
○旧3市区間での行政サービスの差をなくしてほしい(ゴミ問題等)。	2	3							1	6
○公園は子供が遊ぶ所なのに犬の糞が多くて衛生によくないので、犬の散歩、放し飼い禁止の看板を立ててほしい。		1		1	1		1	1	1	6

○最寄りの役所を利用できるようにしてほしい。	1			1	2	1			1	6
○ごみと吸い殻の追放のため市街地の道路の角々に公共のゴミ箱を設置してほしい。			1		2			2		5
○景観の良い市営霊園等を造ってほしい。	3			1				1		5
○首都圏に出かけなくても生活のしやすいまちづくりを、また緑豊かな美しいさいたま市にしてほしい。		1			1		1	1	1	5
○電線の地中化を進めてほしい。		1	1					1	2	5
○ゴミ焼却施設の所在地でもゴミ収集、運搬の効率を考えれば、他に適地はあるはず、地域にかたよりのない建設開発、整備等を計画してほしい。	1			1	1					3
○気持や心が豊かになり誰もが安心して住める街づくりをしてほしい。					1		1	1		3
○市営で無料で利用できる駐輪場を駅前につくり放置自転車を少なくする。					2	1				3
○建物の裏側がとても汚くて醜いところが目につきます、公共施設整備もよいが街の景観が大切だ。				1		1				2
○公共施設利用申込み、抽選結果の連絡方法などの簡易化としてインターネットを活用して、情報化社会の向上を図るとよい。					1			1		2
○政令指定都市にするのであれば、もう少し道路を広げたり、都市の中に公園を作ったりして長期的な都市計画をしたほうが良い。							2			2
○草が伸びて歩道が通れなかったり、下水のふたが割れているのを見かけるので住宅街での道路整備、県道など同じ場所ばかり頻繁に工事をして納得できないので、キチンとした情報公開と計画的な工事を希望す		1		1						2
○道路工事は市役所・電力・ガス会社等との横の連絡をとり効率的に行ってほしい。			2							2
○さいたま市の中心にすべての公共の場があるので、もう少し分散形の方法を考えてほしい。	1									1
○駅のエスカレーターを高齢者または障害者のために上りは勿論で下りもあれば助かる。					1					1
○鴨川の兩岸を遊歩道にして、ランニングコース、サイクリングコースにする。		1								1
○建築基準法の建ぺい率を厳しくする条例を設定してほしい。		1								1
○国際化などと大きなビジョンも大事だろうが、市民の最低限の住環境を整えてほしい。			1							1
○新しい区役所は区の中央に建設し市民の利便性を考えてほしい。	1									1
○政令指定都市を目指すより下水道整備を進めて、市内の下水道格差をなくしてほしい。	1									1
○送電線の鉄塔が数多くあるがとても危険で子供たちが安心して遊べないので撤去してほしい。				1						1
○保育園・小中学校などがある場所に産業廃棄物、砂利集積場の業者がいくつもあり下校時の危険度またほこりが舞いとても不衛生である。					1					1
11. 環境型社会システムの形成	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区	全 体
○ごみの有料化は導入した方がよかったのではないかな。		1	1	1	1	1		1		6
○粗大ゴミの有料化は反対だ。	1			1						2
○さいたま市全体でアイドリングストップを宣言してほしい。			1				1			2
○市政だよりにゴミ収集日記載またゴミの分別を更に細分化し、再資源化を徹底してほしい。	1	2		2	1	3	3	1		13
○地球温暖化防止、ヒートアイランド対策として、コケ等をもちいた屋上緑化を図ってほしい。									1	1
○家庭ゴミの回収の増加。		1			1					2
12. 良好な自然環境の保全と創造	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区	全 体
○緑のあふれるまちづくりを期待する。	9	6	5	4	3	1	10	5	4	47
○自然豊かな公園がいっぱいある市になると良いと思う。	3	4	4	4	4		5	2		26
○自然環境に恵まれている点を維持し「されど都心に近い」ということを最大のメリットと考えてまちづくりをしてほしい。また本当のスポーツクラブを指向させるべきだと思う。		1	1	1	1			2	3	9
○政令指定都市さいたまの開発もよいが、緑と見沼の自然は後々まで残すようあまり道路、家などを造ってほしくない。		1		2					1	4

○開発よりも今ある自然をそのまま残し、手を加えるのではなく、守っていくためのエコロジー意識を広めていただきたい。			1	1		1				3
○今ある自然を残すだけでなく、かつて市民が誇りにしていた自然を回復させる。例えば大宮公園内を流れる見沼用水のコンクリートを除去して自然な川岸に戻して「蜚の里」を取り戻す事業を起こす。				2			1			3
○子供の頃育った故郷はいつまでも心に残るものなので、今の若者が故郷といつまでも心に残る、人に優しい、自然豊かな街をつくってほしい。						1		2		3
○最大の魅力である芝川(見沼用水)と荒川(鴨川)の水辺環境を活かした一大公園化を進める事。				1			1			2
13. その他・総合	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区	I地区	全 体
○合併したことが本当に市民の為になるのか疑問に思う。またそう思っている人が意外に多くいるという事を認識し、これから市民の為の行政を行ってもらいたい。	1	3	7	1	7	1	6	4	4	34
○公共機関の職員(市役所・公民館など)の態度が非常に悪い。	3	5	1	2	1	3	4	7	2	28
○浦和・大宮・与野の旧市の確執を速やかに除去することが重要だと思う。	5	3	5	2	6	3		1	2	27
○街の景観とか大規模なイベントよりも、生活の質の向上、道路の整備、下水道の整備、福祉サービスの充実重点を置いてほしい。	3	3	4	8	1	4	1	2		26
○税金の無駄使いから見直してほしい。		1	4	1		2	5	2	4	19
○市議会・市職員の削減を図ることを要望する。	3	2	1	2	2	2	1	1	1	15
○市民の窓口の職員は人数が多すぎると思う。また、対応も悪く税金の無駄だと思う。	1	1	1	2		1	2	2	2	12
○政令指定都市になるからと言って、大きな道路や建物を造ることばかりでなく、そこに住んでいる市民が住みやすい環境を造ってほしい。道路や下水道の整備も不十分でガードレールもなく、危険な道を子どもたちは通学している。	1	2	2	1	1	1	2	2		12
○豊かな自然と快適な住環境(福祉・教育)を中心に目の高さにあわせた地方都市のイメージを持ち、地域文化を子供にも生活の中で感じられ、歴史を知っていくような環境を造ってほしい。	1		3	1	2	2	1	2		12
○映画館、遊園地、ショッピングセンター、駐輪場をつくってほしい。	1	1	1	1		3		1	3	11
○旧大宮、与野、浦和等の各区の個性を保存しつつ、各区に役割分担をはっきりさせ、県全体としての総合力で、輝くさいたま市にしてほしい。	1	2	1	4			2	1		11
○さいたま市の名前を変えてほしい。	1	1		1	2	2	1		2	10
○何をするにおいても、税金の無駄づかいにならないようにしてもらいたい。	2	1	2	1				1	2	9
○市民にとってやさしい都市になってほしい。		1		1	1			1	4	8
○埼玉県を中心都市なので、福祉・環境・産業の面でリードしてほしい。		2	1		1		1	1	1	7
○政令指定都市として、国や県の指導や補助金に拘束されず、頼ることなく生活者の立場や市の事情を把握し、独自の政策を構築すること。	1		1		1	1		1	2	7
○さいたま市の良いところを行政の対内外へのアピールが重要だと思う。		1			1	2		2		6
○役所関係の人員削減を求める。				2			2	2		6
○駅周辺だけ発展していて、郊外が閑散としている。	1	1			2				1	5
○市民の人達が合併して良かったと思えるような都市づくり、行政を行ってほしい。	1		1		1	1			1	5
○政令指定都市になったあとも、いままでの3市に残る伝統ある名称を活かしてほしい。	2					1		2		5
○区ごとではなく、隣接する区の連結を望む(図書館・公園・プール等)。			1		1	2				4
○公共事業は押さえ、税金(高い)を上げないようにしてほしい。		1					2		1	4
○市役所職員は旧三市から平等に派遣し構成するべきである。	1			1		1			1	4
○からす公害に対する改善を推進してほしい。			1	2						3
○さいたま市になってから悪い面ばかりが多いように感じる。	1	1	1							3

○さいたま市は広すぎる。		1						2	3
○それぞれの駅の周辺環境整備、また地区の自治会（係交代制）のあり方など常に考えていくこと。	1					1		1	3
○居住区と工業地区を分けてほしい。		1					1	1	3
○公共の施設（公民館等）を民間企業に有料で貸出、代金を施設の設備また給料などに充てる。	1		2						3
○行政区の親しみやすい名称を希望し、また各行政区が密に交えるような新しい交通システムの整備を希望（千葉市のようなモノレール）。	1					2			3
○市役所は市の中心に位置する新都心に新しく造ってほしい。	2		1						3
○横浜などに比べて、東京までの距離はさほど変わらないのに田舎のイメージがあるので、それを払拭する大改革をしてほしいと思う。			1			1			2
○宮原1丁目は住宅が多いのに教育施設や商業が少なく感じる。		2							2
○敬老の日の祝い金がなくなり、みんながっかりした。		1	1						2
○元の地区割の意識をやめ、全体を考え行政を行ってほしい。特に市議の出身地域に手あつい行政はあってはならない。		1			1				2
○行政区の中に旧3市の名を残してほしい。							2		2
○行政区を設けたことにより地域のつながりが切られる部分があるので、十分に議論すべきである。	1				1				2
○新しい交通手段の開発をし、それにより人口も増え、企業も発展して税金の面でのバランスが取れれば、なによりだと思う。	1							1	2
○体裁でなく実をとって、生活に密着したまちづくりをお願いする。	1			1					2
○地域性を大事にするまちづくりを進めてほしい。			1					1	2
○役所職員の人材教育が市の発展につながるので、学歴ではなく人間性を見て決めてほしい。							1	1	2
○「さいたま市の人々は皆笑顔が素敵だ」と言われるようなあたたかな親しみのあるまちづくりを第一に。						1			1
○1つの市になったので、旧何市という分類にされると非常に不便だ。					1				1
○さいたま市が単なる東京のベッドタウンであるという意識を取り払うよう、移住時に教育し、選挙をはじめとする市民の義務を果たすように促進してほしい。							1		1
○ペットの公園解放をお願いする。		1							1
○旧大宮市の一の宮氷川神社、中山神社、旧浦和市の氷川女体神社の三社はまとめて一の宮氷川神社であることをアピールする。			1						1
○旧大宮市の三橋がA区とC区に分かれてしまうのは反対だ。	1								1
○公共事業に対する競争入札の徹底と無意味な補助金、助成金の廃止。			1						1
○行政区の名称はよく考えてつけてほしい。		1							1
○行政情報はタウン紙に統一し税金の活用を広げる。					1				1
○今ある予算で最大限なにが出来るかを考えてほしい。		1							1
○今後の街づくりに期待する。	1								1
○市長は幅広い視野を持ち、好奇心をもって行事に参加すべきである。	1								1
○市民が「さいたま市」に住んでいるという意識を持てるよう啓蒙活動を積極的にすべきだと思う。			1						1
○若い方は良い発想を有すると考える。						1			1
○上尾市、伊奈町を市域に入れるべきだと思う。また、さいたま市ではない名前にしてほしかった。	1								1
○大宮氷川神社・調神社・秋葉神社などを町おこしに利用する。						1			1
○中学卒業後の親が意見を言える場がほしい、そして親の意見をすぐ対応するのではなく冷静に調べて対応していくシステムがほしい。							1		1
○駐車場整備、氷川参道整備をお願いする。			1						1

○朝夕の通勤・通学時の大宮駅コンコースの通行人のマナーがひどすぎるので、構内に鉄道警察をもっと多く配備してほしい。			1							1
○役所関係の書類を近くの支所で取れるように。	1									1
○役所関係者はさいたま市在住の方にしたほうが創意工夫、努力するのではないか。					1					1

資 料

(調査表)

～さいたま市総合振興計画の策定にあたって～

1 万人対象の市民意識調査にご協力を！！

日頃から市政に多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、さいたま市では、合併に際して策定した新市建設計画に代わり、今後の政令指定都市への移行を視野に入れた「さいたま市総合振興計画」の策定に着手いたします。総合振興計画とは、長期的な展望に基づき、目指すべき将来都市像とその実現に必要な諸施策の指針などを定めるもので、市政運営の最も基本となる計画です。

そこで、この計画策定にあたり市民の皆様のご意見を反映するために、市民1万人を対象とするアンケート調査を実施することとしました。皆様からお寄せいただいた回答は今後の素案作成に十分活用させていただきます。

ご多忙の折りとは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、是非ともご協力下さいますようお願い申し上げます。

平成 13 年 11 月

さいたま市長 相川 宗一

ご記入にあたって

- ・アンケート調査対象として、無作為抽出により 20 歳以上の市民 10,000 人を選ばせていただきました。
- ・調査票への記入は、封筒のあて先のご本人にお願いします。
- ・お寄せいただいた回答は、統計的に処理します。他の目的に使用することはありませんので、率直なご意見をお書き下さい。
- ・回答は、直接、この用紙に記入して下さい（番号を○で囲んで下さい）。
- ・回答をご記入の後、この用紙を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、11 月 26 日（月）までに投函して下さい。

このアンケートについてのお問い合わせは、下記へお願いいたします。

さいたま市 総合政策部 企画調整課 企画係

電話：048-829-1033

1. さいたま市のイメージについておたずねします。

問1. あなたは、さいたま市をどのように感じていますか。次の1～12のそれぞれについて、該当するものを1つ選んで下さい。

項目 \ イメージの強さ	強く感じる 1	どちらとも言えない 2	そうは 思わない 3
1. 発展的な	1	2	3
2. 活気のある	1	2	3
3. 快適な	1	2	3
4. 自然豊かな	1	2	3
5. 潤いのある	1	2	3
6. 落ち着いた	1	2	3
7. 美しい	1	2	3
8. 文化的な	1	2	3
9. あたたかい	1	2	3
10. 開放的な	1	2	3
11. 沈滞した	1	2	3
12. 雑然とした	1	2	3
13. 遅れた	1	2	3
14. 閉鎖的な	1	2	3

あてはまる数字
を○で囲んで下
さい。

問2. あなたにとって、今後のさいたま市に高めてほしいイメージはどのようなものですか。次の
中から2つまで選んで下さい。

1. 発展的、先進的など「成長のイメージ」
2. 活気のある、にぎやかなど「活力のイメージ」
3. 快適、自然豊かな、潤いのあるなど、「優れた環境のイメージ」
4. 落ち着き、ゆとりなど、「成熟のイメージ」
5. 美しい、文化的など、「文化性の高いイメージ」
6. あたたかい、親しみのあるなど、「人間性を大切にするイメージ」
7. はなやか、開放的など、「明るさのイメージ」
8. その他（)
9. 特にない

1. 多様な就業機会に恵まれていること
2. ゆとりある住まい、宅地に恵まれていること
3. 良好な自然環境が残されていること
4. 都市景観がすぐれていること
5. 公園や親水空間に恵まれていること
6. 土と親しめる農地が残されていること
7. 公害が少ないこと
8. 教育環境が豊かであること
9. レジャーや行楽の場や機会に恵まれていること
10. 文化や情報に接する機会に恵まれていること
11. 買い物や通勤など生活の利便性が高いこと
12. 地域社会のまとまりがあること
13. 医療や福祉の質の高いサービスが受けられること
14. 開発余地が多く発展可能性が高いこと
15. 鉄道網が発達していること
16. 都市の個性や好感の持てるイメージ
17. その他（

1. 期待のほうが大きい 3. 不安の方が大きい
2. 期待と不安が同じぐらい 4. わからない

3

問6. 身の回りを考えたとき、あなたはどの程度満足を感じていますか。次の1～32のそれぞれについて、該当するものを1つ選んで下さい。

区分	項目	評価				
		満足	まあ満足	普通	やや不満	不満
安全性	1. 災害（火災、地震、水害など）からの安全性	1	2	3	4	5
	2. 環境汚染（ダイオキシンなど）からの安全性	1	2	3	4	5
	3. 道路や施設のバリアフリー化の状況	1	2	3	4	5
	4. 夜道の明るさ	1	2	3	4	5
	5. 暴力や犯罪がないこと	1	2	3	4	5
利便性	6. 日用品・食料品などの買い物の便利さ	1	2	3	4	5
	7. 鉄道・バスなど公共交通機関の使いやすさ	1	2	3	4	5
	8. 身近な地域での道路の使いやすさ	1	2	3	4	5
	9. 広域的な幹線道路の使いやすさ	1	2	3	4	5
	10. 公園・広場などの利用のしやすさ	1	2	3	4	5
	11. 公民館・集会所などの利用のしやすさ	1	2	3	4	5
	12. 市役所や支所の身近さ	1	2	3	4	5
	13. 適切な医療が受けられること	1	2	3	4	5
	14. 保育所や保育サービスの利用のしやすさ	1	2	3	4	5
快適性	15. 煤煙・排気ガスの発生がないこと	1	2	3	4	5
	16. 振動・騒音（工場・車などの）がないこと	1	2	3	4	5
	17. 日当たりや風通しの良さ	1	2	3	4	5
	18. 公園や広場などの空間的なゆとり	1	2	3	4	5
	19. 緑の多さ	1	2	3	4	5
	20. 親水性の豊かさ	1	2	3	4	5
	21. 生き物とのふれあい	1	2	3	4	5
	22. 川などを流れる水のきれいさ	1	2	3	4	5
	23. 街並みや景観の美しさ	1	2	3	4	5
	24. 下水や排水の処理状況	1	2	3	4	5
	25. ごみ収集の体制や回数	1	2	3	4	5
文化性	26. 芸術・文化に親しむ機会があること	1	2	3	4	5
	27. 信頼できる学校教育	1	2	3	4	5
	28. 障害者や高齢者への配慮	1	2	3	4	5
	29. ショッピングの楽しさやまちの賑わい	1	2	3	4	5
	30. 国際交流を楽しめること	1	2	3	4	5
	31. 近所づきあいのしやすさ	1	2	3	4	5
総合	32. 上記を総合して、どの程度満足していますか。	1	2	3	4	5

7. あなたの通勤地もしくは通学地はどこですか。1つ選んで下さい。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 自宅で就業 | 4. 東京都 |
| 2. さいたま市内 | 5. その他の地域 |
| 3. 県内その他の市町村 | 6. 通勤・通学はしていない |

問8. あなたは、買い物や外食、余暇活動などを主にどこでしていますか。次の1～8のそれぞれについて、該当するものを1つ選んで下さい。（「駅の周辺」欄には下表から1～28の番号を記入）

活動の内容	市内			市外			特に決まっていない	行っていない
	自宅近く	※駅の周辺	その他の場所	県内の他市町村	東京都内	その他の場所		
1. 日用品の買物に行く (食料品や雑貨などを買う)	ア		ウ	エ	オ	カ	キ	ク
2. 高級品の買物に行く (贈り物や装飾品・高級衣料品などを買う)	ア		ウ	エ	オ	カ	キ	ク
3. 耐久消費財の買物に行く (電気製品や家具などを買う)	ア		ウ	エ	オ	カ	キ	ク
4. レクリエーションをする (休日などに家族や友人と散策や飲食をする)	ア		ウ	エ	オ	カ	キ	ク
5. スポーツをする (体育館やグラウンド、プールなどに行く)	ア		ウ	エ	オ	カ	キ	ク
6. 学ぶ (公民館、図書館、カルチャーセンターなどに行く)	ア		ウ	エ	オ	カ	キ	ク
7. 鑑賞、観劇をする (映画館、コンサートホール、劇場などに行く)	ア		ウ	エ	オ	カ	キ	ク
8. 医療を受ける (病院などに行く)	ア		ウ	エ	オ	カ	キ	ク



※「駅の周辺」については、駅名を以下の表の中から選び、番号を二重枠内にご記入下さい。

1. 浦和駅	11. 今羽駅 (ニューシャトル)	21. 東宮原駅 (ニューシャトル)
2. 浦和美園駅	12. さいたま新都心駅	22. 南浦和駅
3. 大宮駅	13. 指扇駅	23. 南与野駅
4. 大宮公園駅	14. 土呂駅	24. 宮原駅
5. 大成駅 (ニューシャトル)	15. 中浦和駅	25. 武蔵浦和駅
6. 大和田駅	16. 七里駅	26. 吉野原駅 (ニューシャトル)
7. 加茂宮駅 (ニューシャトル)	17. 西浦和駅	27. 与野駅
8. 北浦和駅	18. 日進駅	28. 与野本町駅
9. 北大宮駅	19. 東浦和駅	
10. 北与野駅	20. 東大宮駅	

(50 音順)

問9. あなたは、市内の公共施設を利用していますか。次の1～8の施設ごとに、利用した場合はその評価を、利用していない場合はその理由を、該当するものを1つ選んで下さい。

施設の種類	利用した場合				利用していない場合					
	(以下から、利用した評価を選んで下さい。)				(以下から、利用しない理由を選んで下さい。)					
	良い	普通	悪い	わからない	利用したいが交通手段が不便	利用したい時に開いてない	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法が分からない	利用する必要がない
1. 市民活動に関する施設 (コミュニティセンター、公民館など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2. 生涯学習活動などに関する施設 (図書館、博物館、美術館など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
3. スポーツ活動に関する施設 (スタジアム、体育館、プールなど)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
4. 保健・衛生に関する施設 (保健センターなど)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
5. 高齢者・障害者福祉に関する施設 (老人福祉センター、障害者福祉施設など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
6. 子育て支援に関する施設 (保育園、放課後児童クラブなど)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
7. 市民サービスに関する総合窓口 (総合行政センター、支所など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
8. 公園・緑地など	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

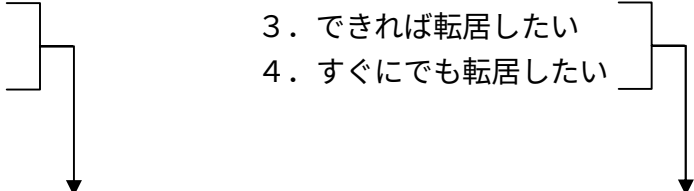
利用した場合は1～4の中から、利用していない場合は5～10の中から、あてはまる数字を1つ選び、番号を○で囲んで下さい。

3. 定住の意向についておたずねします。

問 10. あなたがさいたま市に住んでいる理由は何ですか。次の中から1つ選んで下さい。

- | | | |
|-----------------|--------------|---------------------------------|
| 1. 生まれがさいたま市だから | 4. 子どもの教育の都合 | 7. 転勤となったため |
| 2. 通勤・通学が便利だから | 5. 親や家族の都合 | 8. その他 () |
| 3. 結婚したため | 6. 自然環境が良いから | |

問 11. あなたは現在お住まいの場所にこれからも住みたいと思いますか。次の中から1つ選んで下さい。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 3. できれば転居したい |
| 2. 当分の間住み続けたい | 4. すぐにでも転居したい |
- 

問 13 (次ページ) へ進んで下さい。

問 12 へ進んで下さい。

問 12. 前問で「3. できれば転居したい」「4. すぐにでも転居したい」と答えた方におたずねします。転居したいと思う理由は何ですか。次の中から1つ選んで下さい。

- | | | |
|---------------|--------------|---------------------------------|
| 1. 住宅取得が困難だから | 4. 交通の便が悪いから | 7. 子供の教育の関係で |
| 2. 家賃が高いから | 5. 買い物に不便だから | 8. 隣近所との関係で |
| 3. 生活環境が悪いから | 6. 仕事の関係で | 9. その他 () |

4. 地域コミュニティ活動への参加についておたずねします。

問 13. あなたは、隣近所とどの程度の付き合いをしていますか。次の中から1つ選んで下さい。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 日常親しく付き合っている | 3. あいさつを交わす程度 |
| 2. ときどき世間話をする | 4. ほとんど付き合いをしていない |

問 14. あなたは、地域活動などに参加していますか。また、今後、参加したいと思いますか。次の1～7の活動ごとに、現在の状況、今後の意向について、該当するものを1つずつ選んで下さい。

現状と今後の意向 活動の種類	現在の状況		今後の意向		
	参加 している	参加 していない	参加 したい	参加 しない	わから ない
1. 町内会や自治会、子ども会など 地域活動	1	2	3	4	5
2. 社会奉仕などのボランティア	1	2	3	4	5
3. 環境保護やまちづくりなどの 住民運動や社会的活動	1	2	3	4	5
4. PTA の役員・委員	1	2	3	4	5
5. スポーツや文化、学習活動	1	2	3	4	5
6. その他の活動 ()	1	2	3	4	5

現在の状況、今後の意向それぞれについて、あてはまる番号を
1つ選び、○で囲んで下さい。

5. 市政との関わりについておたずねします。

問 15. あなたは市政について関心がありますか。次の中から1つ選んで下さい。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 大いに関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. やや関心がある | 4. 全く関心がない |

問 16. あなたは、市政への市民参加についてどう思いますか。次の中から1つ選んで下さい。

- | | | |
|--------------|--------------|----------------|
| 1. 積極的に参加したい | 2. できれば参加したい | 3. 参加したいとは思わない |
|--------------|--------------|----------------|

問 17. あなたは、市政への市民参加に関して、現在どのような状況であると思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

1. 無関心な人が多い
2. 忙しくて参加したくてもできない人が多い
3. 関心があっても、どうすれば良いか情報が少ない
4. 参加しても、その結果が行政に十分反映されない
5. 参加しても、一部の人の意見しか活かされない
6. 特に問題は無いと思う
7. その他 ()
8. わからない

問 18. あなたは、市政への市民参加をより活性化するために、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

1. アンケート等によりできるだけ数多くの市民の意見を聞くこと
2. 各種の委員会・審議会への市民委員の公募を行うこと
3. 意見や要望を話し合う市民懇談会などを開催すること
4. 若者、女性、高齢者、障害者などあらゆる層がまちづくりへ参画する機会を充実すること
5. まちづくり条例の制定など、市民参画のための仕組みづくりを行うこと
6. 各種計画についての情報公開を充実すること
7. 助言や相談、専門家派遣などの支援を行うこと
8. 自治会に対する支援や協力を行うこと
9. NPO※などの市民団体に対する支援や協力を行うこと
10. 市職員や議員が市民の声を把握し市政に適確に反映しており、市民参加は必要ではない
11. その他 ()
12. わからない

※NPO

Non Profit Organization。民間非営利団体などと訳される。利潤を上げることを目的としない、公益的活動を行う民間の団体。その活動範囲は、教育、社会福祉、環境保全、国際交流等多岐にわたっている。

6. 男女共同参画社会についておたずねします。

問 19. あなたは現在、男女の地位は平等になっていると思いますか。次の1～7の項目ごとに、該当する番号を1つ選んで下さい。

	男性が優遇されている	やや男性が優遇されている	平等になっている	やや女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない
1. 家庭生活では	1	2	3	4	5	6
2. 職場では	1	2	3	4	5	6
3. 教育の場では	1	2	3	4	5	6
4. 地域活動の場では	1	2	3	4	5	6
5. 法律や制度の上では	1	2	3	4	5	6
6. 社会通念や慣習では	1	2	3	4	5	6
7. 社会全体では	1	2	3	4	5	6

問 20. あなたは、男女共同参画社会※をつくっていくために、どのような取り組みが必要であると思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

1. 学校で男女平等意識を育てる教育をする
2. 男女の固定的な役割分担意識をなくすための啓発活動を進める
3. 仕事と家庭生活の両立などの問題について相談できる窓口を設ける
4. 育児・介護休業制度の一層の普及を図る
5. 男性が企業中心の生き方、考え方を改め、家事などに参画することへの抵抗感をなくす
6. 女性が、男性の家事参画への抵抗感をなくす
7. 企業が男女ともに仕事と家庭生活を両立できる職場環境を整える
8. 労働時間を短縮する
9. フレックスタイム制や在宅勤務などを普及させる
10. 男女共同参画社会の実現に向け、法律の整備をさらに進めていく
11. その他（ ）

※男女共同参画社会

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会。（男女共同参画審議会「男女共同参画ビジョン」による）

7. 保健・福祉についておたずねします。

問 21. あなたは、今後、医療・福祉の充実をどのような進めていくのが良いと思いますか。次の中から1つ選んで下さい。

1. 行政がこれまで以上に充実したサービスを行うため、税や社会保障費の負担を増やしても良い
2. 現状程度のサービスを維持するため、若干の税や社会保障費の負担増にとどめるのが良い
3. 行政のサービス水準が下がっても、現状程度の税や社会保障費の負担にとどめるのが良い
4. 税や社会保障費の負担を減らして行政のサービスは最低限にし、民間によるサービスを振興するのが良い
5. その他（ ）

問 22. あなたは、今後、社会の高齢化が進行する中で、どのような対応策を進めていくことが重要だと思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

1. 高齢者などが気軽に参加できる趣味、教養、スポーツ、ボランティアなどの機会や施設を増やす
2. 高齢者や障害者向けの働く場を増やす
3. 病気の予防や治療に力を入れる
4. 在宅福祉サービスを充実させる
5. デイサービス、ショートステイのための施設を充実させる
6. 老人ホームのような入所施設を整備する
7. 年金制度や老人医療制度など社会保障を充実させる
8. ボランティア活動を育てたり、地域での助け合いの雰囲気育てる
9. バリアフリー施設など、高齢者などの利用に配慮した施設を整備する
10. 老夫婦向け住宅や三世帯住宅などの建築・改装に助成を行う
11. その他（ ）

問 23. あなたは、子どもを生み育てたいと思えるような地域づくりを目指して、どのような施策を行うべきだと思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

1. 子育てと仕事を両立できる職場環境の整備を促す
2. 保育所サービスや学童保育など保育サービスの充実を図る
3. 新生児医療、小児救急、母子保健など保健・医療を充実する
4. 少人数学級の実現など、ゆとりある学校教育を推進する
5. 子育てのためのスペースが確保されたファミリー向け住宅を供給する
6. 子どもの遊び場、幅広い歩道など、安全な生活環境を整備する
7. 育児や教育に関する相談体制を整備する
8. 子育て世帯への経済的支援を充実する
9. 地域ぐるみで子育てを支援する体制を整備する
10. その他（ ）

問 24. あなたは、障害のある人が地域や社会に積極的に参加できるようにするために、特に大切なことはどのようなことだと思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

1. 障害のある人とない人が交流できるイベント等の機会をつくる
2. 障害のある人の教育の場を充実する
3. 障害のある人でも働きやすい職場づくりを進める
4. 公共・公益施設を障害のある人でも使いやすいように整備する
5. 障害のある人に配慮して交通機関や道路を整備する
6. 地域や社会の人々に対して福祉教育や広報を充実する
7. 障害のある人の社会参加を支援するボランティアを育成する
8. 家族が積極性を持ち、障害のある人の社会参加を援助する
9. 障害のある人自身が積極性を持つ
10. その他（ ）

8. 情報化・国際化についておたずねします。

問 25. 次の情報機器の中で、あなたが現在利用している（今後利用したい）ものは何ですか。次の1～9の種類ごとに、現在の状況、今後の意向について、該当するものを1つずつ選んで下さい。

現状と今後の意向 情報機器の種類	現在の状況		今後の意向		
	利用している	利用していない	利用したい	特に利用したいとは思わない	分らない
１．携帯電話・PHS	１	２	３	４	５
２．ファクシミリ	１	２	３	４	５
３．電子メール	１	２	３	４	５
４．インターネット	１	２	３	４	５
５．パソコン	１	２	３	４	５
６．ワープロ	１	２	３	４	５
７．CATV（ケーブルテレビ）	１	２	３	４	５
８．電子手帳	１	２	３	４	５
９．家庭用ゲーム機	１	２	３	４	５

現在の状況、今後の意向それぞれについて、あてはまる番号を
1つ選び、○で囲んで下さい。

問 26. あなたは、情報技術の急速な発展と情報機器の普及による行政の情報化に何を期待しますか。次の中から3つまで選んで下さい。

1. 市役所への届出、申請などの手続きが自宅や職場からできるようになる
2. 公共施設の利用状況の検索や予約が自宅や職場からできるようになる
3. 税金や保険料などの支払いが自宅や職場からできるようになる
4. 市政に関する情報を、目的によってすぐ取り出せるようになる
5. 市政に対する意見の申し出や参加がしやすくなる
6. 在宅医療や介護福祉のサービスを通信網を使ってできるようになる
7. 子育て相談、行政相談などを通信網を通じてできるようになる
8. インターネットを使えるようにするための市民講習がさらに充実される
9. インターネットなどを使えない市民に対しては市報などの情報伝達手段が充実される
10. 家にパソコンが無い人のために、公共施設にインターネット端末が用意される
11. 特に市として対応すべきことは無い
12. その他 ()

問 27. あなたは、今後、国際化に対応していくために、どのようなことをしていくべきであると思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

1. 公民館などの身近な場所で、外国人との交流行事を行う
2. 外国語による案内表示や広報紙の作成などを推進する
3. 交換留学生の派遣・受入れの促進や支援を行う
4. 教育現場への外国人講師の採用を増やす
5. 国際交流関係のボランティア団体の活動支援を行う
6. 海外姉妹都市交流を活発化させる
7. 外国に対し、企業進出や投資、コンベンション開催等を促進するための PR を行う
8. 国際的なイベントを実施する
9. 国際交流はそれほど重要ではない
10. その他 ()

9. 教育・文化についておたずねします。

問 28. あなたは、今後、市民の生涯を通じた学習活動を充実するために、どのようなことが重要であると思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

1. 子どもの頃から、ボランティアなど体験学習の機会を増やす
2. 少人数学級の実現、国際理解や情報教育の充実など小・中学校の教育の充実を図る
3. 小・中学校の選択制導入、公立の中高一貫校の設置など新しい学校制度を採り入れる
4. 地域の青少年向けスポーツクラブなど学校外での活動機会を充実する
5. 大学での公開講座の開催など市内の大学との連携、協力を図る
6. 公民館等での講座・講習の内容や機会を充実する
7. 図書館、博物館、美術館など多様な社会教育施設を活用する
8. 市民向けに地域の小・中学校施設の開放や公開講座の開催を進める
9. その他 ()

問 29. あなたは、今後、市民文化の醸成に向けて、どのようなことが重要であると思いますか。
次の中から2つまで選んで下さい。

1. 音楽、演劇、美術など芸術文化の鑑賞機会を増やしていく
2. 周辺の市や町まで含めた芸術や市民活動の催しに関する各種情報を提供する
3. 祭りなど地域の歴史に根ざした生活文化や地域文化を伝承・保存する
4. 神社や仏閣など、さいたま市の歴史を伝える文化財などを保存・活用する
5. 音楽、演劇、美術などの芸術文化において、市民が参加したり発表できる場をつくる
6. 市民が種々の文化活動ができるような環境整備や仕組みづくりを進める
7. 芸術家の成長を支援する
8. その他 ()

10. 産業活動についておたずねします。

問 30. 市の将来を考えた場合、あなたはこれからどのような産業振興に力を入れていけば良いと思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

1. 先端技術を有する企業など、高い付加価値を持つ産業を育成する
2. 医療・福祉（介護）などのサービス産業や環境関連産業など市民生活密着型の産業振興を図る
3. ベンチャー企業など、新しい産業を育成する
4. 国際的な会議の招致やスポーツイベントなどの都市的な観光の振興を図る
5. 市の特産物の盆栽づくりの振興など、農林業の生産性や付加価値を高める
6. その他 ()

11. 都市基盤の整備についておたずねします。

問 31. あなたは、都市基盤の整備について、どのようなことに重点的に取り組む必要があると思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

1. 身近な生活道路の整備
2. 広域的な幹線道路の整備
3. 電車やバスなどの公共交通網の整備
4. 公共下水道の整備
5. コミュニティセンターや公民館、図書館などの市民向け利便施設の整備
6. 公園や緑地の整備
7. 消火栓や防火水槽、避難所など、災害対策施設の整備
8. 治水や環境保全、アメニティなどに配慮した市内河川の総合的整備
9. 電気・ガス・上水道などのライフラインの質の向上
10. 電話線・光ケーブルなど、情報通信網の整備
11. その他 ()

問 32. あなたは、交通問題に関して、どのような施策に重点的に取り組む必要があると思いますか。
次の中から2つまで選んで下さい。

1. 鉄道の混雑解消を図る
2. 幹線道路の整備を進め、市内道路の渋滞解消を図る
3. バス輸送の充実を図る
4. 地下鉄などを整備し、東京へのアクセスを充実する
5. 新たな交通システムを整備し、市域内の移動を容易にする
6. 国際空港へのアクセスを容易にする
7. 高速道路の延伸を促進する
8. その他（ ）

12. 環境保全についておたずねします。

問 33. あなたは、環境保全に関して、力を入れるべき施策はどのようなことだと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで下さい。

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 事業者等に対する環境保全の指導 | 11. 渋滞対策など、公害の少ない交通環境の整備 |
| 2. 環境にやさしい製品の購入促進 | 12. 河川などの水環境の保全 |
| 3. ごみの分別・収集の指導 | 13. 動植物など生態系の調査と保護 |
| 4. 省エネ対策と自然エネルギーの利用 | 14. 環境に配慮した公共事業の実施 |
| 5. 市民のリサイクル運動に対する支援 | 15. 市民などが行っている環境保全活動への支援 |
| 6. 緑地などの自然環境の保全・整備 | 16. 歴史的な街並みや美しい景観の保全 |
| 7. 環境条例など制度的な枠組みの整備 | 17. ダイオキシンなど有害化学物質対策 |
| 8. 環境教育の推進 | 18. 市としてのISO14001の導入 |
| 9. 環境保全のための情報提供 | 19. その他（ ） |
| 10. 大気汚染や水質汚濁等の監視と指導 | |

13. 防災についておたずねします。

問 34. 地震などの災害に備えて、あなたはどのようなことをしていますか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んで下さい。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 非常用の食糧や飲料水などの用意 | 7. 避難路・避難場所の確認 |
| 2. 懐中電灯、ラジオ、救急箱などの用意 | 8. 家族との連絡方法の取り決め |
| 3. コンロ、暖房、灰皿などの火元の管理 | 9. 防災訓練への参加 |
| 4. 消火器、消火用バケツなどの用意 | 10. 特に何もしていない |
| 5. 家具への転倒防止器具などの取り付け | 11. その他（ ） |
| 6. 現金や貴重品の整理 | |

1. 分かりやすい避難場所の設定
2. 耐震防火用水・耐震防火水槽の整備
3. 非常食や飲料水、毛布などを備蓄する防災倉庫の整備
4. 農地・緑地の保全などによる延焼しゃ断帯の形成
5. 防災訓練の充実
6. 電柱の地中化などライフラインの安全性強化
7. 防災無線の整備など情報システムの確立
8. 土地区画整理事業による、宅地や道路、公園の整備
9. 4車線以上の道路の整備による、避難路・延焼しゃ断帯の確保
10. 市街地再開発事業による、密集市街地の建物の共同不燃化
11. その他（ ）

問 36. あなたは、市の情報を得る手段として、何をどの程度利用していますか。次の1～8のそれぞれについて、該当するものを1つ選んで下さい。

	よく 利用する	たまに 利用する	利用 しない
１．市が発行する情報紙（市報さいたまなど）で	１	２	３
２．新聞・タウン紙など印刷媒体で	１	２	３
３．テレビ・ラジオなど放送媒体で	１	２	３
４．家族・知人など、人から聞く	１	２	３
５．自治会の掲示板・回覧版などを見る	１	２	３
６．市のホームページを見る	１	２	３
７．説明会など地域での集会に参加する	１	２	３
８．その他（ ）	１	２	３

1. 納税や確定申告などに関する情報	10. 保健・健康に関する情報
2. イベントや催しについての情報	11. 福祉サービスに関する情報
3. 市民講座についての情報	12. 学校教育に関する情報
4. 地域のボランティア活動についての情報	13. 防災についての情報
5. 地域のサークル活動についての情報	14. ごみの分別や資源回収などに関する情報
6. 市の施設利用についての情報	15. 市の各種の統計、調査
7. 市の施策や計画の紹介	16. 環境保全の取り組みや公害についての情報
8. 財政や市役所組織など行財政運営の状況	17. 市議会に関する情報
9. 各種相談窓口や申請方法	18. その他（ ）

問 38. あなたは、今後、市の情報を得る手段として、どの方法が良いと思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

1. 市が発行する情報紙（市報さいたまなど）
2. 新聞・タウン紙など印刷媒体
3. テレビ・ラジオなど放送媒体
4. 家族・知人などの口コミ
5. 自治会の掲示板・回覧板など
6. 説明会など地域での集会
7. CATV（ケーブルテレビ）などの地域メディア
8. 駅や公共施設などでの電光掲示板
9. その他（ ）

15. 市役所の仕事についておたずねします。

問 39. あなたは、市役所は住民の要望や意見を十分に取り上げていると思いますか。次の中から1つ選んで下さい。

1. 十分に取上げている
2. まあまあ取上げている
3. 普通と思う
4. あまり取上げていない
5. ほとんど取上げていない

問 40. あなたは、市役所の窓口での職員の対応をどのように感じていますか。次の中から1つ選んで下さい。

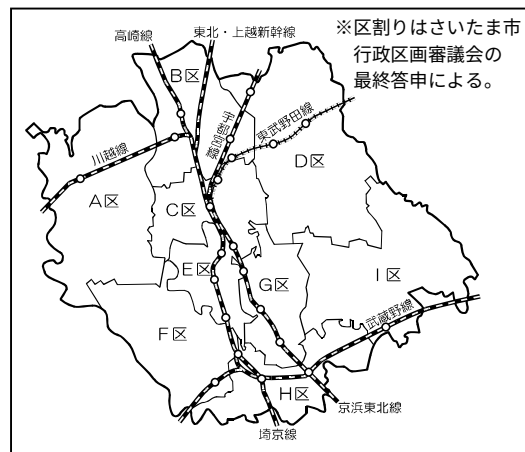
1. とても良いと思う
2. まあまあ良いと思う
3. 普通と思う
4. あまり良くないと思う
5. とても悪いと思う

問 41. あなたは、市役所の業務や組織などをより良くしていくためには、何をすることが重要だと思いますか。以下の中から3つまで選んで下さい。

1. 行政組織をスリムにする
2. 情報化を進め事務や申請手続きの迅速化を図る
3. 民間でできることは民間にまかせる
4. 民間の実務経験者の力を活用する
5. 優秀な職員を登用する
6. 職員研修を活発に行う
7. 前例にとらわれない柔軟な発想で仕事をする
8. 窓口での職員の対応を向上させる
9. 公費の支出のチェックを強化する
10. 事業を選別し、財政の健全化を進める
11. 行政評価、政策評価を進める
12. 行政情報をさらに積極的に公開する
13. 公共施設の適正な整備・配置を進める
14. 市政への市民参画を促す
15. 市民と市長との対話の機会を増やす
16. その他（ ）

16. 地区のまちづくりについておたずねします。

問 42. さいたま市では、平成 15 年（2003 年）に予定される政令指定都市への移行に伴い、9つの行政区（右図参照）を設け、より地域に密着した行政サービスを展開していきます。今後、あなたがお住まいの地区のまちづくりを進める上で、特に重視すべき点は何でしょうか。次の中から3つまで選んで下さい。



1. 住宅環境の向上（住宅地や公園の整備、緑化など）
2. 生活基盤の整備（下水道や生活道路の整備など）
3. 道路・交通の充実（市内幹線道路や鉄道、新たな交通システムの整備など）
4. 環境保全の充実（資源リサイクルの仕組みづくりや公害の防止など）
5. 教育面の充実（小・中学校の充実や青少年の活動の振興など）
6. 芸術、文化面の充実（博物館や美術館の充実、生涯学習・スポーツの振興など）
7. 楽しみの場の充実（ショッピングや娯楽、レクリエーションの場の充実など）
8. 福祉面の充実（すべての人に優しいまちづくり、さまざまな福祉施設の整備など）
9. 医療面の充実（身近な医療から高度な医療までの整備、予防活動など）
10. 安全面の充実（防災対策の充実、交通安全対策の充実、防犯対策の充実など）
11. 自然環境の保全、保護（河川や水質の浄化、緑の保護、乱開発の防止など）
12. 市民と行政との協働（地区のまちづくり活動への参加、コミュニティ活動の促進など）
13. その他（ ）

問 43. あなたのお住まいの地区で、今後、魅力あるまちづくりを進める上で、活用できる、活用すべきと思われる地域の資源はありますか。名所、旧跡、施設、人物など、何でも結構です。以下の欄に4つまで、自由にご記入下さい。

①	③
②	④

17. 市の将来像についておたずねします。

問 44. あなたは、さいたま市が政令指定都市として今後どのような将来像を目指すべきだと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを 3つまで選んで下さい。

1. 国、県の行政機関や企業の集積を活かした「首都圏の業務管理機能の一翼を担う都市」
2. 高い産業集積を活かした産業・経済や雇用の面で「広域的な拠点性を発揮する都市」
3. 交通結節点とその利便性を活かした「交通の要（かなめ）となる都市」
4. 高等教育機関やそこに集まる人材を活かした「創造的な研究・開発機能を発揮する都市」
5. 拡大する行政能力を活かして福祉や環境などの大きな課題に取り組む「質の高い生活都市」
6. 水辺や大規模な公園・樹林地を活かした「みどり豊かな都市」
7. 資源リサイクルが行きとどいた「資源循環型の都市」
8. 環境保全に力を入れた「環境にやさしいおいしい都市」

最後に、あなたご自身についておたずねします。

性別	1. 男性	2. 女性
年齢	1. 20 歳代 2. 30 歳代 3. 40 歳代	4. 50 歳代 5. 60 歳代 6. 70 歳以上
職業	1. 会社員（販売・サービス・事務職） 2. 会社員（労務・技能職） 3. 会社員（管理職・専門職） 4. パート・アルバイト 5. 主に家事・育児をしている 6. 教員・公務員	7. 自営業・事業主 8. 会社や団体の役員 9. 学生 10. 自由業 11. 無職 12. その他
同居家族の構成	1. 一人暮らし 2. 夫婦のみの世帯 3. 夫婦と子どもの世帯 4. 三世帯同居の世帯 5. その他	
お住まい	1. 持ち家（分譲マンションを含む） 2. 借家（戸建て） 3. 民営の賃貸アパート・マンション 4. 公営・公団・公社の賃貸住宅 5. 社宅・寮 6. 官公舎 7. その他	
さいたま市での 居住歴	1. 1 年未満 2. 1 年以上～5 年未満	3. 5 年以上～10 年未満 4. 10 年以上
転入以前の住所	1. ずっとさいたま市に住んでいる 2. さいたま市に隣接する市 3. 県内その他の市町村 4. 東京都 5. 東京都以外の関東近県（群馬県、茨城県、栃木県、千葉県、神奈川県、山梨県） 6. その他	

以上で質問は終わりです。皆さまの貴重なご意見は、総合振興計画の素案作成および市政のさらなる向上のために十分参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

**さいたま市総合振興計画策定のための
市民意識調査報告書**

平成14年3月

発 行 さいたま市企画調整課